

# TEPRA

PRO

DL

## SR6700D

取扱説明書



TAPE



TAPE



**KING JIM**

# はじめに

このたびは、ラベルライター「テブラ」PRO SR6700Dをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テブラ」PRO SR6700Dの使いかたを、「準備編」「使いかた編1・2」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テブラ」PRO SR6700Dを本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

## !! 注意 !!

- 本機で保存する文章や外字などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電源切断などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テブラ」で得られるラベルについて  
塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。  
なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、KING JIM、「テブラ」、「テブラ」PRO、「テブラ」PRO・DL、Pテープマーク、DLテープマークはいずれも株式会社キングジムの商標です。

「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

# ●安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

 **警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

 **注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

  表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

  表示は、してはいけない「禁止」内容です。

  表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## 警告

### ACアダプタについて

 同梱の専用ACアダプタ(AS1527J)以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



 ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



 ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせしないでください。火災・感電の原因となります。

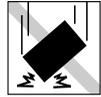


## ⚠ 警告

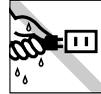
### その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



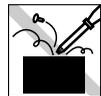
本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



## ⚠ 注意

### ハーフカット機能付きオートカッターについて



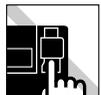
印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



### 点字打刻ユニットについて



打刻中に打刻部ローラーや打刻プレート付近を指で触れないでください。事故や故障の原因となります。



### その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをすることがあります。また、立てた状態で打刻をおこなわないでください。事故や故障の原因となります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



## ⚠ 注意

### 「テブラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑性入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

確認



点字の内容は、ラベルを貼る前に必ず確認してください。自動点訳は、点訳規則に従っておこなっていますが、100%の正確さを保証するものではありません。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

確認



## テープカートリッジ取扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



■ テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



■ テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。  
テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



### テープカートリッジの回収およびリユース(再利用)について

当社では使用済み「テブラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テブラ」テープカートリッジはお近くの「テブラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。なお、「エコマーク商品」(ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ)については、当社にてリユース(再利用)をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「テブラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。

回収



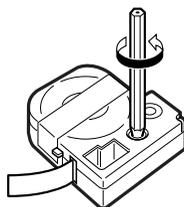
## テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

### ■ セット前に、必ずインクリボンのたるみをとる

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



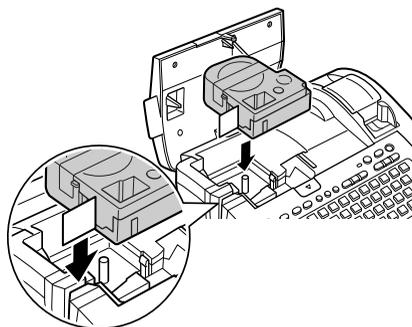
### ■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



### ■ セットした直後は必ず「送りカット」をする

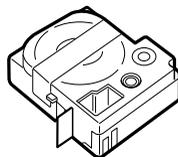
テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみやテープ先端の余白が発生します。そのたるみや余白を取るため、必ず「送りカット」をおこなってください。

「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。また、点字ラベルを作る場合はテープ先端の余白があると、点字を正しく打刻できないことがあります。

参照 [P.32](#) 「4. 「送りカット」をする」

### ■ 点字ラベルには点字テープカートリッジを使う

点字ラベルを作成するときは、専用の点字テープカートリッジを使用し、印刷後に点字の打刻をおこなってください。



## その他のご注意

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- テープカートリッジは、必ずPテープマークまたはDLテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに $\textcircled{\text{印刷}}$ を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず $\textcircled{\text{シフト}}$  +  $\textcircled{\text{印刷}}$  (=テープ送り)でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- ハーフカットをするときやテープ排出時、点字打刻時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- テープをハサミで切るときに指を切らないように注意してください。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長時間使わないときは、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 本機で得られる点字ラベルは点字標示板などと比べて強度はありません。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

# ●本書の使いかた

## 本書の構成

本書は次のような構成になっています。

### 準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

### 使いかた編

使いかた編には1・2があります。「使いかた編1」では、印字ラベル・点字ラベルそれぞれの文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。

「使いかた編2」では、段落の追加などテキスト画面での操作と、ハーフカッター・トリマーなどについて説明しています。初めて「テプラ」をお使いになる方は、「使いかた編1」から順を追って読まれることをお勧めします。

### 機能編

ラベルの見栄えをよくする文章書式、段落スタイルなどの機能や点字に関する機能、ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テプラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を充分に理解されたうえでお読みくださるようお願いいたします。

## 本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表記 】	【 説明 】
<b>①、②</b>	操作の手順を示しています。
	文字ボタンを示しています。
	機能ボタンを示しています。
	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照 	関連する事項の参照ページを案内します。
<b>MEMO</b>	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
<b>!! 注意 !!</b>	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。
<b>参考</b>	さらに使いこなすための応用機能や情報を説明しています。
	そのページで説明している内容が印字部分、点字部分それぞれに関連していることを示しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

また、点字については6点をイメージで表現しています。

イラストについて：本書で使用しているテープカートリッジのイラストは特に断りのない限り、PROテープカートリッジで説明しています。

# 目次

## はじめに

● 安全上のご注意…必ずお守りください！	1
テープカートリッジ取り扱いについての ご注意	3
テープカートリッジをセットするときの ご注意	4
その他のご注意	5
● 本書の使いかた	6
本書の構成	6
本書の見かた	6
● 目次	7
● 同梱品の確認	9
● 別売品のご案内	10
● 「テブラ」PRO SR6700D の特長	11
● まず、使ってみよう…	
すぐ使いたい人のために	12
1. 準備	13
2. 電源を入れる	13
3. 文字を入力する(例:砂糖)	13
4. 文字の大きさ(文字サイズ)を 変えてみよう	14
5. 点字を入力する	15
6. 印刷する	16
7. 点字を打刻する	17
8. ラベルを貼る	17
9. 電源を切る	18

## 準備編

● 各部の名前とはたらき	20
● ディスプレイの見かたとはたらき	24
ディスプレイ(画面)の見かた	24
表示の切り換え(みえ <sup>2</sup> )	26
ディスプレイの濃度を調整する	27
● 使う前の準備	28
1. ACアダプタを接続する	28
2. テープカートリッジをセットする	28
3. 電源を入れる	31
4. 「送りカット」をする	32

## 使いかた編 1

● 手順どおりに印字ラベルを作ってみよう	34
文字入力をはじめる前に	34
1. 文字を入力する	35
長い文章を変換する	38
変換する「読み」の長さを変える	38
2. 英数字を入力する	39

3. スペースを入力する	41
4. 記号を入力する	42
5. 印刷イメージを確認する(プレビュー)	44
6. 印刷する	45
7. 印字ラベルを貼る	46
● 手順どおりに点字ラベルを作ってみよう	47
点字の入力をはじめる前に	47
1. 文字を入力する	48
2. 点字を入力する	49
3. 点字ラベルを印刷する	50
4. 点字を打刻する	51
5. 点字ラベルを貼る	53
● 使い終わったら(電源を切る)	54

## 使いかた編 2

● 文章を作る	56
カーソルボタンの使いかた	56
文章を入力する	56
文字を削除/挿入する	57
削除した文字をもとに戻す(復活)	57
文字をコピーする	58
文字を貼り付ける	58
すべての文章を消去する	58
● 行を増やす(改行)	59
新しい行を作る	59
文字を次行に移動する	60
改行を取り消す	60
● 段落を増やす(改段落)	61
新しい段落を作る	62
段落を分割する	62
特定の段落を消去する	63
● 印刷時の自動カット/ハーフカットを 設定する	64
● 印刷濃度を調整する	66
● 印刷設定をリセットする	66
● カドを丸く仕上げる	67

## 機能編

● ラベルの向きを変える(縦・横)	70
[縦・横]ボタンを使う	70
● ラベルの長さを整える(らく <sup>2</sup> )	72
● ラベルの見栄えをよくする ～装飾機能を使おう～	73
機能を指定する	74
● メニュー一覧	76
文章書式	76
段落スタイル	77

文字モード	80
機能の説明(文章書式)	82
機能の説明(段落スタイル)	88
機能の説明(文字モード)	94
● 点字を入力する	97
[点字]ボタンを使う	97
入力方法	97
「文字入力」で点字を入力する	98
情報処理用点字を入力する	100
記号を入力する	102
「直接入力」で点字を入力する	103
点字を削除して印字ラベルにする	106
点字を再編集する	106
● 点字の書式を指定する	107
点字書式メニュー一覧	107
印字と点字を重ねる	108
点字をラベルの上部に配置する	109
点字をラベルの左に揃える	110
● デザインされたラベルを呼び出す (フォーム)	112
ラベルの作りかた	112
フォーム・特殊フォームメニュー一覧	114
フォーム見本	116
● 文章を呼び出す・登録する	135
[ファイル]ボタンを使う	135
ファイルとは	136
ファイルを登録する	137
ファイルを呼び出す	138
ファイルを消去する	139
ファイルを複写する	140
グループの名前を変える	141
印字ファイルをまとめて印刷する	142
● 最近印刷した文章を呼び出す	143
印刷履歴を呼び出す	143
印刷履歴を消去する	143
● 名前や語句を登録する (あて名/名前/辞書)	145
あて名ラベルを作る	145
あて名を登録する	146
あて名を修正する	147
あて名を複写する	147
あて名を消去する	148
あて名ラベルを印刷する	149
あて名のグループ名修正	150
カスタマバーコードについて	151
名前を登録する	153
名前を修正する	154
名前を消去する	154
名前のグループ名修正	154
名前ラベルを印刷する	154
変換できない語句を登録する(辞書の登録)	156

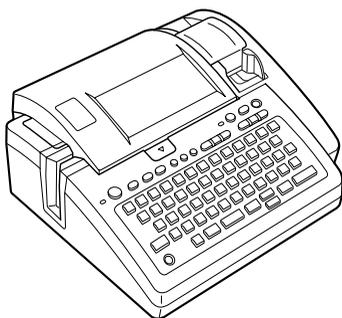
登録した語句を呼び出す	157
登録した辞書を修正する	157
登録した辞書を消去する	158
● 外字を使う	159
● 連番やバーコードを印刷する	165
連番・バーコードメニュー一覧	165
連番を印刷する	166
バーコードを印刷する	168
● 特殊な印刷(ぞく <sup>2</sup> 、でか <sup>2</sup> )	170
特殊印刷メニュー一覧	170
同じラベルを連続して印刷する(ぞく <sup>2</sup> )	171
テープ幅より大きなラベルを作る(でか <sup>2</sup> )	172
鏡文字を印刷する	174
● 読みのわからない漢字を入力する (コード入力)	175
● 各種の初期値(保存値)を設定する	176
保存値を変更する	177
保存値を初期設定値に戻す	177
環境設定メニュー一覧	178
● 本機を初期化する	179
● デモ印刷をする	181

## 付録

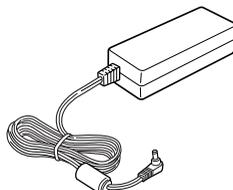
● メニュー一覧	184
印刷設定メニュー一覧	184
記号メニュー一覧	185
テープ送りメニュー一覧	186
消去メニュー一覧	186
点字ツールメニュー一覧	186
● テープカートリッジを使いわけ	187
● こんな表示が出たときは	188
● 故障かな?と思ったら	192
● お手入れについて	195
● 入力文字一覧表	197
● 漢字変換表	198
JIS第1水準	198
JIS第2水準	202
その他	205
● 記号一覧表	206
● ローマ字変換表	209
● 点字一覧表	210
● 点字の規則	213
はじめに	213
点字の構成	213
点訳の規則	215
情報処理用点字について	218
● おもな仕様	219
● 索引	222
● アフターサービスについて	228

# ●同梱品の確認

同梱品がすべてそろっているか、確認してください。



「テプラ」PRO SR6700D本体

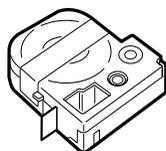


(本体側)

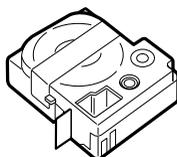


(コンセント側)

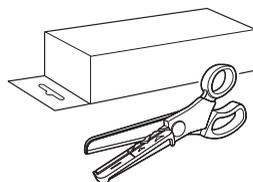
ACアダプタ (AS1527)



試用PROテープ  
カートリッジ(18mm幅)



点字テープ  
カートリッジ(24mm幅)



トリマー (RT36W)



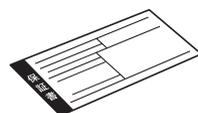
SR6700D  
取扱説明書(本書)



PCラベルソフト  
取扱説明書



PCラベルソフト  
(SDL6A)



保証書

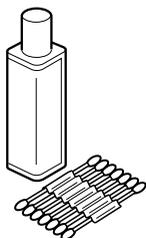
## MEMO

本機には、パソコン接続用のUSBケーブルは同梱されていません。パソコン接続には、市販のUSBケーブルをご使用ください。ケーブルはA-Bタイプです。

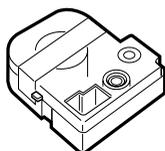
## ●別売品のご案内

---

本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングキット(RC15)  
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



ヘッド・クリーニングテープ(SR24C)  
テプラ本体の印刷ヘッドクリーニング用のテープです。

### MEMO

詳細については、当社ホームページ(アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>)をご覧くださいか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。

参照 P.228 「アフターサービスについて」

# ●「テプラ」 PRO SR6700Dの特長

## ■ 点字ラベルが作成可能！

点字対応のDLテープを使用し、点字打刻すれば簡単に点字ラベルが作成できます。点字だけのラベルはもちろん、一枚のラベルに点字と一緒に文字や記号を印刷できます。

## ■ 日本語入カシステムATOKを採用

日本語入力に定評のあるATOKを採用。文節区切りの的確に判断するので長い文章も正確に変換できます。

## ■ ハーフカットで裏紙はがしのイライラ解消

「ハーフカット」で、ラベルの印刷面だけを自動的にカット。裏紙はがしがとても簡単になりました。  
※一部対応できないテープがあります。

## ■ オートカッターで手間いらず！

印刷後、自動的にラベルをカットするオートカッターを装備。多量に印刷するときにも便利です。  
※一部対応できないテープがあります。

## ■ 豊富に選べる漢字8書体 + かな14書体+英数20書体

「明朝体・ゴシック体」の基本書体と「波ゴ体」に、「太型・極太」の変形書体も充実！かな書体には「えれん・ハッピー」を加えた14書体、英数書体は20書体装備。用途に合わせ、表現力がグンと広がります。

## ■ 「アウトライン・フォント」で美しい印刷

高精細の印刷ヘッド270dpi×192dot！高密度印刷ヘッド+アウトライン・フォントで、綺麗な文字を印刷することができます。また拡大印刷「でか？」においても、ギザギザ感のない、なめらかな印刷を実現します。

## ■ 繰り返す文字にコピーが有効！

入力してある文字をコピーすれば何度も貼り付けることができます。繰り返す文字を効率よく入力できます。

## ■ PROテープ4～24mm幅、DLテープ12、24mm幅に対応！

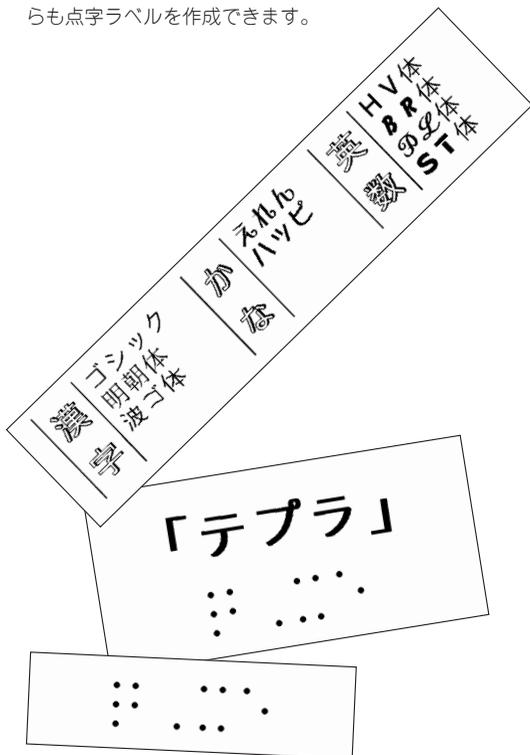
幅広いシーンで活躍する4mm～24mm幅のPROテープに対応。加えて点字対応のDLテープ12mm、24mm幅に対応。

## ■ 大型！4行×12文字の液晶表示

入力、編集に便利な大型LCD搭載。「みえ<sup>2</sup>」表示も大きく、ラベルのイメージを簡単に確認できます。

## ■ パソコンからもラベル作成

同梱のPCラベルソフトを利用すれば、パソコンでより豊かな表現のラベルを作成し、「テプラ」で印刷できます。点字ラベル対応ですので、パソコンからも点字ラベルを作成できます。

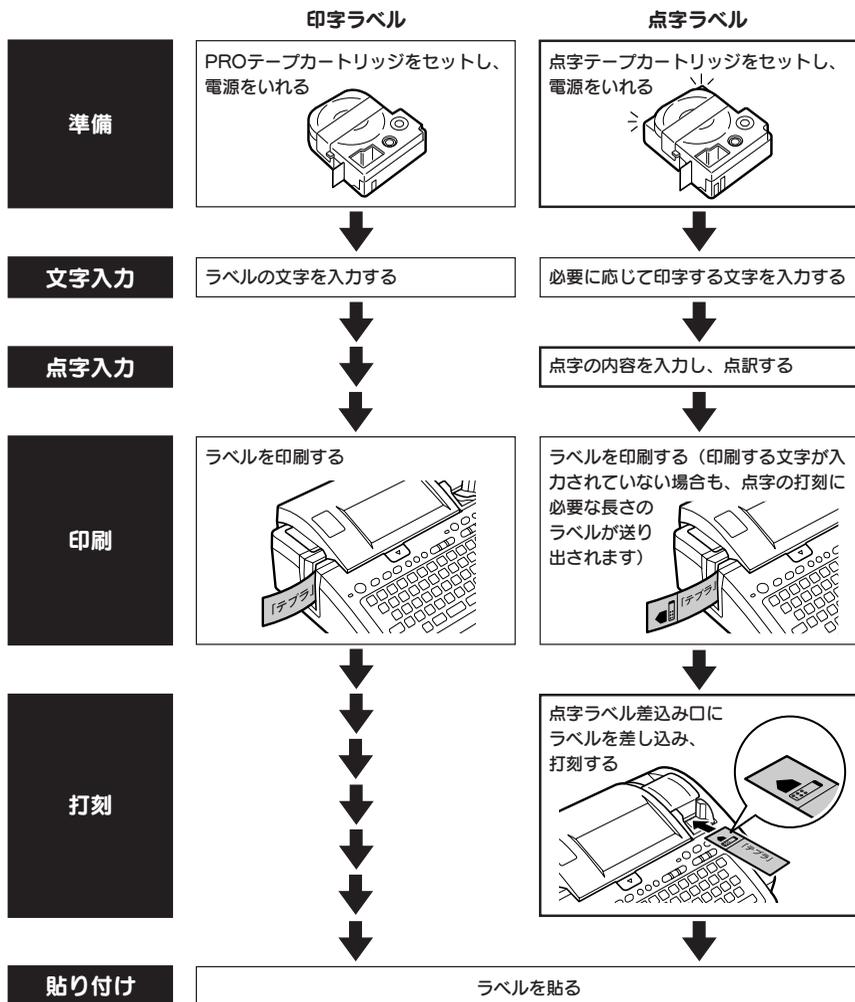


# ●まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

本機では文字や記号などが印刷されたラベルだけでなく、点字を打刻したラベルも作成できます。印刷のみのラベルを「印字ラベル」と呼び、打刻された点字のあるラベルを「点字ラベル」と呼びます。点字ラベルを作る場合は、印刷する文字の入力とは別に、点字入力画面での操作が必要になります。点字の打刻は、印刷後のラベルを本体の点字ラベル差込み口に差し込んでおこないます。

## ラベルを作成する流れ

下図は印字ラベル、点字ラベルそれぞれを作成する流れを説明しています。点字ラベルは右の手順に従って作成してください。



# 1. 準備

**1** ACアダプタを本機に接続する  
参照 P.28 「1.ACアダプタを接続する」

**2** テープカートリッジをセットする  
印字ラベルを作る場合は、PROテープカートリッジをセットします。  
点字ラベルを作る場合は、点字テープカートリッジをセットします。  
参照 P.28 「2.テープカートリッジをセットする」

# 2. 電源を入れる

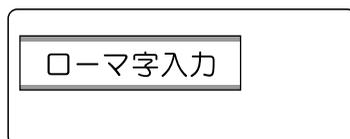
**1** **ON/OFF** を押す  
タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク**1**とカーソルが表示されます。  
参照 P.31 「3.電源を入れる」



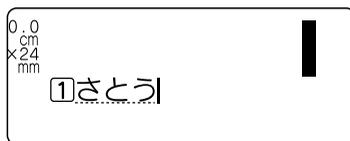
# 3. 文字を入力する(例：砂糖)

点字ラベルに文字を印刷しない場合は、この操作を省略し、「5.点字を入力する」(P.15)に進みます。

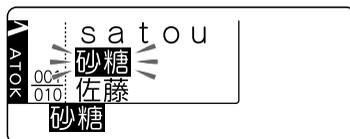
**1** **入力切換** を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



**2** 文字ボタンを次のように押す  
「ローマ字入力」の場合 : **S** **A** **T** **O** **U**  
「かな入力」の場合 : **さ** **と** **う**  
「さとう」と表示されます。入力後のひらがなには下線が表示されています。



**3** 「砂糖」が表示されるまで **変換スペース** を押す



**4** **選択** を押す  
「砂糖」が確定し、行頭マークが**1**に変わります。  
同時に、ラベルの長さや印刷イメージが表示されます。



## MEMO

より詳しい説明については、P.34「手順どおりに印字ラベルを作ってみよう」を参照してください。

## 4. 文字の大きさ(文字サイズ)を変えてみよう

砂糖



砂糖

- 1 **スタイル**を押す  
「段落スタイル」メニューが表示されます。
- 2 **↑** **↓** で「文字サイズ」を選び  
**選択**を押す
- 3 **↑** **↓** で「1行」を選び **選択**を押す
- 4 **↑** **↓** で「**中**1c」を選び **選択**  
を押す
- 5 「終わり？」が選ばれていることを確認し、**選択**を押す
- 6 **↑** **↓** で「この文章」を選び **選択**  
を押す

文字の大きさが変更されます。

段落スタイル	文字サイズを指定します
<b>文字サイズ</b>	
外枠・表組	

段落スタイル	文字サイズを指定します
<b>文字サイズ</b>	
外枠・表組	

文字サイズ	行数を指定して、文字サイズを変更します
自動	
<b>1行</b>	
2行	

1行	イメージ図のように文字サイズを指定します
<b>大</b> 1b	
<b>中</b> 1c	
<b>小</b> 1d	

段落スタイル	段落スタイルの有効範囲を指定します
縦・横	
<b>終わり?</b>	

有効範囲は?	文章全体に指定を反映します
<b>この文章</b>	
この段落	

2.8 cm x 24 mm	<b>砂糖</b>
<b>1</b> 砂糖	

### MEMO

より詳しい説明については、P.73「ラベルの見栄えをよくする」を参照してください。



## 6. 印刷する

### 1 「送りカット」をする

テープカートリッジをセットしたあとは「送りカット」をします。

参照 P.32 「4. 「送りカット」をする」

- 2 **シフト**を押しながら**みえ**(=プレビュー)を押す  
点字が入力されている場合は、表示方法を選択する画面が表示されます。

#### 表示方法

**印字+点字**  
印字のみ

印字と点字  
を合わせた  
イメージを  
表示します

- 3 **↑** **↓**で表示方法を選び **選択**を押す  
ラベルのイメージが流れるように表示されます  
(プレビュー)。

砂糖



### 4 **印刷**を押す

画面に、印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。印刷が終了すると、テープが自動カットされて出てきます。

テープは絶対に手で引っ張らないでください。

長さ	2.8cm	点字あり
幅	24mm	
	1枚	

## MEMO

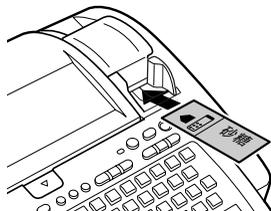
より詳しい説明については、P.45 「6.印刷する」を参照してください。

## 7. 点字を打刻する

点字が入力されている場合、印刷後に、点字の打刻をうながす案内が表示されます。

点字を打刻します  
点字ラベル差し込み口に  
ラベルを差し込んで  
選択を押してください

- 1 印刷したラベルの挿入方向を確認し、点字ラベル差し込み口に差し込む



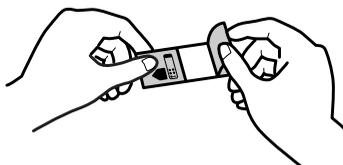
- 2 **選択** を押す  
打刻が始まります。

### MEMO

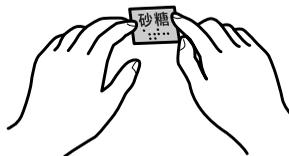
より詳しい説明については、P.51「4.点字を打刻する」を参照してください。

## 8. ラベルを貼る

- 1 ラベルの上下を確認する
- 2 裏紙をはがす



- 3 しっかりとこすって貼り付ける  
点字ラベルは、点字部分を押しつぶさないように注意します。余白部分をしっかりとこすって貼り付けてください。

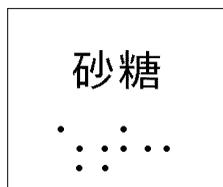


### !! 注意 !!

点字ラベルでは、点字の左右に余白が少ないとはがれやすくなる場合があります。接着面が多くなるように余白を調整してください。

### MEMO

より詳しい説明については、P.53「5.点字ラベルを貼る」を参照してください。



## 9. 電源を切る

---

①  を押す

② ACアダプタ(AS1527J)をはずす

### !! 注意 !!

電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。

### MEMO

より詳しい説明については、P.54「使い終わったら〈電源を切る〉」を参照してください。

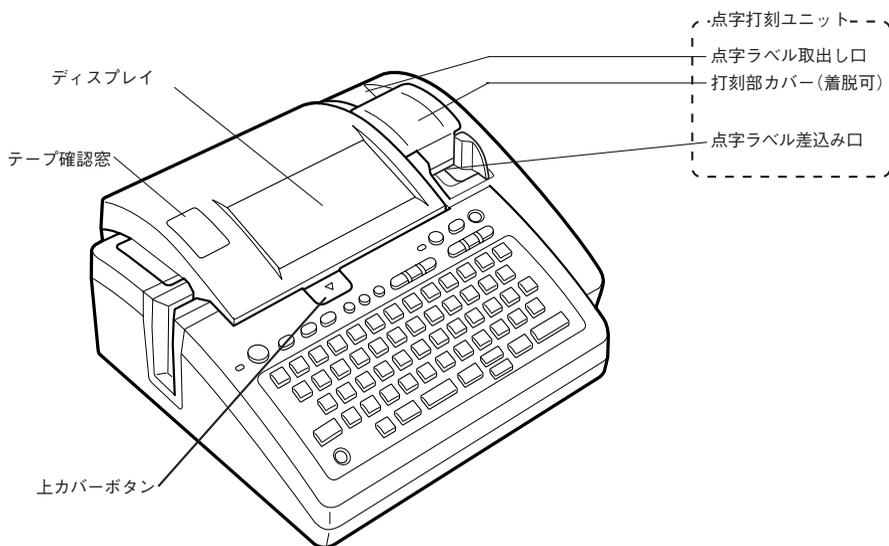


# 準備編

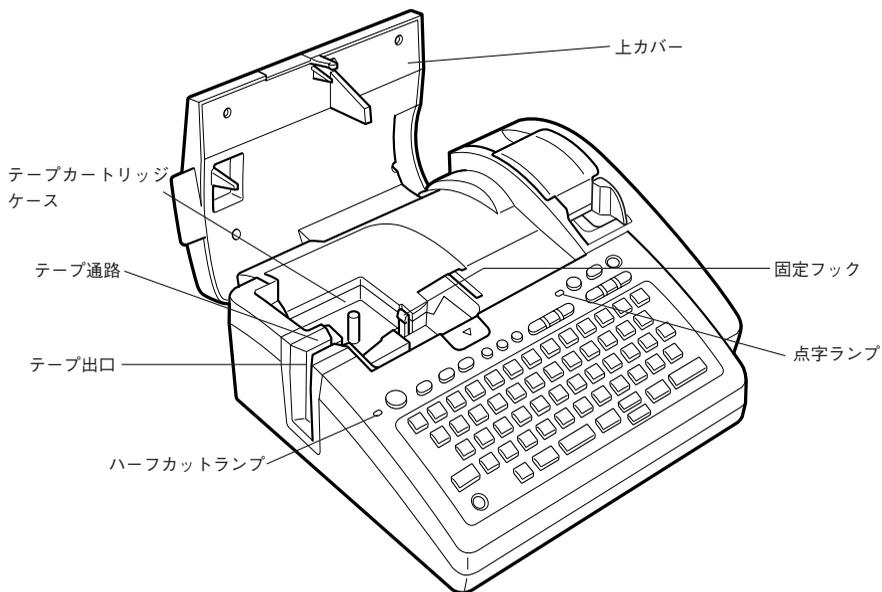
本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。  
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

# ●各部の名前とはたらき

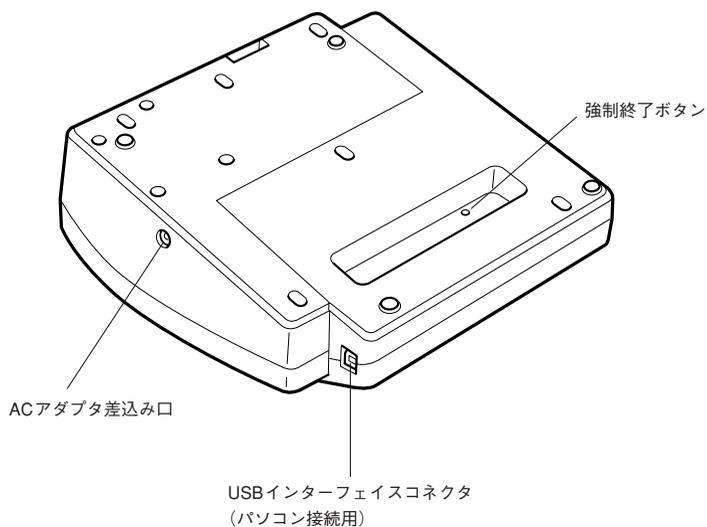
## 本機各部の名前(表)



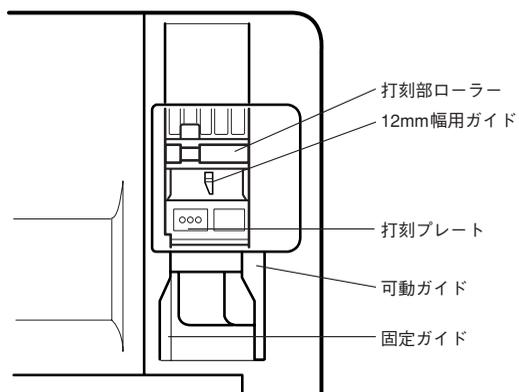
## 本機各部の名前(内部)



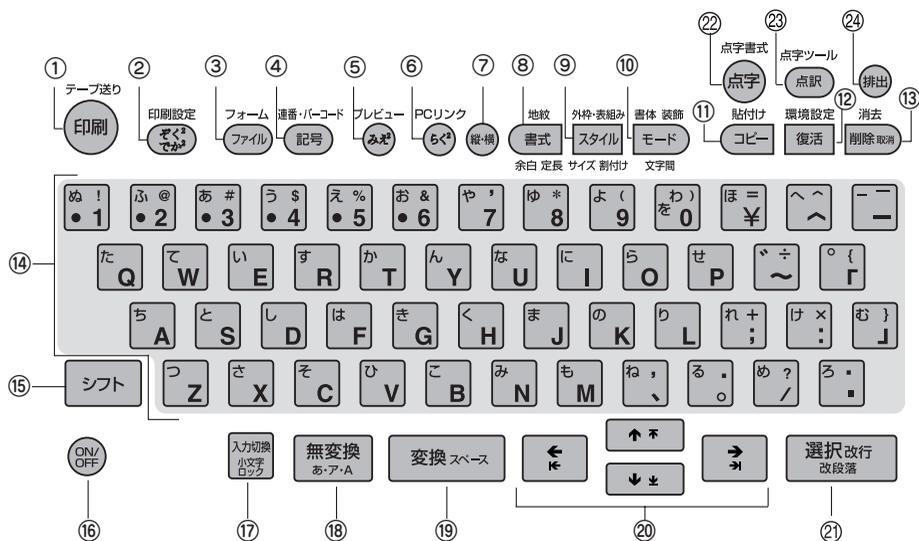
## 本機各部の名前(裏)



## 本機各部の名前(点字打刻ユニット)



## 操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。**シフト**+**■**となっている表記は、**シフト**を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① **印刷** (印刷)

入力した文章をテープに印刷し、テープを自動的にカット(オートカット)します。参照 [P.45](#)

**シフト**+**印刷**(=テープ送り)

テープを約20mm空送りしたり、カットします。参照 [P.32](#)

② **特殊印刷**

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷をします。参照 [P.170](#)

**シフト**+**特殊印刷**(=印刷設定)

印刷後の自動カットの有無と印刷濃度を設定します。参照 [P.64、66](#)

③ **ファイル** (ファイル)

作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。また、印刷履歴の呼び出しをおこないます。参照 [P.135](#)

**シフト**+**ファイル**(=フォーム・特殊フォーム)

デザインフォームや特殊フォームの呼び出しをおこないます。参照 [P.112](#)

④ **記号** (記号)

記号の入力や外字の呼び出しなどをおこないます。参照 [P.42](#)

**シフト**+**記号**(=連番・バーコード)

連続番号やバーコードの入力をおこないます。参照 [P.165](#)

⑤ **みえ** (みえ<sup>2</sup>)

テキスト画面の表示を切り換えます。参照 [P.26](#)

**シフト**+**みえ**(=プレビュー)

ラベルのイメージ全体を流れるように表示して確認することができます。参照 [P.44](#)

⑥ **らく** (らく<sup>2</sup>)

印刷する文字のサイズを自動的に指定しているとき、カーソルのある段落の文字サイズを「らく<sup>2</sup>」または「均等」に切り換えます。参照 [P.72](#)

**シフト**+**らく**(=PCリンク)

PCラベルソフト(SDL6)およびファイル転送ソフト(SDD6)を使用するパソコン接続の状態と通常のテキスト画面の状態とを切り換えます。

⑦ **縦・横**

印刷する文字のたて書き/よこ書きを切り換えます。参照 [P.70](#)

⑧ **書式** (文章書式)

印刷時のラベルの長さ、地紋、余白を指定します。これらを「文章書式」と呼びます。

⑨ **スタイル** (段落スタイル)

印刷時の文字の大きさ、外枠・表組、割付け、たと書き/よご書きを指定します。これらを「段落スタイル」と呼びます。

⑩ **モード** (文字モード)

印刷時の書体、飾り字や伸縮や囲み・網など各種装飾、文字間を指定します。これらを「文字モード」と呼びます。

⑪ **コピー** (コピー)

入力済みの文字をコピーします。参照 P.58

**シフト** + **コピー** (=貼付け)

コピーした文字を貼り付けます。参照 P.58

⑫ **復活** (復活)

削除した文字や文章をもとに戻します。

参照 P.57

**シフト** + **復活** (=環境設定)

画面の表示濃度や各種機能の保存値を変更します。参照 P.178

⑬ **削除取消** (削除、取消)

カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。参照 P.57

**シフト** + **削除取消** (=消去)

段落や文章を消去します。参照 P.58

⑭ **文字ボタン** (P、T、E、D、R、A など)

文字を入力します。参照 P.35

⑮ **シフト** (シフト)

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。

⑯ **ON/OFF** (ON/OFF)

電源を ON/OFF します。参照 P.31

⑰ **入力切換** (入力切換)

入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り換えます。参照 P.35  
「ABC入力」時のみ

**シフト** + **入力切換** (=小文字ロック)

小文字入力状態に切り換えます。参照 P.40

⑱ **無変換** (無変換)

仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。参照 P.35

**シフト** + **無変換** (=文字変換/コード変換)

仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。

参照 P.35

仮確定文字がないときは、コード入力の画面になり、区点コードを入力すれば漢字に変換できます。参照 P.175

⑲ **変換スペース** (漢字変換、スペース入力)

仮確定のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字がないときは、スペースを入力します。ATOK変換画面、点訳画面では、次の変換候補を表示します。参照 P.35、41

⑳ **カーソルボタン** (カーソルボタン、文節変更)

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。

参照 P.56

ATOK変換画面、点訳画面では で変換対象の文節長さを変更し、 で確定します。

参照 P.34

**シフト** + (=カーソルジャンプ、文節切り換え)

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。参照 P.56

ATOK変換画面、点訳画面では **シフト** + で変換対象の文節を切り換えます。参照 P.34

㉑ **選択 改行** (選択、改行)

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字がないときは、新しい行を作ります(改行)。参照 P.34、59

**シフト** + **選択 改行** (=改段落)

新しい段落を作ります。参照 P.62

㉒ **点字** (点字)

点字を入力する入力画面に切り換えます。

**シフト** + **点字** (=点字書式)

点字の左右位置などの配置を指定します。これらを「点字書式」と呼びます。

㉓ **点訳** (点訳)

点字「文字入力」画面で、入力した文字や文章を点訳します。

**シフト** + **点訳** (=点字ツール)

点字「文字入力」画面で、情報処理用点字を入力します。

㉔ **排出** (排出)

点字打刻ユニット内のラベルを排出します。

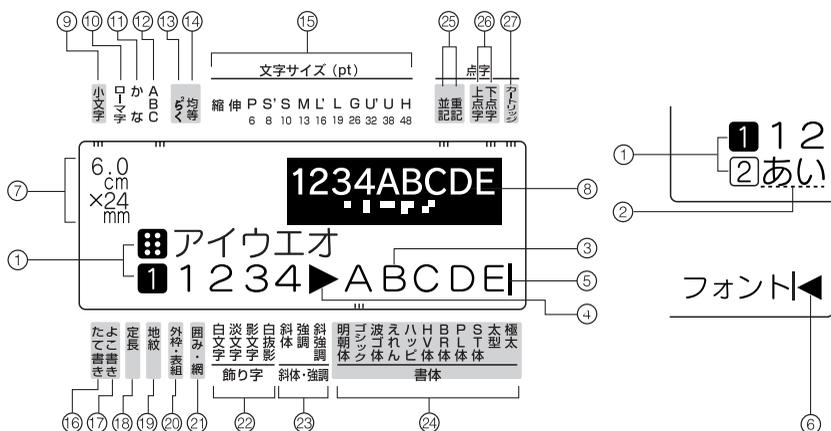
**シフト** + **排出**

点字打刻ユニット内のラベルを手前に排出します。

# ●ディスプレイの見かたとはたらき

## ディスプレイ(画面)の見かた

### <テキスト画面>



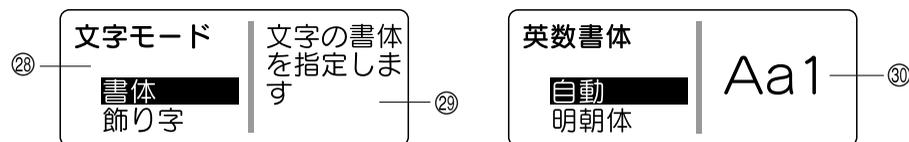
- ① 行頭マーク(1 2...☒、田、1 2...☒)  
行頭に表示され、その行が何行目かを表示します。  
1、2はその行に印刷できる文字が入力されていることを表し、1、2はその行に文字がまだ入力されていない(確定していない)ことを表しています。☒、☒は印刷できない行を表しています。☒が表示されているときは、印刷することはできません。参照 P.59  
田(点字行頭マーク)は点字が入力されていることを表しています。点字行があるときは、点字ランプも点灯します。
- ② 仮確定文字(例：あい)  
仮確定の文字で、文字の下に点線が表示されます。変換スペースボタンで漢字、カタカナ、英数字に変換できます。仮確定文字は印刷されません。
- ③ 確定文字(例：1234ABCDEF G)  
入力が確定した文字で、印刷することができます。
- ④ 文字モード指定マーク(▶)  
文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。参照 P.75
- ⑤ カーソル(|)  
操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除することができます。参照 P.56

- ⑥ フルメモリーマーク(◀)  
入力可能文字数(約250文字)をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。
- ⑦ 印刷情報  
セットされているテープ幅と、印刷したときの目安の長さを表示します。「みえ<sup>2</sup>」の設定によっては表示されません。参照 P.26
- ⑧ 印刷イメージ  
印刷したときのイメージを表示します。「みえ<sup>2</sup>」の設定によっては表示されないこともあります。参照 P.26
- ⑨ 小文字入力インジケータ  
シフトボタンを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。参照 P.40
- ⑩ ローマ字入力インジケータ  
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
- ⑪ かな入力インジケータ  
「かな入力」状態のときに点灯します。
- ⑫ ABC入力インジケータ  
「ABC入力」状態のときに点灯します。
- ⑬ らく<sup>2</sup>インジケータ  
文字サイズが「自動-らく<sup>2</sup>」に指定されているときに点灯します。
- ⑭ 均等インジケータ  
文字サイズが「自動-均等」に指定されているときに点灯します。

- ⑮ **文字サイズインジケータ**  
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケータが点灯します。  
数字はポイント数を表しています。  
\*1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。
- ⑯ **たて書きインジケータ**  
「たて書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑰ **よこ書きインジケータ**  
「よこ書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑰ **定長インジケータ**  
定長印刷が指定されているときに点灯します。
- ⑲ **地紋インジケータ**  
地紋印刷が指定されているときに点灯します。
- ⑳ **外枠・表組インジケータ**  
外枠や表組みが指定されているときに点灯します。
- ㉑ **囲み・網インジケータ**  
囲みや網が指定されているときに点灯します。
- ㉒ **飾り字インジケータ**  
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに点灯します。
- ㉓ **斜体・強調インジケータ**  
カーソルの位置の文字に、斜体や強調が指定されているときに点灯します。
- ㉔ **書体インジケータ**  
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。
- ㉕ **点字 並記/重記インジケータ**  
点字が入力されているときに指定されている印字の配置方法が点灯します。
- ㉖ **点字 上点字/下点字インジケータ**  
点字が入力されているときに指定されている点字の上下位置が点灯します。
- ㉗ **点字 カートリッジインジケータ**  
点字カートリッジがセットされているときに点灯します。

## 〈メニュー画面〉

機能を指定する画面は、テキスト画面と表示が異なります。このような機能や設定値を選択する画面をメニュー画面と呼びます。ここでは、文字モードメニューの画面を例に説明しています。



- ㉘ **メニュー**  
機能ボタン(ここでは**モード**)を押したときに表示されるメニュー一覧です。  
← ↑ ↓ → ボタンで機能を選びます。
- ㉙ **ガイド表示**  
機能の説明や操作ガイドを表示します。
- ㉚ **イメージ表示**  
選択候補の指定結果をイメージで表示します。

## MEMO

文字の変換中や点訳中、点字の入力中は以下の画面になります。

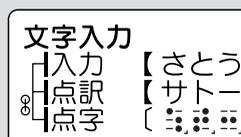
詳しい説明についてはP.34「文字入力をはじめる前に」、P.47「点字の入力をはじめる前に」、P.98「文字入力」で点字を入力する」、P.103「直接入力」で点字を入力する」を参照してください。



ATOK変換画面



点訳画面



点字「文字入力」画面



点字「直接入力」画面

## 表示の切り換え（みえ<sup>2</sup>）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

**みえ<sup>2</sup>** を押すと、次のようにディスプレイの表示が切り換わります。

### <みえ2行>(初期設定値)

入力した文章が2行まで表示されます。おおまかな印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



### <みえ3行>

入力した文章が1行のみ表示されます。印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



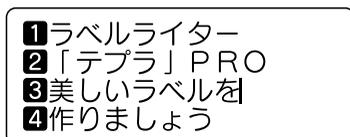
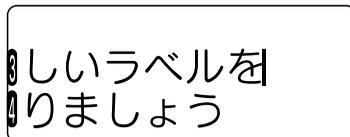
### <拡大表示>

入力した文章のみ拡大して2行表示します。



### <みえ0行>

入力した文章のみ4行表示します。多行入力時などに便利です。



## !! 注意 !!

- **みえ<sup>2</sup>** ボタンでディスプレイが切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面やATOK変換画面で**みえ<sup>2</sup>** を押しても、ディスプレイは切り換わりません。  
参照 P.24 「ディスプレイ(画面)の見かた」
- 広い幅のテープや入力した内容によっては、「みえ<sup>2</sup>」表示の反応が遅くなることがあります。

## MEMO

- **シフト** を押しながら **みえ<sup>2</sup>** (=プレビュー) を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。点字が入力されている場合は、表示する内容を「印字+点字」、「印字のみ」、「点字のみ」で選択できます。  
参照 P.44 「5.印刷イメージを確認する(プレビュー)」
- ディスプレイの表示が見にくいときは、表示濃度を調整することができます。  
参照 P.27 「ディスプレイの濃度を調整する」

## ディスプレイの濃度を調整する

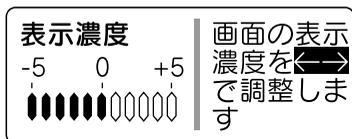
ディスプレイの表示濃度は11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

- ① **シフト** を押しながら **復活** (=環境設定) を押す  
「環境設定」メニューが表示されます。

- ② 「表示濃度」を選び、**選択** を押す



- ③ **←** **→** で濃度を調整し、**選択** を押す  
初期設定値は「0」に設定されています。



表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

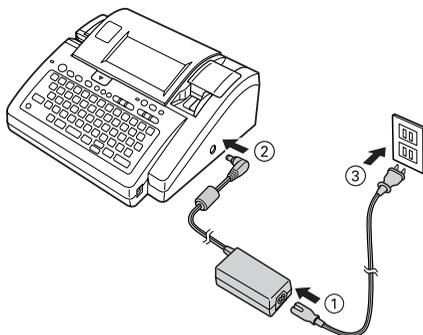
- 設定を途中でやめるときは **削除取消** または **復活** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 表示濃度は、電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。参照 [P.179](#) 「本機を初期化する」

# ●使う前の準備

## 1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ(AS1527J)で、家庭用コンセント(AC100V)から電源を取ります。

- ① ACアダプタのケーブルを接続する
- ② ACアダプタのプラグを本機右側面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む
- ③ ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



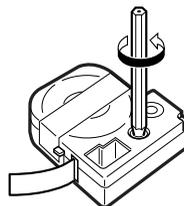
### !! 注意 !!

- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

## 2. テープカートリッジをセットする

印字ラベルを作成する場合はPROテープカートリッジを、点字ラベルを作成する場合は点字テープカートリッジをセットします。

- ① インクリボンのたるみを取る  
セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみをとってください。

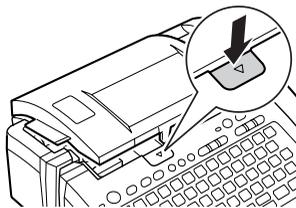


**② 上カバーボタンを押す**

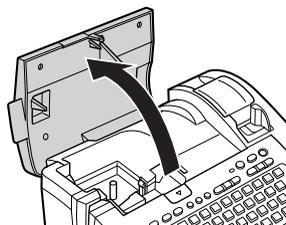
上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。

**!! 注意 !!**

必ず、電源を切ってからおこなってください。

**③ 上カバーを開ける****!! 注意 !!**

- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。

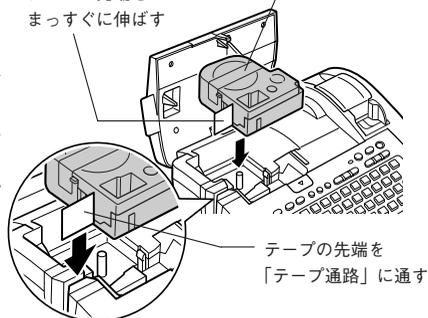
**④ テープカートリッジをセットする**

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミノに通します。

テープの先端をまっすぐに伸ばす

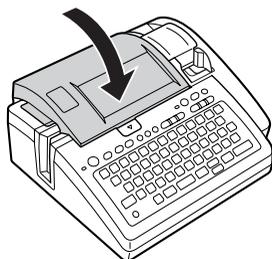
ラベル面を上にする

**⑤ 上カバーを閉じる**

上カバーを指で軽く押しつけて閉じます。

**!! 注意 !!**

テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。

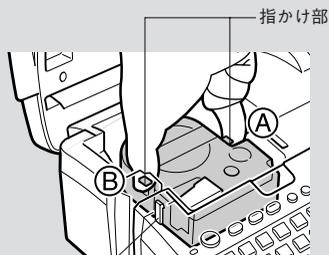


## MEMO

### テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、次の手順でカートリッジ側面の指かけ部に指をかけて取り出します。

- ① ① 側の指かけ部を上を持ち上げ固定フックをはずします。
- ② ② 側の指かけ部を上を持ち上げ固定フックをはずし、カートリッジを取り出します。



固定フック  
(両側にあります)

## !! 注意 !!

- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mmの6種類の幅のPROテープカートリッジと12mm、24mmの2種類の点字テープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。

参照 P.59 「テープ幅と印刷できる行数」

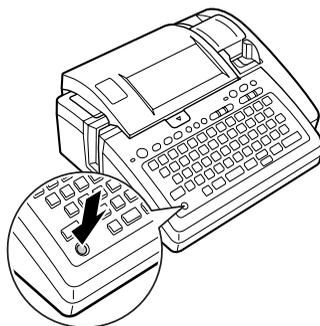
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。

### 3. 電源を入れる

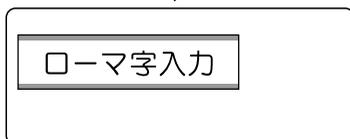
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？

**1**  を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



※設定されている入力状態が約0.5秒間表示されます。



※行頭マーク **(1)** とカーソル **(|)** が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケータが点灯します。

参照  P.24 「ディスプレイ(画面)の見かた」

## 4. 「送りカット」をする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみやテープ先端の余白を取るため、必ず「送りカット」をしてください。

- ① **シフト**を押しながら**印刷**(=テープ送り)を押す  
「テープ送り」メニューが表示されます。

- ② **↑** **↓** で「送りカット」を選ぶ

- ③ **選択**を押す

「送りカット」の場合、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。  
「テープ送り」の場合はテープが約20mm空送りされます。

テープ送り  
テープ送り  
送りカット

テープを  
空送りし  
カットしま  
す

### !! 注意 !!

- 「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「送りカット」をおこなってください。
- 点字ラベルを作る場合、テープ先端の余白があると、点字を正しく打刻できないことがあります。点字テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「送りカット」をおこなってください。

### つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

参照 [P.34](#) 「手順どおりに印字ラベルを作ってみよう」

参照 [P.47](#) 「手順どおりに点字ラベルを作ってみよう」

# 使いかた編 1

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単な印字ラベル、点字ラベルを作ってみましょう。  
文字入力、印刷、打刻など「テブラ」の基本操作を確認してください。

# ●手順どおりに印字ラベルを作ってみよう

右のサンプルラベル(18mm幅)を手順どおりに作ると、文字入力からラベルの印刷までの基本的な操作がカンタンに覚えられます。

お得なセット!  
初回限定版Box 

## 文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、以下の画面とボタンで操作します。

### ATOK変換画面の見かた



#### ① 仮確定文字

テキスト画面などで「変換スペース」を押した時の仮確定文字が、変換候補で表示されます。

#### ② 変換対象

仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。を押すと確定します。

#### ③ 変換候補一覧

変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

#### ④ 変換候補番号

現在選択されている変換候補の順番です。

#### ⑤ 変換候補数

変換対象の変換候補数です。

### 文字の変換中に使用するボタン

ボタン	機能
	変換候補一覧の表示、および次の変換候補の選択
	前の変換候補の選択
	変換候補番号001の候補の選択
	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
	変換対象の文節長さを短くする
	変換対象の文節長さを長くする
	左の文節を変換対象とする(確定されていない場合のみ)
	右の文節を変換対象とする
 	ひらがな、カタカナ、アルファベット(「ローマ字入力」の場合のみ)への変換
	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
	直前に確定した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

となっている表記は、を押しながらそのボタンを押す操作です。

# 1. 文字を入力する

文字は、「読み」を入力してから変換します。「読み」はひらがなで入力されます。

例 :

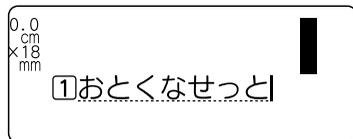
ここを入力します

お得なセット!  
初回限定版Box 

- 1** **入力切替** を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



- 2** 「おとくなせつと」を入力する



入力した文字が下線付きで表示されます。

- 3** **変換スペース** を押す

ATOK 変換画面に、仮確定文字が変換候補で表示されます。



さらに **変換スペース** を押すと、変換対象が次の候補に変わり、変換候補一覧が表示されます。

- 4** 「お得な」になっている状態で **↓** を押す



「お得な」が確定し、次に「セット」が変換対象になります。

- 5** 「セット」になっている状態で **↓** を押す



「セット」が確定し、テキスト画面に戻ります。



行頭マークが **1** から **1** に変わります。

## MEMO

- 文字を確定した直後なら、**復活** ボタンで変換前の状態に戻すことができます。
- 文字を間違えたときは、**削除取消** ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 「読み」を入力した直後に **選択** を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に **無変換** を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」の場合は、「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、**シフト** を押しながら **無変換** を押すと、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、**選択** を押して確定します。
- 2文節目以降の語句を変換し直す詳しい説明については、P.38「長い文章を変換する」を参照してください。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。  
参照  P.209「ローマ字変換表」

## 参考

### 濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

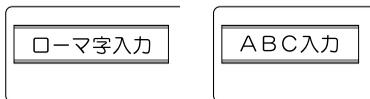
	濁音(「ざ」「ば」など) 半濁音(「ぱ」など)	拗音(「ゃ」「ぁ」など) 促音(「っ')
ローマ字 入力	濁音・半濁音用のスペルで入力 します。 参照  P.209 「ローマ字変換 表」	次のいずれかの方法で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「きゃ」(  )などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照  P.209 「ローマ字変換表」</li> <li>促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例：     …「さっか」</li> <li> を押してから通常の文字ボタンを押す。 例：   …「っ」   …「ぁ」</li> </ul>
かな入力	仮確定の清音の後に、 や  を入力します。	を押しながらか文字ボタンを押します。

文字ボタンに表記された表記号「!」「\*」「.」などは、 を押しながらか文字ボタンを押して入力します。

例：



**6** を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ



**7** 「!」を入力する

を押しながらか を押します。  
「!」が確定された状態で入力されます。



## MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「～」「/」は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。「かな入力」の状態では入力できない文字があるので、その場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

2行目を入力するには、まず、改行をします。

例 :

ここを入力します

お得なセット!  
初回限定版Box 

- 8** 1行目の文末にカーソルを合わせて **選択 改行** を押す



カーソル

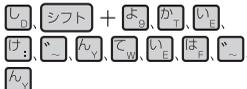


改行され、行頭マークの**2**が表示されます。



- 9** 「しょかいげんていばん」を入力する

ローマ字入力：

かな入力：



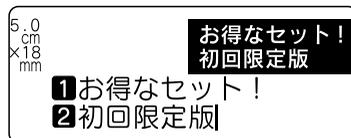
- 10** **変換スペース** を押す

ATOK変換画面になります。

- 11** 「初回限定版」にする



ATOK変換画面で **選択** を押すと、仮確定文字は、表示されている状態で確定します。



表示されている状態が正しく変換されていない場合は、P.35の手順 **3** と同様に **変換スペース** を押し、変換候補一覧から正しい変換候補を選びます。

## MEMO

- 2文節目以降の語句を変換し直す詳しい説明については、P.38「長い文章を変換する」を参照してください。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。

## 参考

## 長い文章を変換する

入力した文章が長く、ATOK変換画面で表示されている仮確定文字の状態では正しくない場合は、 ボタンを押して文節ごとに変換をします。

**例** : 「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

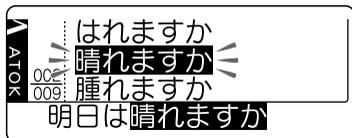
**1** 「あすははれますか」を入力して  を押す  
ATOK変換画面になります。

**2** 1文節目が正しく変換されている状態で  を押す



1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

**3**  を押す  
2文節目の変換候補一覧が表示されます。



**4** 正しく変換されている状態で  を押す  
2文節目が確定します。  
さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

## 変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は、  ボタンを押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

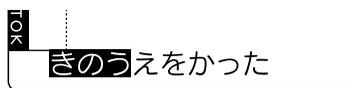
**例** : 「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

**1** 「きのうえをかった」を入力して  を押す  
ATOK変換画面になります。

**2** 変換する文節の長さが適当でないときは   を押す  
変換対象(ネガ表示部分)は  で短く、 で長くなります。



  を押して「きのう」を文節にする



**3**  を押す  
長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。



正しく変換されたら  で確定し、2文節目以降を変換します。

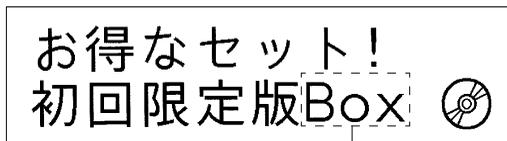
## MEMO

- ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾11文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
-  で文節を確定した直後であれば、 ボタンで確定前の状態に戻すことができます。

## 2. 英数字を入力する

英数字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。小文字の入力には **シフト** を使います。

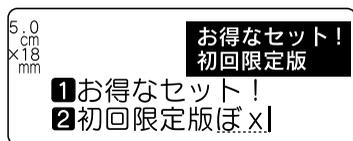
例：



### ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

- 1** 「Box」を入力する  
ローマ字入力：**B**、**シフト**+**O**、**シフト**+**X**



「ぼx」と表示されます。

- 2** **変換スペース** を押す  
ATOK変換画面になります。



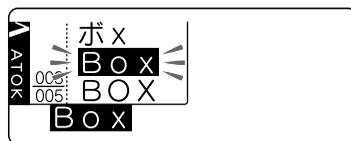
- 3** 変換する文節の長さが適当でないときは **→** を押す



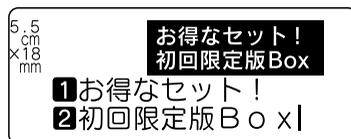
「ぼx」が変換対象(ネガ表示)になります。

- 4** 「Box」が選択されるまで **変換スペース** を押す

- 5** 「Box」が選択されている状態で **↓** を押す



「Box」が確定します。



### MEMO

- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に **無変換** を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、**シフト** を押しながら **無変換** を押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 文字を間違えたときは、**削除取消** ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 変換対象の長さを変える詳しい説明についてはP.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- 「かな入力」の状態では、入力できません。「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。



## ABC入力の場合

英数字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して直接、英数字を入力できます。

①  を数回押して「ABC入力」を選ぶ

② 「Box」を入力する

ABC入力：、 + 、 + 

(小文字ロックをしている場合)

ABC入力： + 、、

「B o x」がテキスト画面に直接入力されます。

5.5  
cm  
x  
18  
mm

お得なセット！  
初回限定版Box

① お得なセット！  
② 初回限定版B o x |

## MEMO

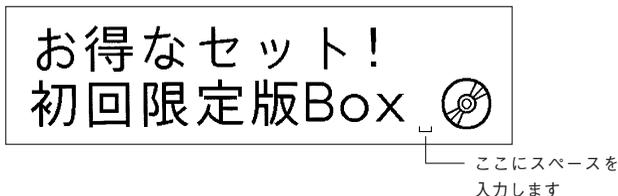
### 小文字ロック

「ABC入力」時に、 を押しながら  を押すと、小文字入力状態に切り換わり、 を押していないときに小文字入力インジケータが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度  を押しながら  を押します。

### 3. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「□」(半角スペース)が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

例：



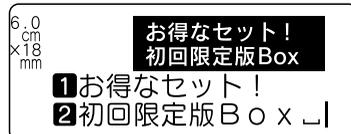
#### 1 仮確定文字がないことを確認する

##### !! 注意 !!

仮確定文字があるときに **変換スペース** を押すと、ATOK変換画面になります。

#### 2 **変換スペース** を押す

半角スペースが入力されます。



テキスト画面には「□」が表示されますが、印刷時にはスペース(空白)として扱われ、印刷されません。

#### MEMO

「ローマ字入力」「かな入力」「ABC入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

#### 参考

##### 全角スペース

スペースには半角スペース(□)のほかに、全角スペース(□)があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、**記号**を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「□」を選択します。

ただし、「文字間」で「ピッチ」が「ピッチ固定」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。

参照 P.96 「文字間」

	テキスト画面	ピッチ自動で印刷	ピッチ固定で印刷
半角スペース	1 田中□慶介	田中 慶介	田中 慶介
全角スペース	2 田中□慶介	田中 慶介	田中 慶介

## 4. 記号を入力する

例 :

お得なセット!  
初回限定版Box



ここを入力します

### 1 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

### 2 ◀ ▶ ▲ ▼ で「音楽」を選ぶ

記号

遊ぶ ビデオ  
音楽 生き物  
乗り物 食べ物

### 3 選択を押す

「音楽」の記号が表示されます。

音楽

### 4 ◀ ▶ ▲ ▼ で「🎵」を選ぶ

音楽

### 5 選択を押す

「🎵」が入力されます。

6.5  
cm  
x18  
mm

お得なセット!  
初回限定版Box 🎵

1 お得なセット!  
2 初回限定版Box 🎵

## MEMO

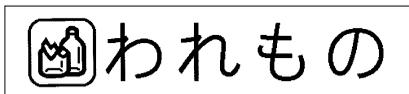
- 仮確定文字があるときは、記号ボタンで記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。  
参照 [P.206](#) 「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは削除取消または記号を押してください。
- 一度選択した記号のメニューや記号は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 記号メニューの「外字呼出」は、登録した外字を呼び出します。  
参照 [P.162](#) 「外字を呼び出す」
- 記号メニューの「2桁数字」は、2桁で1文字となる数字を入力します。  
参照 [P.71](#) 「たて書きで2桁の数字を印刷する」
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。
  - 罫：罫入力記号  
縦罫線を入力します。  
参照 [P.91](#) 「外枠・表組み」
  - ┌：全角スペース  
全角のスペースを入力します。  
参照 [P.41](#) 「全角スペース」
- 記号メニューの「合成」内の記号は、文字やその他の記号と合成することができます。  
参照 [P.43](#) 「丸つき文字などを入力する(合成)」
- 点字「文字入力」画面で指定できる記号はこの中の一部となります。  
参照 [P.102](#) 「記号を入力する」

## 参考

## 丸つき文字などを入力する(合成)

文字や記号を、○や□などの「合成記号」と合成してオリジナルの文字を作ることができます。「合成記号」には○×□□があります。文字や記号のほか、2桁数字、外字なども合成することができます。

例：



- ① 合成文字を入力する位置にカーソルを合わせる

1 われもの

- ② 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

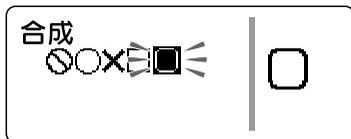
- ③ 「合成」を選び、「選択」を押す



「合成記号」が表示されます。

- ④ 記号を選び、「選択」を押す

例の場合は、「□」を選び、「選択」を押します。

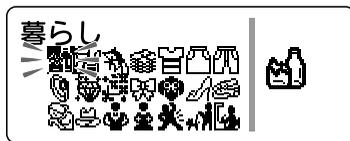


合成マークと入力エリアが表示されます。

1 合成 われもの

- ⑤ カーソルが合成マークの右にあることを確認し、合成する文字や記号を入力する

例の場合は、「記号」を押して「暮らし」メニューから「🍷」を選び、「選択」を押します。



入力エリアに合成する文字や記号が表示されます。

1 合成 われもの

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは「削除取消」または「記号」を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、「記号」ボタンで合成文字を入力することはできません。
- 文字によっては、「合成記号」から文字や記号などがはみ出すことがあります。
- 文字サイズによっては、「合成記号」○×□□の一部が欠けることがあります。
- 合成文字を2文字以上続けて入力することはできません。続けて「合成記号」を入力すると、最初の合成文字の内容が置き換わってしまいます。続けて入力せずに、間にスペースなどを入れて入力し、その後にスペースを削除してください。
- 連番、バーコードは合成できません。
- 記号メニューの「数字」内には、1~20の丸つき数字があります。

## 5. 印刷イメージを確認する(プレビュー)

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

### ① テープカートリッジを正しくセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

### ② **シフト**を押しながら**みえ**(=プレビュー)を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

イメージの表示中に **無変換** **変換スペース** **←** **↑** **↓** **→** のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

**お得なセット！  
初回限定版Box**

### MEMO

プレビューを途中でやめるときは **削除取消** または **選択** を押してください。

### !! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面・特殊フォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープがありません！」と表示されプレビューは表示されません。
- 本機では、16m以上のラベルは印刷できません。印刷結果が16mを超える文章を入力した場合、プレビューは表示されず、ディスプレイに「入力した文章が長すぎます」のメッセージが表示されます。この場合は、いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバーです！」が表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

## 6. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ(AS1527J)を正しく接続しているかを確認してください。

### 1 印刷を押す

「準備中」と表示された後、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

長さ	6.5cm
幅	18mm
	1枚

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは **削除取消** を押してください。

### MEMO

- 印刷中に **ON/OFF** ボタンを押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容(文字や書式など)を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。また、印刷枚数99枚の次は「100枚」その次は「1枚」と表示されます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約20mmカットされます。
  - 余白が「極少」、「少なめ」、「自動少なめ」の場合(全テープ幅)
  - 余白が「自動多め」の場合(4mm、6mm幅テープ)
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- 特殊印刷(連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷)をおこなう場合は、**そくでか** ボタンで印刷します。参照 **P.170** 「特殊な印刷(ぞく<sup>2</sup>、でか<sup>2</sup>)」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。

### !! 注意 !!

- 本機の cutter でカットできない反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルは「自動カット」を無効で印刷してください。

参照 **P.64** 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

参照 **P.187** 「テープカートリッジを使いわせる」

- ハーフカットのできない反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・ケーブル表示ラベルを使う場合は、ハーフカットを無効にしてください。

参照 **P.64** 「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」

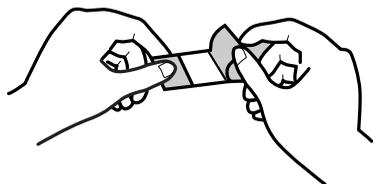
参照 **P.187** 「テープカートリッジを使いわせる」

- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 仮確定文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、印刷が中断します。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまるように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープがありません!」が表示されます。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバーです!」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。
- 点字テープカートリッジで点字の含まれないラベルを印刷しようとする、「点字が入力されていません 強行?」と表示されます。**選択** 以外のボタンを押して印刷を中止し、テープカートリッジを交換してください。そのまま **選択** を押すと印刷されます。

## 7. 印字ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

### ① 裏紙をはがす



ハーフカットを有効にしておけば、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照 ☞ P.64「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ② しっかりとこすって貼り付ける



### MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。  
参照 ☞ P.67「カドを丸く仕上げる」

### !! 注意 !!

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨や日光にさらされるところや、屋外に貼ることは避けてください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- 「テブラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# ●手順どおりに点字ラベルを作ってみよう

右のサンプルラベル(24mm幅)を手順どおりに作ると、点字ラベルを作る基本的な操作が簡単に覚えられます。

これは  
お酒です

⠠⠠⠠⠠⠠⠠  
⠠⠠⠠⠠⠠⠠

## 点字の入力をはじめる前に

点字は、点字入力画面で編集します。

点字入力画面には、自動点訳機能を利用する「文字入力」と、点字を直接入力する「直接入力」があります。ここでは、「文字入力」の操作を中心に説明します。

参照  P.103 「直接入力」で点字を入力する

### !! 注意 !!

点字ラベルを作る場合は、必ず点字テープカートリッジをセットしてください。

### 点字「文字入力」画面の見かた

#### ① 「入力」行

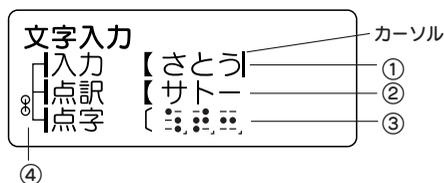
点字にする語句を入力します。

#### ② 「点訳」行

点訳の読みが表示されます。 を押すことで「入力」行の内容が点訳され、自動的に文節の分かち書きや「う音」の長音変換がされます。この「点訳」行を編集することもできます。

#### ③ 「点字」行

「点訳」行に対する点字が表示されます。



#### ④ リンク状態

「入力」「点訳」「点字」行の対応状態を示します。対応していない場合は、線がつかっていません。

### 点字「文字入力」画面で使用する機能ボタン

ボタン	機能
	「入力」行に入力されている文章の点訳
 + 	情報処理用点字の入力
	記号の入力
	打刻する点字の確定(カーソルが「入力」行以外の場合)
	点字の入力をやめ、前の画面に戻る

 +  となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

### MEMO

点訳の規則については、「点字一覧表」や「点字の規則」を参照してください。

参照  P.210 「点字一覧表」、P.213 「点字の規則」

# 1. 文字を入力する

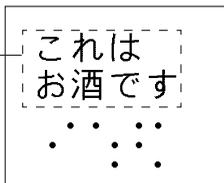
印字する文字は、通常のラベル作成と同様に入力します。

参照  P.34 「手順どおりに印字ラベルを作ってみよう」

文字を印字せずに点字のみのラベルを作成する場合は、このページの操作は不要です。

例：

ここを  
入力します



- 1** 「これは」を入力し、**選択**を押す  
「これは」がひらがなのまま確定します。



- 2** **選択改行**を押す  
改行され、行頭マークの**2**が表示されます。

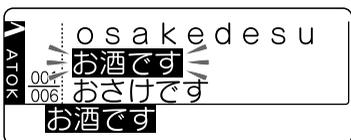
- 3** 「おさけです」を入力し、**変換スペース**を押す  
変換候補が表示されます。



さらに**変換スペース**を押すと、変換対象が次の候補に変わり、変換候補一覧が表示されます。

- 4** 「お酒です」と変換されている状態で**↓**を押す

文字が確定します。



## MEMO

- 文字を確定した直後なら、**復活**ボタンで変換前の状態に戻すことができます。
- 文字を間違えたときは、**削除**ボタンで文字を消して、正しい文字を入力し直してください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 「読み」を入力した直後に**選択**を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に**無変換**を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」の場合は、「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、**シフト**を押しながら**無変換**を押すと、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、**選択**を押して確定します。
- 2文節以上の語句を変換し直す説明については、P.38「長い文章を変換する」を参照してください。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。  
参照  P.209 「ローマ字変換表」

## 2. 点字を入力する

点字を入力するときは(点字)ボタンで点字入力画面にして編集します。

例：



① (点字) を押す

② 「文字入力」が選択されている状態で

(選択) を押す



点字「文字入力」画面が表示されます。

③ 「入力」行に「おさけ」を入力し、(選択) を押す

ローマ字入力：[O] [S] [A] [K] [E]

かな入力：[お] [さ] [け]



「おさけ」が確定します。

④ (点訳) を押す

点訳画面になり変換候補が表示されます。

さらに(変換スペース)を押すと、変換対象が次の候補に変わり、変換候補一覧が表示されます。

⑤ 「お酒」が選択されている状態で (選択) を押す



「お酒」という内容で点訳されます。

### MEMO

点字「文字入力」画面には漢字が表示されませんが、点訳時に文節を認識させるため目的の文章に変換する必要があります。

⑥ (選択) を押す

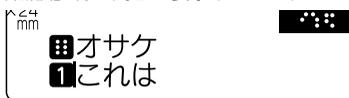


カーソルが「点訳」行に移動します。点訳が適切でない場合は、ここで修正してください。

⑦ (選択) を押す



打刺する点字が確定され、テキスト画面に戻ります。1行目の上に(点字行頭マーク)と「点訳」行の内容が表示されます。



### !! 注意 !!

点字の内容は、ラベルを貼る前に必ず確認してください。自動点訳は点訳規則に従っておこなっていますが、100%の正確さを保証するものではありません。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

### MEMO

- 点字入力の詳細は、P.98「文字入力」で点字を入力する」を参照してください。
- 点字に対して指定できる機能は、点字書式および、文章書式の定長印刷、余白です。
- 点字と印字の配置は、点字書式で変更できます。参照 P.107「点字の書式を指定する」
- 点字を直接入力することもできます。参照 P.103「直接入力」で点字を入力する」
- 点字はテープ幅によらず1行のみ入力できます。
- 点字テープカートリッジがセットされていない状態で点字を入力すると、入力後「点字テープではありません!」が表示されます。必ず、点字テープカートリッジをセットしてください。

### 3. 点字ラベルを印刷する

点字ラベルを印刷します。点字を打刻する前に印刷をします。印刷する文字が入力されていない点字のみのラベルの場合でも、印刷を実行し、打刻用のラベルを送り出します。

#### プレビューする

印字ラベルと同様に、印刷前にプレビューで、できあがりを確認できます。

参照 P.44 「印刷イメージを確認する(プレビュー)」

#### 1 点字テープカートリッジを正しくセットし、「送りカット」をする

点字ラベルには、必ず点字テープカートリッジを使用してください。また、テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「送りカット」をしてください。テープ先端の余白があると、点字を正しく打刻できないことがあります。

#### 2 を押しながら (=プレビュー) を押す

プレビューの表示方法が選択できます。

#### 3 で表示する項目を選択し、 を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

#### 表示方法

印字と点字  
を合わせた  
イメージを  
表示します

印字のみ

#### !! 注意 !!

ラベルは接着面が広いほどはがれにくくなります。点字ラベルの場合は特に余白を多くし、できるだけ接着面を多くしてください。参照 P.87 「余白」

#### MEMO

- プレビューを途中でやめるときは または を押してください。
- 点字テープカートリッジがセットされていない状態で点字を入力すると、入力後「点字テープではありません！」が表示されます。必ず、点字テープカートリッジをセットしてください。

#### 印刷する

印字ラベルと同様の操作で印刷します。

参照 P.45 「印刷する」

印刷する前に、点字テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ(AS1527J)を正しく接続しているかを確認してください。

#### 1 を押す

できあがるラベルの長さ、印刷枚数、点字ラベルであることが表示され、印刷が始まります。

印刷が終わるとテープは自動的にカットされ、点字打刻の案内メッセージが表示されます。

長さ	2.8cm	点字あり
幅	24mm	
	1 枚	

#### !! 注意 !!

打刻をするまでラベルをはがさないでください。

#### MEMO

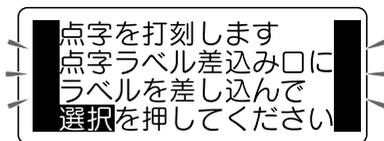
- 印刷を途中でやめるときは を押してください。
- 点字が入力されている場合、点字の挿入・上下マークが印刷されます。
- 点字ラベルは長さ約30mm以下のラベルは印刷できません。

## 4. 点字を打刻する

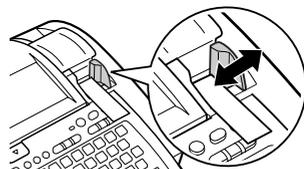
印刷したラベルを点字ラベル差込み口に挿入して打刻します。

### 1 印刷後、打刻を案内するメッセージが表示されていることを確認する

このメッセージが表示されていない状態では打刻できません。

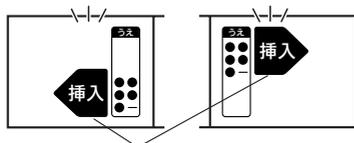


### 2 点字ラベル差込み口の可動ガイドをラベル幅に合わせる

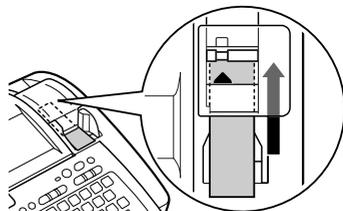


### 3 ラベルの左側を固定ガイドに沿わせ、打刻部ローラーに突き当たるまで挿入する

ラベルに印刷された挿入方向を示したマークと、点字ラベル差込み口のマークを合わせて差し込みます。

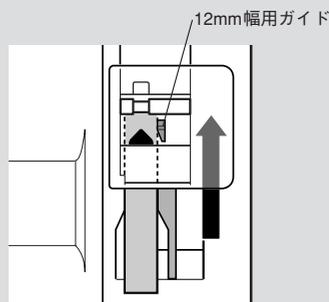


挿入方向を示しています(24mm幅テープの例)。



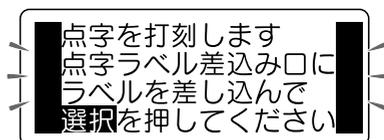
## !! 注意 !!

- 必ず直前に印刷されたラベルを挿入してください。それ以外のラベルを挿入すると長さが異なり、点字を最後まで正しく打刻できないことがあります。また、点字テープカートリッジ以外で印刷したラベルを挿入すると、打刻ユニット内にラベルが詰まるなど故障の原因となります。
- ラベルは折らずに挿入してください。折り目があるとラベルが詰まることがあります。
- 裏紙がはがれているラベルは挿入しないでください。接着面の出たラベルは打刻部に貼り付いてしまいますので注意してください。
- 12mm幅のラベルは、内部の12mm幅用ガイドの上に重ならないように挿入してください。



### 4 **選択** を押す

打刻が始まります。



## !! 注意 !!

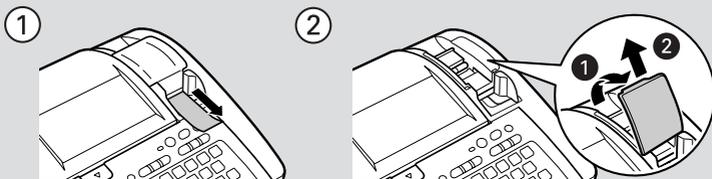
- 本機ではインパクト方式で点字ラベルを作るため打刻時に音がします。
- 打刻を途中でやめるときは「削除」を押してください。この場合、ラベルが排出されずに残ります。Ⓚ排出を押してラベルを取り出してください。
- ラベルが長い場合、丸く巻きつき、うまく送られないことがあります。
- 打刻が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 打刻中には上カバーを開けないでください。
- 40マスを超える点字の打刻はできません。
- ラベルのカドを丸くする「カド丸」は、打刻したあとに仕上げてください。

参照 P.67 「カドを丸く仕上げる」

- 印刷後に点字テープカートリッジのテープがなくなっている場合、印刷されたラベルは点字の打刻に必要な長さよりも短く、点字を最後まで正しく打刻できないことがあるので注意してください。

ラベルが打刻ユニット内でからまった場合には

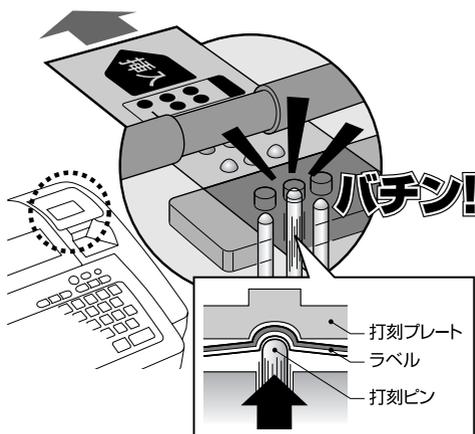
- ① 「削除」を押してテキスト画面に戻った後、「シフト」を押しながら「排出」を押して、ラベルを手前に排出します。排出されたラベルの先端を手前に引き出してください。
- ② ①の方法でラベルを引き出せなかった場合、電源を切った状態で打刻部カバーをはずし、つまっているラベルを取り除いてください。



## 参考

## インパクト方式

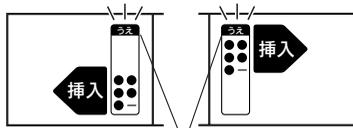
打刻プレートの下を通るラベルを裏紙側から打刻ピンで打ち、打刻プレートのくぼみを利用してラベルを変形させることで「点」を作ります。



## 5. 点字ラベルを貼る

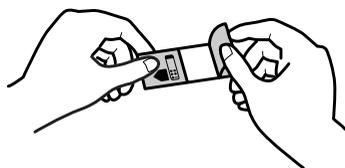
印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

- ① ラベルの上下を確認する**  
 ハーフカット部分にラベルの上下が印刷されています。

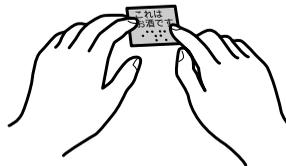


ラベルの上下を示しています(24mm幅テープの例)。

- ② 裏紙をはがす**



- ③ 点字を押しつぶさないように、しっかりとこすって貼り付ける**



### MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。  
 参照 P.67 「カドを丸く仕上げる」

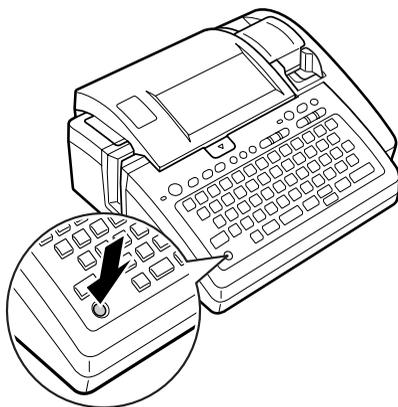
### !! 注意 !!

- 点字の内容は、ラベルを貼る前に必ず確認してください。  
 自動点訳は点訳規則に従っておこなっていますが、100%の正確さを保証するものではありません。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- 点字ラベルは、上下に注意してください。貼り付けるときは印字の向きにかかわらず、ハーフカットしろの挿入・上下マークの上下を目安に、正しい向きに貼ってください。
- 点字ラベルは点字標示板などと比べて、強度はありません。貼り付けるときは、点字部分を押しつぶさないように注意し、点字のない部分をしっかりとこすって貼り付けてください。
- ラベルは接着面が広いほどはがれにくくなります。点字ラベルの場合は特に余白を多くし、できるだけ接着面を多くしてください。また、「カド丸」に仕上げると、よりはがれにくくなります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨や日光にさらされるところや、屋外に貼ることは避けてください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼ることはやめましょう。
- 「テプラ」で得られるラベルについて  
 塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

## ●使い終わったら 〈電源を切る〉

### ① を押す

電源が入っている状態で  を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。



### ② ACアダプタ(AS1527J)をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

### !! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。

### つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編2」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

# 使いかた編 2

～目的にあったラベルを作ろう～

複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、文章を仕上げる機能を  
確認しましょう。

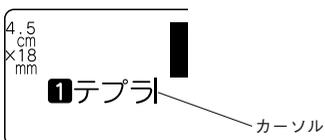
また、印刷機能を設定したり、「カド丸仕上げ」にするなど用途に合わせた  
ラベルを作りましょう。

# ●文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

## カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入・削除する位置を表します。



カーソルの移動にはカーソルボタン を使います。

本機のディスプレイには最大12文字×4行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	前(上)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	次(下)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭、さらに前の段落の先頭……と移動します。
	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わり、さらに次の段落の終わり……と移動します。

+ となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

## 文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、 を押して漢字などに変換します。

参照 P.34 「手順どおりに印字ラベルを作ってみよう」

## 文字を削除/挿入する

文字の後ろ(右側)にカーソルを合わせ **削除取消** を押しと文字が削除されます。

文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

**例** : 「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

**1** **←** **→** で「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

**1** 定期点検実施中

**2** **削除取消** を押して「定期」を削除する

**1** 定期点検実施中



**削除取消** x2回

**1** 点検実施中

カーソル位置は行頭になります。

**3** 「特別」を入力する

**1** 特別点検実施中

### !! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数(約250文字)をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク(◀)が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

### MEMO

間違っ文字を削除した場合は、削除した直後なら **復活** ボタンで復活できます。

## 削除した文字をもとに戻す(復活)

削除した文字や文章は、削除した直後なら

**復活** ボタンで復活できます。

**例** : 「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

**1** 「定期点検実施中」を入力する

**1** 定期点検実施中

**2** **←** **→** で「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

**3** **削除取消** を2回押して「定期」を消す

**1** 定期点検実施中



**削除取消** x2回

**1** 点検実施中

**4** **復活** を2回押す

削除した文字が復活します。

**1** 定期点検実施中

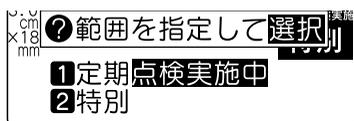
### MEMO

- 仮確定の状態では削除した文字は、復活できません。
- 削除直後に **←** **↑** **↓** **→** **シフト** **入力切替** (みえ) 以外のボタンを押した場合は、次に **復活** を押しでも復活できません。
- 削除取消** ボタンで削除した文字を30文字まで記憶できます。
- 全文消去、段落消去も復活できます。
- 文字の貼り付けをやめることもできます。  
参照 **📖** P.58 「文字を貼り付ける」

## 文字をコピーする

例：「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

- 1行目に「定期点検実施中」、2行目に「特別」を入力する
- ← ↑ ↓ → で「点」の前(左側)にカーソルを合わせる  
 1 定期点検実施中  
 2 特別
- コピーを押す  
 コピー範囲を指定する画面になります。
- ← → で範囲を指定し、選択を押す



指定した範囲が一時的に記憶され、このあとの貼り付け操作で文字を貼り付けます。

### MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時、点字「直接入力」画面では、コピーや貼り付けはできません。

## 文字を貼り付ける

コピーした文字は、あらたにコピーするまで何度でも貼り付けることができます。

- ← ↑ ↓ → で貼り付け先にカーソルを合わせる  
 2 特別
- シフトを押しながらコピー(=貼付け)を押す  
 コピーされた文字が挿入されます。  
 2 特別点検実施中

## すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- シフトを押しながら削除取消(=消去)を押す  
 「消去」メニューが表示されます。



- 「全文消去」を選び、選択を押す  
 ディスプレイが一瞬消灯し、全文消去されます。消去後は、テキスト画面に戻ります。



カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。

参照 P.63 「特定の段落を消去する」

点字が入力されている場合に点字を消去したいときは「点字消去」を選びます。

参照 P.106 「点字を削除する」

### !! 注意 !!

入力した文章には、各機能の指定内容と一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを充分に確認してから全文消去をおこなってください。

### MEMO

- 削除した直後なら復活ボタンで復活できます。
- 全文消去では、以下の内容は消去されません。  
 ファイル・あて名・名前・辞書・外字データ、文字地紋データ、創作地紋データ、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ<sup>2</sup>」の状態
- すべてを購入時の設定に戻りたいときは、本機の初期化をおこなってください。  
 参照 P.179 「本機を初期化する」

# ●行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます( **選択 改行** を押します)。

## テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから24mmまでの幅のテープを使うことができます。

セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	PROテープカートリッジ						点字テープカートリッジ			
	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24 * mm	12mm		24 * mm	
							並記	重記	並記	重記
印刷可能な行数	1行	2行	3行	4行	6行	8行	4行	4行	4行	8行

## MEMO

- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24 \* mm幅テープは8行まで印刷できます。品番末尾に「\*」のつかない24mm幅テープは6行まで印刷できます。
- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク **1 2**……**☒**、**1 2**……**☒**と、実質行頭マーク **1 2**……**☒**、**1 2**……**☒**の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- **☒**はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。**☒**の表示がある時に**印刷**を押しても「行数オーバーです！」が表示されます。**☒**のある行を削除してから印刷をおこなってください。  
参照 **P.188** 「こんな表示が出たときは - 行数オーバーです！」

## 新しい行を作る

行の終わりで **選択 改行** を押すと、新しい行に入力することができます(改行)。

例 : 3行の文章を入力する

営業1課  
営業2課  
営業3課

**1** 「営業1課」を入力し、**選択 改行** を押す

**1** 営業1課



**選択 改行**

2行目に行頭マークが表示されます。

**1** 営業1課  
**2**

**2** 「営業2課」を入力し、**選択 改行** を押す

**1** 営業1課  
**2** 営業2課



**選択 改行**

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

**2** 営業2課  
**3**

## MEMO

仮確定文字があるときは、**選択 改行** を押しても改行できず、文字が確定します。

## 文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ(右側)の文字は次の行に移ります。

例：「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介



途中で改行すると

営業1課  
田中慶介

- ① で「課」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

① 営業1課田中慶介

- ② を押す  
2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

① 営業1課  
② 田中慶介

### MEMO

仮確定文字があるときは、 を押しても改行はできず、文字が確定します。

## 改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事  
営業部  
営業1課  
田中慶介



途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事  
営業部 営業1課  
田中慶介

- ① 3行目の行頭マーク の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

① 株式会社 ○×商事  
② 営業部  
③ 営業1課  
④ 田中慶介

- ② を押す  
3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。  
4行目の「田中慶介」が3行目になります。

① 株式会社 ○×商事  
② 営業部 営業1課  
③ 田中慶介

### MEMO

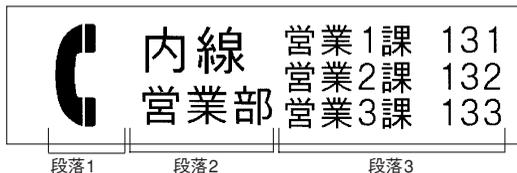
- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、 を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク ① は削除できません。

## ●段落を増やす(改段落)

下のラベルは3つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテープ幅に積み重ねて印刷される「行の集まり(または1行)」のことです。1つのラベルの中にいくつかの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。

段落は1つのラベル(文章)の中に最大16段落まで作ることができます。

### 段落が3つのラベル



印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

【画面上では】

段落1	1 ☎
段落2	1 内線 2 営業部
段落3	1 営業1課 131 2 営業2課 132 3 営業3課 133

## 新しい段落を作る

段落の終わりで`シフト`を押しながら`選択 改行`(=改段落)を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する

☎	内線	営業1課	131
	営業部	営業2課	132
		営業3課	133
段落1		段落2	

### 1 段落1を入力する

1行目に「☎内線」、2行目「営業部」と入力します。

1	☎内線
2	営業部

### 2 文末にカーソルを合わせ、`シフト`を押しながら`選択 改行`(=改段落)を押す

新しい段落が発生し、その1行目の行頭マーク①が表示されます。

2	営業部
1	

### 3 段落2を入力する

1行目「営業1課 131」  
2行目「営業2課 132」  
3行目「営業3課 133」  
と入力します。

改行のときは、行の終わりで`選択 改行`を押してください。

2	営業2課	132
3	営業3課	133

## 段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ(右側)の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす

☎	内線	営業1課	131
	営業部	営業2課	132
		営業3課	133
段落1		段落2	

↓ 段落1の「☎」の後ろ(右側)で改段落すると

☎	内線	営業1課	131
	営業部	営業2課	132
		営業3課	133
段落1		段落2	段落3

### 1 段落1の1行目「☎」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1	☎内線
2	営業部

### 2 `シフト`を押しながら`選択 改行`(=改段落)を押す

改段落され、カーソルより後ろ(右側)の文字は新しくできた段落に移ります。カーソルは新しい段落の1行目にあります。段落2はそのまま段落3に移ります。

1	☎内線
---	-----

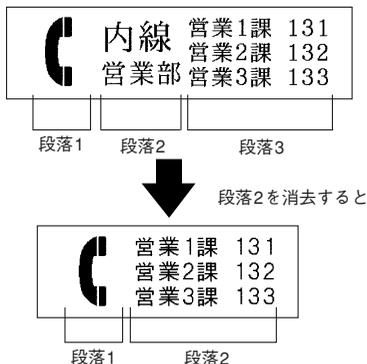
## MEMO

- 仮確定文字があるときは、`シフト`を押しながら`選択 改行`を押しても改段落はできず、文字が確定します。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。参照 P.88 「機能の説明(段落スタイル)」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致なくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。参照 P.88 「文字サイズ」

## 特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。段落を消去すると、文字だけではなくその段落に指定された段落スタイル指定、文字モードの指定内容もすべて消去されます。

**例**：段落2を消去する



- 1 消去する段落2にカーソルを合わせる  
カーソル位置は消したい段落内ならどこでもかまいません。

1 内線  
2 営業部

- 2 シフトを押しながら **削除取消** (=消去) を押す  
「消去」メニューが表示されます。

消去  
≡ 全文消去 ≡ 入力したすべての文章を消去します  
≡ 段落消去 ≡

### !! 注意 !!

「全文消去」で **選択** を押すと、入力したすべての文章が消去されます。ご注意ください。

- 3 **↑** **↓** で「段落消去」を選ぶ

消去  
≡ 全文消去 ≡ カーソルのある段落を消去します  
≡ 段落消去 ≡  
≡ 点字消去 ≡

- 4 **選択** を押す  
ディスプレイが一瞬消灯し、段落が消去されます。消去が終わるとテキスト画面に戻ります。

1 **↑** **↓**  
1 営業1課 131

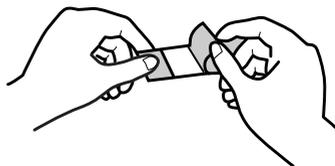
### MEMO

- 段落消去をおこなうと、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落消去は充分に確認してからおこなってください。
- 間違って消去した全文・段落は、消去した直後なら **復活** ボタンで復活させることができます。ただし、段落消去後に **←** **↑** **↓** **→** **シフト** **入力削除** **みえ** 以外のボタンを押すと、消去された全文・段落を復活させることはできません。
- 段落消去を途中でやめるときは、**削除取消** を押してください。
- テキスト画面の **田** (点字行頭マーク) の行にカーソルがある場合、「段落消去」は表示されません。
- 「点字消去」は点字が入力されている場合に表示されます。点字消去をおこなうと、点字の内容がすべて消去されます。

# ●印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくする「ハーフカット」機能があります。

ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。ハーフカットが有効になっているときは、ハーフカットランプが点灯します。



## !! 注意 !!

- 点字ラベルの挿入・上下マークの部分は、自動カットとハーフカットの設定が変更できません。
- 本機のカッターでカットできない反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルを使う場合は、「自動カット」を無効で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。  
参照 P.187 「テープカートリッジを使いわせる」
- ハーフカットのできない反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・ケーブル表示ラベルを使う場合は、ハーフカットを無効にして印刷してください。  
参照 P.187 「テープカートリッジを使いわせる」

## 自動カットとハーフカットを無効にする

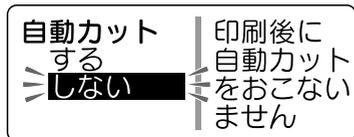
- ① **シフト**を押しながら **設定** (=印刷設定)を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。

- ② 「自動カット」を選び、**選択**を押す



「自動カット」が表示されます。

- ③ **上** / **下** で「しない」を選び、**選択**を押す

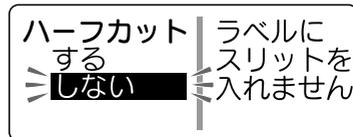


自動カットとハーフカットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

## 自動カットを有効、ハーフカットを無効にする

左の手順③で「する」を選ぶと自動カットは有効となり、「ハーフカット」メニューが表示されます。手順④の操作をおこなってください。

- ④ **上** / **下** で「しない」を選び、**選択**を押す



ハーフカットのみ無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

## MEMO

- 自動カットとハーフカットをともに有効にする場合は、手順③、④で「する」を選びます。
- 自動カットなしで印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができません。

参照 P.32 「4. 「送りカット」をする」

- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約18mm以下のラベルは印刷できません。ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます。
- 印字ラベルの地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約20mmカットされます。
  - ・ 余白が「極少」、「少なめ」、「自動少なめ」の場合(全テープ幅)
  - ・ 余白が「自動多め」の場合(4mm、6mm幅テープ)
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 P.228 「アフターサービスについて」

- ハーフカット有効で、連番の繰り返し回数を2回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。

## !! 注意 !!

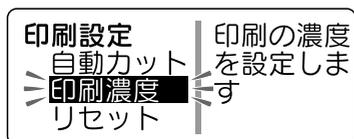
- 「下点字」指定の点字ラベルの場合は、設定によらず必ず自動カットがおこなわれます。
- 「上点字」指定の点字ラベルの場合は、地紋印刷時、または余白が以下の条件の時にハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約20mmカットされます。
  - ・ 余白が「極少」、「少なめ」、「自動少なめ」の場合(全テープ幅)

## ●印刷濃度を調整する

印刷濃度は7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「0」でご使用ください。

**1** **[シフト]**を押しながら**[]**(=印刷設定)を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。

**2** **[↑]****[↓]**で「印刷濃度」を選び、**[選択]**を押す



「印刷濃度」が表示されます。

**3** **[←]****[→]**で濃度を調整し、**[選択]**を押す



印刷濃度が設定されます。

### MEMO

- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「0」以外に設定すると、印字がづれたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなる場合がありますのでご注意ください。
- 反射ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。  
参照  P.187「テープカートリッジを使いかわける」

## ●印刷設定をリセットする

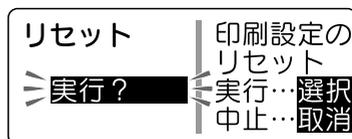
自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態(初期設定値)に戻します。

**1** **[シフト]**を押しながら**[]**(=印刷設定)を押す  
「印刷設定」メニューが表示されます。

**2** **[↑]****[↓]**で「リセット」を選び、**[選択]**を押す



**3** 「実行？」を選び、**[選択]**を押す



自動カットと印刷濃度の設定が初期設定値になります。

# ●カドを丸く仕上げる

ラベルのカドを丸くカットした、「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよくなりだけでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

これは  
お酒です

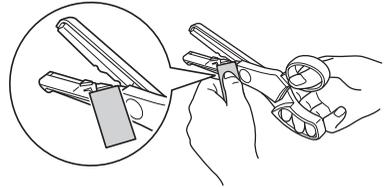


## !! 注意 !!

点字ラベルは打刻後にカットしてください。打刻前にカットすると、打刻時にラベルがつまることがあります。

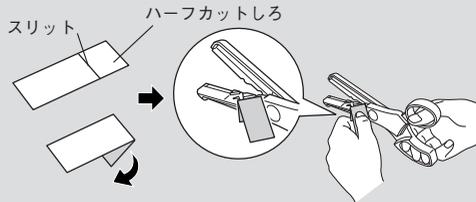
- 1 トリマー (RT36W) のカド丸ガイドにラベルのカドをあわせる  
カド丸ガイドは、カド丸(大)と、カド丸(小)の2つがあります。

- 2 トリマーでカドをカットする



## MEMO

- トリマー (RT36W) の詳しい使用法は、本体に同梱されているトリマーのパッケージを参照してください。
- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、カド丸ガイドにラベルのカドをあわせてカットしてください。



## !! 注意 !!

- トリマーは4mm～36mm幅「テプラ」テープ専用です。「テプラ」テープ以外のものに使用しないでください。
- 伸縮ラベルはカットできませんので、トリマーで切らないでください。
- マグネットテープに使用しますと、刃の磨耗を早めますのでご注意ください。
- 点字ラベルをカットすると、裏紙がカットされずに残ることがありますが異常ではありません。
- 刃に切りカスや粘着剤がこびりつくと切れにくくなりますので、まめに薬用アルコールを含ませた綿棒などで掃除してください。



# 機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「印刷する文字の向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

「ラベルに点字を打刻したい」

「入力した文章を保存しておきたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

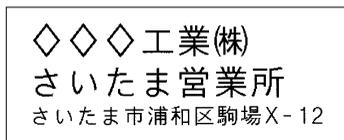
# ●ラベルの向きを変える(縦・横)

本機には、ラベルの向きをワンタッチで変えられる(縦・横)ボタンがあります。

## (縦・横) ボタンを使う

(縦・横) ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」で切り換えられます。

よこ書きラベル

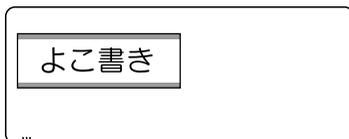


たて書きラベル

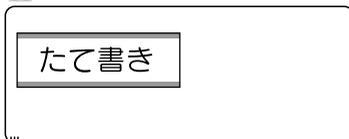


### 1 (縦・横) を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインジケータで確認できます。



よこ書き



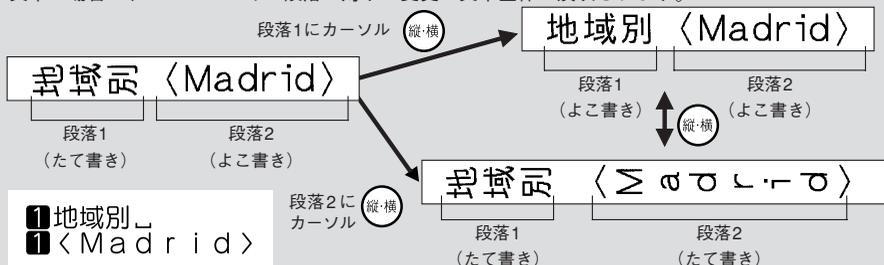
たて書き

## MEMO

- ・仮確定文字があるとき、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- ・段落スタイル機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。  
参照 P.73 「指定範囲とカーソルの位置について」
- ・点字部分には「たて書き」を指定できません。

## !! 注意 !!

(縦・横) ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が文章全体に反映されます。



1 地域別  
1 <Madrid>

## 参考

## たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「02年大会記録」を入力する

02年大会記録

① **縦・横** を押して、「たて書き」を指定する



② を押す  
「記号」メニューが表示されます。

③ 「2桁数字」を選び、**選択 改行** を押す



数字入力画面が表示されます。

④ 2桁の数字を入力し、**選択** を押す  
ここでは **0**、**2** と押し、**選択** を押します。



カーソルの位置に「02」が表示されます。

⑤ 続けて文章を入力する



## MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除** または **記号** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 2桁の数字は、**記号** を押して「2桁数字」を選んで入力します。テキスト画面での入力では2桁数字にはなりません。
- 仮確定文字があるときは、**記号** ボタンで2桁数字は入力できません。

# ●ラベルの長さを整える(らく?)

らく? ボタンを使うと、文字サイズを「均等」または「らく?」に切り換えられます。

「らく?」を選ぶと、すべての行ができるだけ同じ長さになるように文字サイズを自動調整します。1行の場合でも、文字数が多い場合は全体が長くなりすぎないように文字サイズを調整します。

「均等」を選ぶとすべての行を同じ文字サイズにします。

2行で「らく?」を指定

鈴木商店  
☎03-13XX-13XX



2行で「均等」を指定

鈴木商店  
☎03-13XX-13XX

- 1 ラベルの文章を入力する  
参照 P.35 「文章を入力する」

- 2 らく? を押す  
「均等」または「らく?」は、ディスプレイのインジケーターで確認できます。  
「らく?」の場合は、文字サイズを自動調整します。  
「均等」の場合は、すべての行を同じ文字サイズにします。



## MEMO

- 仮確定文字があるとき、「均等」「らく?」は変更できません。
- らく? ボタンは段落スタイル機能の「文字サイズ」が「均等」または「らく?」に指定されているときのみ有効です。「おまかせフォーマット」や「自由のび?」で文字サイズを行ごとに指定している場合は、変更できません。  
参照 P.88 「文字サイズ」
- 点字部分には、文字サイズを指定できません。

# ●ラベルの見栄えをよくする～装飾機能を使おう～

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、**書式** や **スタイル**、**モード**、**シフト** + **点字** (=点字書式) ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。

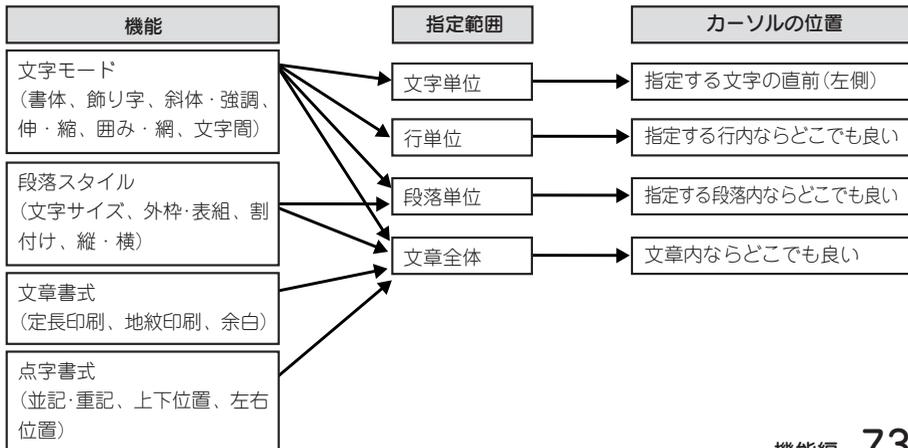
機能は、指定可能な範囲の違いによって、文字モード・段落スタイル・文章書式・点字書式に分類されています。

## 各ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
文字モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	淡文字、白文字、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	下線、訂正線、網かけ、囲みの装飾をします。
		文字間	文字の間隔を狭くしたり、広くしたりします。
段落スタイル	段落単位 文章全体	文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
		縦・横	たて書きや、よこ書きにします。
		定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
文章書式	文章全体	地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。
		並記・重記	印字と点字の重なりを指定します。
点字書式	文章全体	上下位置	ラベルに対する点字の上下位置を指定します。
		左右位置	ラベルに対する点字の左右位置を指定します。

## 指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、機能のボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



## 機能を指定する

機能は以下のような流れで指定します。

### 1 カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前(左側)にカーソルを合わせます。  
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。  
文章全体に指定するときや点字書式を指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。  
参照 P.73「指定範囲とカーソルの位置について」

### 2 機能のボタン(書式 または スタイル、モード、シフト + 点字)を押す

#### !! 注意 !!

文章中に仮確定の文字があるときは、機能は指定できません。

### 3 機能を選ぶ

← ↑ ↓ → で目的の機能を選び、**選択** を押します。

文章書式

段落スタイル

文字モード

点字書式

文章書式

定長印刷  
地紋印刷

段落スタイル

文字サイズ  
外枠・表組

文字モード

書体  
飾り字

点字書式

並記・重記  
上下位置

### 4 各機能の選択肢を指定する

↑ ↓ で目的の選択肢を選び、**選択** を押し  
ます。

例：「文字モード」の書体選択肢

漢字書体

明朝体

ゴシック

波ゴ体

亜字

### 5 「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、「終わり？」が表示  
されます。

同じ分類の機能(この場合「文字モード」)であれ  
ば、続けて指定することができます。↑ ↓ で  
目的の機能を選び、**選択** を押します。  
以降の手順は 4 5 と同様です。

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、  
**選択** を押します。  
手順 6 へ進みます。

文字モード

文字間

終わり？

文字モード

の有効範囲

を指定しま

す

## MEMO

他の機能(この場合「段落スタイル」「文章書式」「点字書式」)を指定したい場合は、手順 6 の後、テキ  
スト画面に戻ってから他の機能のボタンを押します。

## 6 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。

下表を参考に、  で指定する範囲を選び、 を押します。

指定が終了し、テキスト画面に戻ります。

(「文章書式」「点字書式」の機能を選択した場合は、有効範囲の画面は表示されず、手順⑤でテキスト画面に戻ります。)

有効範囲は？

この文章  
この字から  
この行

カーソル以降に指定を反映します

### ● 「文字モード」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した文字モードを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末(または、次の「▶」)まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

### ● 「段落スタイル」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

### ● 「文章書式」「点字書式」の機能を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。

手順⑤で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式、点字書式を反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

## MEMO

- ▶(文字モード指定マーク)は印刷されません。
- ▶は削除することができます。▶を削除すると、その前にある▶の指定を反映します。▶がない場合は、「この文章」で指定した内容、または保存値を反映します。
- 各機能のご購入時の状態(初期設定値)はP.76「文章書式のメニュー一覧」、P.77「段落スタイルのメニュー一覧」、P.80「文字モードのメニュー一覧」、P.107「点字書式メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.176「各種の初期値(保存値)を設定する」で変更することもできます。
- 指定の途中で~~削除取消~~または各機能のボタンを押すと、1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すと、指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。
- 一部の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。  
参照  P.24 「ディスプレイの見かたとはたらき」  
また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- 点字に対して指定できる機能は、点字書式および、文章書式の定長印刷、余白のみです。
- 点字書式の詳細は、P.107「点字の書式を指定する」を参照してください。

# メニュー一覧

## 文章書式

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
<b>文章書式</b> <b>定長印刷</b> ▶ 定長印刷 決まった長さのラベルを作ります。 参照 P.82	数値指定 VHS <b>しない</b> 8mmビデオ A4ファイル ミニDV B5ファイル MD CDケース 音楽テープ FD・MO	(数値指定のみ) ▶ 1.0cm～95cm (数値指定以外) <b>前寄せ</b> 割付け 中寄せ 後寄せ	<b>前寄せ</b> 割付け 中寄せ 後寄せ
	<b>地紋印刷</b> ▶ 地紋印刷 定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。 参照 P.84 文字地紋 文字地紋の入ったラベルを作ります。 参照 P.85 創作地紋 創作地紋の入ったラベルを作ります。 参照 P.86 余白 ▶ 余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照 P.87 終わり? 終わり? 参照 P.74	文字地紋 海波 <b>なし</b> 雪 菱形 桜 菱網 星 点網 カト 切抜 唐草	(文字地紋のみ) 地紋の文入力画面 (創作1～4のみ) ▶ 創作地紋作成画面
	ふうふう 極少 <b>少なめ</b> 多め 自動少なめ 自動多め		

書式

機能編

# 段落スタイル

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>段落スタイル</b> <b>文字サイズ</b> <p><b>均等</b> 各行を同じ文字サイズにします。</p> <p><b>らく<sup>2</sup></b> 入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。</p> <p><b>おまかせフォーマット</b> 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。</p> <p><b>自由のび<sup>2</sup></b> 行ごとに文字の大きさを指定します。 参照  P.90</p>	自動	均等 <b>らく<sup>2</sup></b>
	1行 ▶	<b>(おまかせフォーマット)</b> <b>特大1a</b> 小 1d 大 1b     細 1e 中 1c
	2行 ▶	<b>自由のび<sup>2</sup></b> <b>大大2a</b> 大小2c 中中2b     小大2d
	3行 ▶	<b>自由のび<sup>2</sup></b> <b>均等3a</b> 2大3c 1大3b     3大3d
	4行 ▶	<b>自由のび<sup>2</sup></b> <b>均等4a</b> 3大4d 1大4b     4大4e 2大4c
	5行 ▶	<b>自由のび<sup>2</sup></b> <b>均等5a</b> 3大5d 1大5b     4大5e 2大5c     5大5f
	6行 ▶	<b>自由のび<sup>2</sup></b> <b>均等6a</b> 下大6c 上大6b
	7-8行	

スタイル

機能編

### 段落スタイル

#### 外枠・表組 ▶

##### 表組み

ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。

参照 P.91

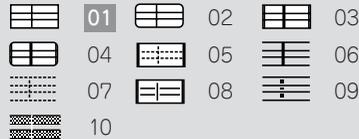
##### 外枠

ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。

「?二?」(記号外枠)はオリジナルの外枠を作ります。

参照 P.91

#### 表組み ▶



#### なし

#### 外枠 ▶



## 段落スタイル

## 割付け

## 割付け

各行の文字の配置を指定します。

参照  P.93



前揃え



割付け



中揃え



後揃え

## 縦・横

## 縦・横

文字の向きを指定します。

参照  P.93

よこ書き

たて書き

## 終わり?

## 終わり?

段落スタイルの範囲を指定します。

参照  P.74

有効範囲は?

この文章

この段落



# 文字モード

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
<b>文字モード</b> <b>書体</b> ▶ <b>書体</b> 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。 参照  P.94	<b>漢字書体</b> ▶ 明朝体 <b>ゴシック</b> 波ゴ体 太型明朝体 太型ゴシック 太型波ゴ体 極太明朝体 極太ゴシック	<b>かな書体</b> ▶ <b>自動</b> 明朝体 ゴシック 波ゴ体 えれん ハッピー 太型明朝体 太型ゴシック 太型波ゴ体 太型えれん 太型ハッピー 極太明朝体 極太ゴシック 極太えれん 極太ハッピー	<b>英数書体</b> <b>自動</b> 明朝体 ゴシック 波ゴ体 HV体 BR体 PL体 ST体 太型明朝体 太型ゴシック 太型波ゴ体 太型HV体 太型BR体 太型PL体 太型ST体 極太明朝体 極太ゴシック 極太HV体 極太BR体 極太PL体 極太ST体
<b>飾り字</b> ▶ <b>飾り字</b> 文字の装飾を指定します。 参照  P.94	白文字    白抜影 ぶつう    影文字 淡文字		
<b>斜体・強調</b> ▶ <b>斜体・強調</b> 文字を斜体または強調します。 参照  P.94	正体    斜体 強調    斜強調		

モード

機能編

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------

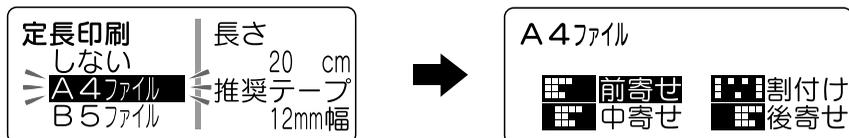
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>文字モード</b> <b>伸・縮</b> ▶ <b>伸・縮</b> 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく(小さく)するかを指定します。 参照  P.95	A 小さく      A 縮める A ふつう      A 伸ばす A 細かく	
<b>囲み・網</b> ▶ <b>囲み・網</b> 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。 参照  P.95	A 下線 <del>A</del> 訂正線 A なし      A 網かけ A 角囲み      A 角囲網 A 丸囲み      A 丸囲網	
<b>文字間</b> ▶ <b>文字間</b> 文字間隔を調整します。「ピッチ自動」は英数字にプロポーショナルがかかり、「ピッチ固定」は英数字も全角扱いになります。 参照  P.96	ふつう      広い ▶ 狭い      密着	<b>ピッチ</b> ピッチ自動 ピッチ固定
<b>終わり?</b> ▶ <b>終わり?</b> 文字モードの範囲を指定します。 参照  P.74	<b>有効範囲は?</b> この文章 この字から この行 この段落	

## 機能の説明(文章書式)

## ●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。

長さを指定した後、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



「数値指定」を選んだときは、ラベルの長さを指定してからラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお勧めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
A4ファイル	20cm	12mm
B5ファイル	15cm	12mm
CDケース	11cm	4mm
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm
VHS	14cm	18mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
ミニDV	4.0cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
音楽テープ	9.5cm	9mm

## MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「入力した文章が長すぎます」が表示され、印刷できません。文字数を減らしたり、行の大小指定や文字の伸・縮の指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがりの長さとは完全には一致しません。

## !! 注意 !!

点字ラベルに定長を指定する場合は、テキスト画面に表示される目安のラベル長より長めに指定してください。点字ラベルの場合は、点字の欠けを防ぐため、ラベルの長さの5%にあたる調整余白が発生することがあり、定長オーバーになる場合があります。

## 参考

定長内に文字をおさめる「つめ<sup>2</sup>」機能

「文字サイズ」で「らく<sup>2</sup>」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく<sup>2</sup>」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ<sup>2</sup>」機能が働きます。

## ① 一番最後の段落の文字を小さくする (図A→B)

(図A→B)

定長に入らない場合はまず、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で一番最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

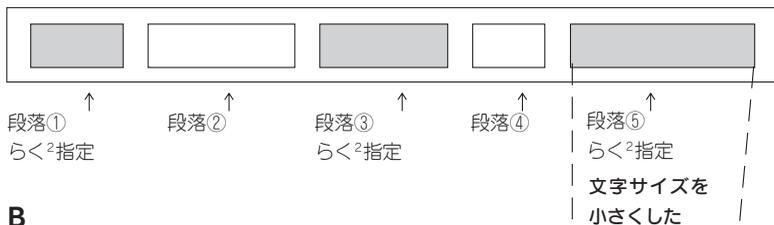
## ② 最後から2番目の段落の文字を小さくする (図B→C)

それでも定長に入らない場合は、「らく<sup>2</sup>」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

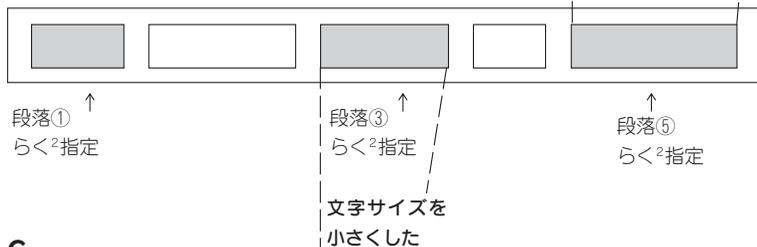
定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定し直すか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。

A



B



C



※段落②、④が「らく<sup>2</sup>」を指定していない段落です。

## !! 注意 !!

- 「らく<sup>2</sup>」を指定していない段落は「つめ<sup>2</sup>」機能は働きません。
- 「らく<sup>2</sup>」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ<sup>2</sup>」機能による処理はおこなわれません。

## ●地紋印刷

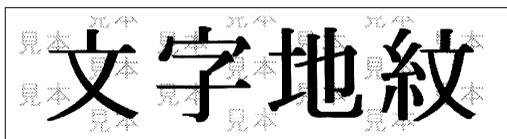
ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



### 文字地紋

好きな文字を入力し、地紋として印刷することができます。

参照 P.85 「文字地紋を使う」

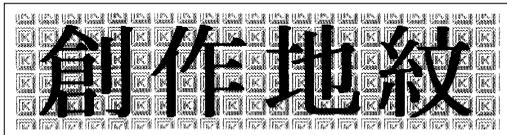


### 創作地紋

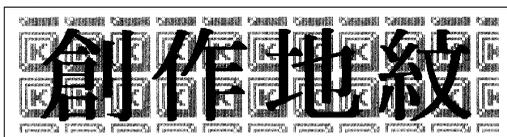
オリジナルの柄の地紋を作成します。

参照 P.86 「創作地紋を作る」

小柄



大柄



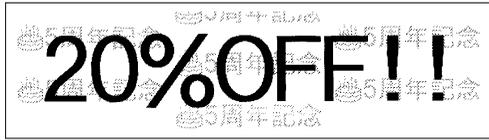
## MEMO

- 文字地紋は「文字地紋」、創作地紋は「創作1」～「創作4」のエリアに登録できます。
  - 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります。印刷に影響はありません。
  - 地紋印刷時、ハーフカットを有効にしていると、地紋の一部に縦の濃いラインが入る場合があります。
  - 文字地紋/創作地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面でそれぞれを消去していくか、本機の初期化をおこなってください。なお初期化をおこなうと、今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。
- 参照 P.179 「本機を初期化する」
- 点字と印字の両方が含まれるラベルの場合、地紋は印字の部分にのみ印刷されます。

## 文字地紋を使う

文字地紋を使えば、ラベルの下地にオリジナルの文字を印刷することができます。企業名を入れたラベルなども作れます。

例：「5周年記念」の文字を地紋にして印刷する

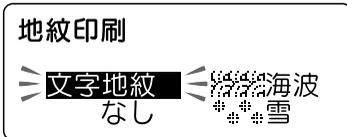


1 **書式** を押す  
「文章書式」メニューが表示されます。

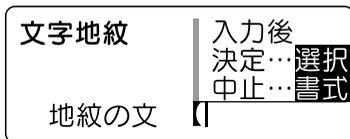
2 「地紋印刷」を選び、**選択** を押す



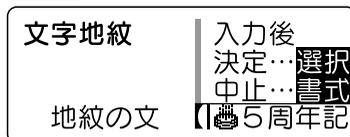
3 「文字地紋」を選び、**選択** を押す



「地紋の文」の入力画面になります。



4 地紋の文「5周年記念」を入力し、**選択** を押す



入力できる文字数は16文字までです。  
文字だけでなく、記号、外字も入力できます。

5 「終わり?」を選び、**選択** を押す



地紋インジケーターが点灯します。

## MEMO

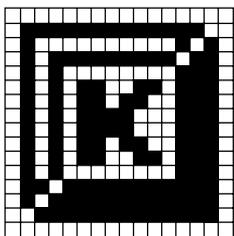
- 文字地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面で消去するか、初期化をおこなってください。なお初期化をおこなうと、今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。  
参照 P.179 「本機を初期化する」
- 文字地紋に文字モードを指定するときは、**モード** で指定します。なお、文字モードの「囲み・網」の指定はできません。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります。印刷に影響はありません。

## 創作地紋を作る

16ドット×16ドットのオリジナルマークを登録し、地紋として使うことができます。登録できるマークは「創作1」～「創作4」の4個です。

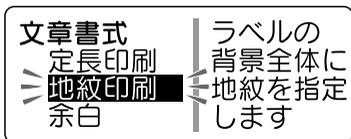
会社のロゴマークなどを地紋として印刷すれば、本格的な管理用ラベルが作成できます。

**例**：次のようなマークを「創作1」に登録する



**1** **書式** を押す  
「文章書式」メニューが表示されます。

**2** 「地紋印刷」を選び、**選択** を押す



**3** 「創作1」を選び、**選択** を押す



創作地紋の描画面になります。



**4** 創作地紋を描画する

描画方法は、外字を作成する場合と同じです。**←** **↑** **↓** **→** で描画エリア内をカーソル移動し、**シフト** ボタンで1ドットずつ塗りつぶします。

参照 P.160 「画面表示と描画方法」



**5** 創作地紋の描画が終わったら **選択** を押す

**6** 「小柄」または「大柄」を選び、**選択** を押す

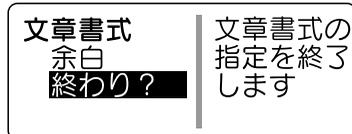


小柄と大柄のちがいを

例を「小柄」と「大柄」で印刷すると以下のようになります。



**7** 「終わり?」を選び、**選択** を押す



地紋インジケータが点灯します。

### !! 注意 !!

- 全面が黒っぽいパターンでの創作地紋は、印刷結果にムラが生じることがあります。
- 創作地紋では16ドットのデータを作成します。

## ●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少(余白：前後約1mm)

[極少]

少なめ(余白：前後約3mm)

[少なめ]

ふつう(余白：前後約10mm)(ご購入時の初期設定値)

[ふつう]

多め(余白：前後約18mm)

[多め]

## 自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります(12mm幅テープであれば余白は前後約4mm)。

[自動少なめ]

## 自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります(12mm幅テープであれば余白は前後約12mm)。

[自動多め]

## MEMO

ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約18mm以下のラベルは印刷できません。ラベルが約18mmより長くなるように定長や余白を設定してください(ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます)。

## !! 注意 !!

- 点字ラベルの場合は、点字の左右に接着面が多くなるように余白を調整してください。
- 点字ラベルの場合は、点字の欠けを防ぐため、打刻方向の後端に、ラベルの長さの5%にあたる調整余白が発生することがあります。

## 機能の説明(段落スタイル)

### ●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく<sup>2</sup>」「おまかせフォーマット」「自由のび<sup>2</sup>」で指定してください。  
「均等」「らく<sup>2</sup>」の変更はらく<sup>2</sup> ボタンでも指定できます。

均等	<p>各行を同じ文字サイズにします。 12mm幅テープ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2ndアルバム 発売中!</div> <p>18mm幅テープ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">封入特典</div>            インストアイベント招待券            日時:6月10日 19:30~            詳しくは店員まで         </div>
らく <sup>2</sup> (ご購入時の 初期設定値)	<p>入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します(フルオート)。 <b>1行のとき</b>：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「テプラ」PRO</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO</div> <p><b>2行以上のとき</b>：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>堀之内</b>            ◆0X0-20XX-20XX         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>HORINOUCHI</b>            ◆0X0-20XX-20XX         </div> </div> <p>テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。</p>
おまかせ フォーマット	<p>各行の文字サイズ(行の大小)を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます(セミオート)。 <b>参照</b> P.89 「おまかせフォーマット」</p>
自由のび <sup>2</sup>	<p>行ごとの文字サイズを自由に選びます(マニュアル)。 <b>参照</b> P.90 「自由のび<sup>2</sup>」</p>

### おまかせフォーマット(1行~8行)

選択肢から文字サイズ(行の大小)を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

また、「自由のび<sup>2</sup>」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ(行の大小)を自由に指定できます。

3行

均等3a

1大3b

2大3c

イメージ図のように文字サイズを指定します

### おまかせフォーマット 1行

特大 1a · 大 1b · 中 1c · 小 1d · 細 1eと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさと印刷されます。

印字サンプル	美 美 美 美 美 美 美 美 美 美									
文字サイズ [pt]	H [48]	U [38]	U' [32]	G [26]	L [19]	L' [16]	M [13]	S [10]	S' [8]	P [6]
テープ幅										
24 * mm	特大	大	中	小	細	-	-	-	-	-
18mm	-	特大	大	中	小	細	-	-	-	-
12mm	-	-	-	特大	大	中	小	細	-	-
9mm	-	-	-	-	特大	大	中	小	細	-
6mm	-	-	-	-	-	-	特大	大	中	小、細
4mm	-	-	-	-	-	-	-	-	特大	大、中、小

スタイル

点字テープカートリッジの場合は重記/並記の指定により、次のようになります。

24 * mm	重記	特大	大	中	小	細	-	-	-	-	-
	並記	-	-	-	特大	大	中	小	細	-	-
12mm	重記	-	-	-	特大	大	中	小	細	-	-
	並記	-	-	-	特大	大	中	小	細	-	-

### MEMO

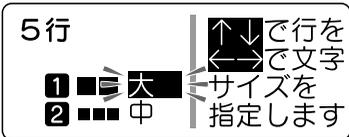
- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24 \* mm幅テープは8行まで印刷できます。品番末尾に「\*」がつかない24mm幅テープは6行まで印刷できます。
- おまかせフォーマット(2行以上)は、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

機能編

自由のび<sup>2</sup>

各行ごとに文字の大きさ(行の大小)を「細」「小」「中」「大」「特大」の5段階で、自由に指定できます。ただし、テープ幅や行数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。

5行

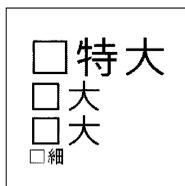
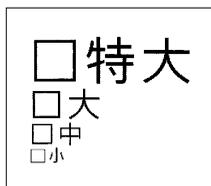

 1 大  
2 中

 ↓ ↑ で行を  
← → で文字  
サイズを  
指定します

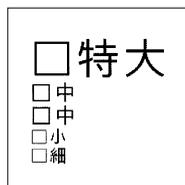
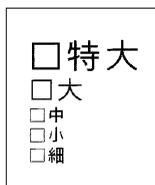

2行(18mm幅テープ)の印刷見本



3行(24mm幅テープ)の印刷見本



4行(24mm幅テープ)の印刷見本



5行(24mm幅テープ)の印刷見本

## MEMO

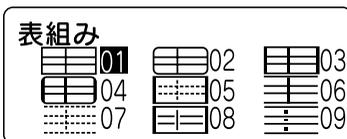
- これらの例は、自由のび<sup>2</sup>の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

## ●外枠・表組み

文章(段落)のまわりに外枠や表組みをつけます。  
文字の部分にのみ印刷されます。

### 表組み

文章(段落)を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。  
また、複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。  
表示されるピクトグラフで表組の種類を確認できます。



備品名	RDS
管理番号	1103-U

### MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、**記号**を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の**罫**を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS本館
管理番号	1103-U

段落1

段落2

テキスト画面に**罫**を入力する

**シフト**+**選択 改行**で改段落をして、  
このように段落2を入力します。

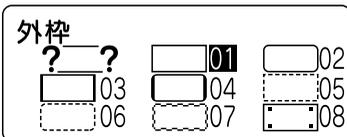
1 RDS**罫**本館  
2 1103-U

### なし(ご購入時の初期設定値)

外枠・表組みをつけません。

### 外枠

文章(段落)のまわりに外枠をつけます。  
表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。



**?\_?**を選ぶと、外枠の左右に配置する記号を選択して外枠を作れます。

参照 P.92 「記号外枠を指定する」



## 参考

## 記号外枠を指定する

記号外枠とは、外枠の前後を記号の中から選んでオリジナルの外枠を作る機能です。

例：



「記号外枠(前)」  
で選択した記号

「記号外枠(後)」  
で選択した記号

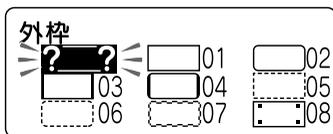
### 1 スタイルを押す

「段落スタイル」メニューが表示されます。

### 2 「外枠・表組」の「外枠」を選ぶ



### 3 「?」を選び、[選択]を押す



記号選択メニューが表示されるので、記号外枠の前部分を指定します。

### 4 外枠の前部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から を選びます。



[選択]



記号外枠の前部分が選択されます。続いて、後ろ部分を指定します。

### 5 外枠の後ろ部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から を選びます。

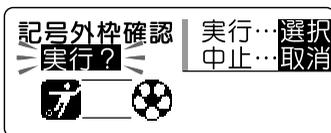
ここで「自動」を選ぶと、前部分と同じ記号が指定されます。

#### 記号外枠(後)

自動  
○△□☆

後ろの記号  
を選択  
自動は前後  
同じ記号

### 6 デザインを確認し、[選択]を押す



### 7 「終わり?」で [選択] を押し、「有効範囲」を指定する

段落スタイル  
縦・横  
終わり? | 段落スタイルの有効範囲を指定します

### 8 「有効範囲」を指定し、[選択]を押す

有効範囲は? | 文章全体に指定を反映します  
この文章  
この段落

記号外枠が指定されます。



## ● 割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

 前揃え(ご購入時の初期設定値)	行頭を揃えます。
 中揃え	各行の中心を揃えます。
 割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
 後揃え	行末を揃えます。

## ● 縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

たて書き/よこ書きの変更は  ボタンでも指定できます。

参照  P.70 「ラベルの向きを変える(縦・横)」

よこ書き(ご購入時の初期設定値)

よこ書き

たて書き

たて書き

## 機能の説明(文字モード)

### ●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。書体イメージは、指定中のガイドで確認できます。

漢字書体  
明朝体  
ゴシック  
波ゴ体

亜 宇

書体イメージ

### MEMO

太型書体と極太書体は、文字が太い書体です。一部の文字は大きさにかわらず、つぶれますのでご了承ください。

### ●飾り字

文字の装飾を選択します。

白文字

飾り字

ふつう(ご購入時の初期設定値)

飾り字

淡文字

飾り字

白抜影

飾り字

影文字

飾り字

### MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

### ●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

正体(ご購入時の初期設定値)

斜体・強調

斜体

斜体・強調

強調

斜体・強調

斜強調

斜体・強調

### MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

## ●伸・縮

各行の基本文字サイズ(行の大小)は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

小さく	基本サイズより、1段階小さい文字になります。
ふつう(ご購入時の初期設定値)	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
細かく	基本サイズより、2段階小さい文字になります。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

## MEMO

- 基本文字に対して、よこ書きのラベルでは「下並び」(文字のベースライン揃え)となります。たて書きのラベルでは「中並び」(センター揃え)となります。
- 英数専用書体(HV体・BR体・PL体・ST体)はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、漢字書体や、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えることができます。  
参照 P.88 「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルを作ることができます。

## ●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。表示されるピクトグラフで囲み・網の種類を確認できます。



## ●文字間

文字の間隔を選びます。

密着

□□密着

狭い

□□狭い

ふつう(ご購入時の初期設定値)

□□ふつう

広い

□□広い

さらに文字間「ピッチ自動」、「ピッチ固定」を選びます。

ピッチ自動(ご購入時の初期設定値)

世界選抜 1-1 キングFC  
UEHA選抜 0-2 キングFC

「ピッチ自動」にすると、英数字にプロポーショナルやカーニングがかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

ピッチ固定

世界選抜 1 - 1 キングFC  
UEHA選抜 0 - 2 キングFC

「ピッチ固定」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字(半角スペースを含む)をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「ピッチ固定」を選んでください。

## MEMO

## 文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。  
参照 P.159 「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

## カーニングとは

文字の左右の余白を重ねることで、隣合う文字の間隔を調整してバランスを整える機能です。「T」 と「o」などの組み合わせは、自動的にカーニングがおこなわれ、「To」→「To」となります。

# ●点字を入力する

点字は点字入力画面で入力します。点字入力画面には<sup>①</sup>点字ボタンで切り換えます。

## ●点字ボタンを使う

テキスト画面で<sup>①</sup>点字を押します。入力方法を選択する画面になります。



### MEMO

- テキスト画面に、文字が入力されていても、入力されていなくても点字を入力することができます。テキスト画面に文字が入力されている場合は、印刷時に文字が印字されたラベルが送り出され、そのラベルに打刻をおこないます。テキスト画面に文字が入力されていない場合は、文字のないラベルが送り出され、点字の打刻のみおこないます。
- 点字テープカートリッジがセットされていない状態で点字を入力すると、入力後「点字テープではありません！」が表示されます。点字ラベルを作る場合は、必ず点字テープカートリッジをセットしてください。

## 入力方法

点字は点字入力画面で入力します。文字を入力してから自動点訳機能で点字に変換する「文字入力」と、点字を直接入力する「直接入力」があります。

入力方法	画面	概要
文字入力		入力行に原文のひらがなを入力し、 <sup>①</sup> 点字ボタンで点訳します。 参照 P.98 「文字入力」で点字を入力する
直接入力		各点の位置に対応した数字ボタンで点の有無を指定し、点字を入力します。 参照 P.103 「直接入力」で点字を入力する

### MEMO

- 「直接入力」は、あらかじめ点字がわかっている場合に使用します。点字に詳しい方が直接点字を入力するという使いかただけでなく、点字標示板や身のまわりの商品などにすでにある点字を利用して、新たな点字を入力することができます。
- インターネットのアドレス (URL) やEメールアドレスなどは、情報処理用点字として入力してください。参照 P.100 「情報処理用点字を入力する」

## 「文字入力」で点字を入力する

点字「文字入力」画面で文字を入力し、点訳します。

参照 P.47 「点字「文字入力」画面の見かた」

① テキスト画面で **点字** を押す

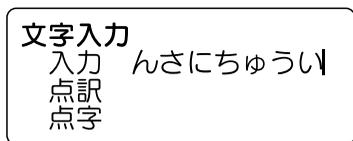
② **↑** **↓** で「文字入力」を選び、**選択** を押す



点字「文字入力」画面が表示されます。

③ 原文を「入力」行に入力し、ひらがなのまま **選択** を押す

例：だんさにちゅうい(段差に注意)



原文がひらがなで確定します。

④ **点訳** を押す

漢字の変換候補が表示されます。

さらに **変換スペース** を押すと、変換対象が次の候補に変わり、変換候補一覧が表示されます。

⑤ 1文節目が正しく変換されている状態で **↓** を押す



1文節目が確定し、2文節目が変換対象になります。

### MEMO

- 点字「文字入力」画面には漢字が表示されませんが、点訳時に文節を認識させるため目的の文章に変換する必要があります。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。

⑥ すべての文節が正しく変換されている状態で **↓** を押す



文章が点訳されます。

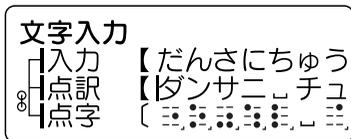
⑦ **選択** を押す



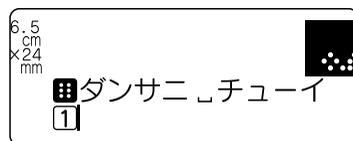
カーソルが「点訳」行に移動します。

点訳が適切でない場合は、ここで修正してください。

## 8 選択を押す



打刻する点字が確定され、テキスト画面に戻ります。1行目の上に $\text{■}$ (点字行頭マーク)と「点訳」行の内容が表示されます。



## MEMO

- **点訳**を押すことで、「入力」行の内容が点訳され、自動的に文節のマス空けや「う音」の長音変換、助詞変換(は→わ、へ→え)などがおこなわれます。
- 点字に対して指定できる機能は、点字書式および、文章書式の定長印刷、余白のみです。
- 点字と印字の配置は、点字書式で変更できます。  
参照 P.107 「点字の書式を指定する」
- 2文節以上の語句を変換する説明については、P.38「長い文章を変換する」を参照してください。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- 「入力」行の文字を変更しても自動的に「点訳」行「点字」行に反映されません。点訳するときは、再度、**点訳**を押してください。
- 「点訳」行の文字を変更した場合は、自動的に「点字」行に反映されます。
- 「入力」行と「点訳」行の内容が異なっても操作できますが、左側のリンク状態の線が「入力」行のみつながりません。
- 点訳の規則については、「点字一覧表」や「点字の規則」を参照してください。  
参照 P.210 「点字一覧表」、P.213 「点字の規則」
- **点訳**ボタンは、点字「文字入力」画面でのみ有効です。通常のテキスト画面など点字「文字入力」画面以外では機能しません。
- 「点字」行が40マスを超えると、オーバーしたマスとそれに対応する「点訳」行の文字が網かけ表示になります。網かけ表示があると点字を確定できません。「点字」行が40マス以下になるようにしてください。
- すでに点字データがある状態で点字「文字入力」画面にすると、手順③で入力済みの状態になり、内容を再編集できます。
- 操作を途中でやめるときは **削除** または **点字** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことによりテキスト画面に戻ることができます。

文字入力  
入力 【あける  
点訳 【ヒラク  
点字 【

文字入力  
入力 トオカマデ。  
点訳  
点字

## !! 注意 !!

点字の内容は、ラベルを貼る前に必ず確認してください。自動点訳は点訳規則に従っておこなっていますが、100%の正確さを保証するものではありません。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

## 情報処理用点字を入力する

インターネットのアドレス(URL)やEメールアドレスなどは、情報処理用点字として特殊な規則に従う必要があります。このため、「入力」行に直接入力せずに、点字ツール機能を利用します。

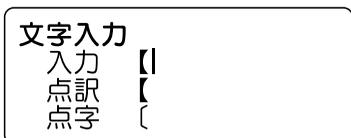
① テキスト画面で **点字** を押す

② **↑** **↓** で「文字入力」を選び、 **選択** を押す



点字「文字入力」画面が表示されます。

③ 「入力」行で **シフト** を押しながら **点訳** (=点字ツール) を押す



「点字ツール」メニューが表示されます。

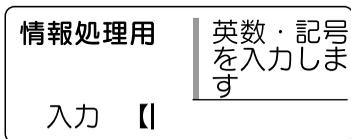
④ **選択** を押す



情報処理用の入力画面が表示されます。

⑤ URLやEメールアドレスなどを入力します

例 : abc@mail.net.jp



⑥ すべての文字を入力後 **選択** を押す



囲み符号の有無を指定する画面が表示されます。

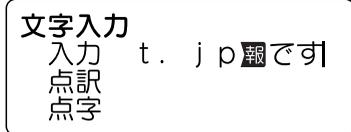
⑦ **↑** **↓** で囲み符号の有無を選び **選択** を押す

通常は「つける」を選択します。囲み符号のないURL、Eメールアドレスのラベルを作る場合は「つけない」を選択します。



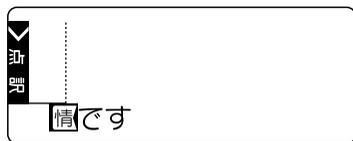
点字「文字入力」画面に戻ります。入力した内容が **情 報** または **情 報** で囲まれて表示されます。

⑧ 必要に応じて前後に他の文字を入力する

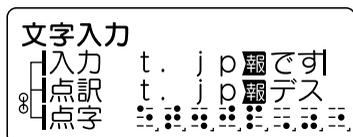


⑨ **点訳** を押す

変換候補が表示されます。情報処理用点字として入力した内容は **情** または **情** の1文字で表示されます。

10 正しい表記に変換し、**選択** を押す

文章が点訳されます。

11 **選択** を押す

カーソルが「点訳」行に移動します。  
点訳が適切でない場合は、ここで修正してください。

12 **選択** を押す

打刻する点字が確定され、テキスト画面に戻ります。1行目の上に田(点字行頭マーク)と「点訳」行の内容が表示されます。



## MEMO

- 情報処理用点字は、通常の英数字や記号と表記方法が異なります。インターネットのアドレス(URL)やEメールアドレスは、必ず情報処理用点字として入力してください。
- 情報処理用点字は、情報処理用点字のマーク【 情 報 (囲み符号あり) または 情 報 (囲み符号なし) 】で表示され、各行3個まで入力できます。
- 情報処理用点字を変更する場合は、情 報 または 情 報 で囲まれた部分にカーソルを合わせ、シフト + 点訳 (=点字ツール) を押してください。
- 情報処理用点字を削除するときは、情 報 または 情 報 で囲まれた部分にカーソルを合わせ、削除 を押してください。
- 点訳の規則については、「点字一覧表」や「点字の規則」を参照してください。  
参照 P.210 「点字一覧表」、P.213 「点字の規則」、P.218 「情報処理用点字について」
- 点訳 ボタンは、点字「文字入力」画面でのみ有効です。  
通常のテキスト画面など点字「文字入力」画面以外では機能しません。
- 操作を途中でやめるときは 削除取消 または 点字 を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことによりテキスト画面に戻ることができます。
- 「直接入力」で入力した情報処理用点字の囲み符号は 情 報 で表示され、情報処理用点字の部分を直接編集することができます。

## !! 注意 !!

点字の内容は、ラベルを貼る前に必ず確認してください。自動点訳は点訳規則に従っておこなっていますが、100%の正確さを保証するものではありません。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

## 記号を入力する

本機に搭載されている記号の一部は、点字ラベルの内容に使用できます。

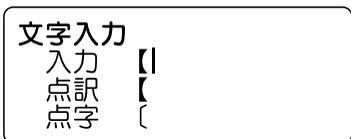
① テキスト画面で **点字** を押す

② **↑** **↓** で「文字入力」を選び、**選択** を押す



点字「文字入力」画面が表示されます。

③ **記号** を押す



「記号(点字)」メニューが表示されます。

④ **←** **↑** **↓** **→** で記号の分類を選び、**選択** を押す



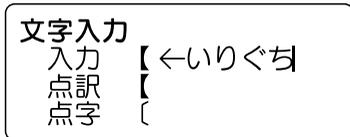
点字ラベルに使用できる記号が表示されます。

⑤ **←** **↑** **↓** **→** で記号を選び、**選択** を押す



点字「文字入力」画面に戻ります。

⑥ 必要に応じて前後に他の文字を入力する



⑦ **点訳** を押す  
変換候補が表示されます。

⑧ 正しい表記に変換し、**選択** を押す  
記号以外の文章を変換します。



文章が点訳されます。

⑨ **選択** を押す



カーソルが「点訳」行に移動します。  
点訳が適切でない場合は、ここで修正してください。

⑩ **選択** を押す



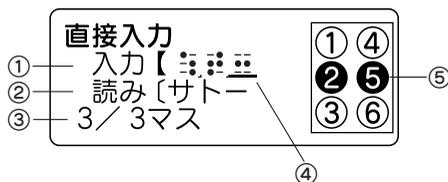
打刻する点字が確定され、テキスト画面に戻ります。1行目の上に **田** (点字行頭マーク) と「点訳」行の内容が表示されます。

## MEMO

- 2文節以上の語句を変換する説明については、P.38「長い文章を変換する」を参照してください。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- 点訳の規則については、「点字一覧表」や「点字の規則」を参照してください。  
参照 **△**P.210「点字一覧表」、P.213「点字の規則」

# 「直接入力」で点字を入力する

## 点字「直接入力」画面の見かた



### ① 「入力」行

点字を入力します。拡大表示の点の場所に対応する数字ボタン (P1~P6) を押すたびに、点の有無が切り換わります。

### ② 「読み」行

入力された点字に対応する読みが表示されます。

### ③ カーソル位置

現在、拡大表示中のマス目と総マス数を表示します。

### ④ カーソル

カーソル上のマス全体が点滅表示になっているときは、数字ボタン (P1~P6) でそのマスの点字を変更できます。カーソルのみの点滅表示になっているときに数字ボタン (P1~P6) を押すと次のマス目を作成し、[削除] を押すとそのマスを削除します。

### ⑤ 拡大表示

カーソル上のマスが拡大して表示されます。数字は各点に対応する数字ボタンを示しています。

## 点字「直接入力」画面で使用するボタン

ボタン	マス確定状態 (カーソルのみが点滅)の機能	マス指定中 (カーソル上のマス全体が点滅)の機能
P1~P6	次のマス目を作成	対応する点の有無の切り換え
変換スペース	スペースの入力	スペースでマスを確定
削除	カーソル上のマスを削除	指定の取り消し
← →	カーソル位置の変更	—
↑	カーソル上のマスの再指定	—
↓	—	マスの確定
選択	打刻する点字の確定	マスの確定
シフト + P1	「入力」行の点字を180度回転	「入力」行の点字をカーソルを中心に180度回転

[シフト] + [P1] となっている表記は、[シフト] を押しながらそのボタンを押す操作です。

# 点

## 点字「直接入力」画面で入力する

- 1 テキスト画面で **点字** を押す
- 2 **↑** **↓** で「直接入力」を選び、**選択** を押す



点字「直接入力」画面が表示されます。



- 3 1マス目の点字の点を打つ場所に対応する数字ボタン(**1**~**6**)を押す

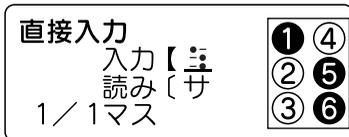
例: ⠠ ⠠ ⠠

数字ボタン(**1**~**6**)を押すたびに、点の有無が切り換わります。例の場合は**1**、**5**、**6**を押します。

点の構成により、「読み」が自動的に表示されます。入力の参考にしてください。



- 4 **選択** を押す  
1マス目が確定し、2マス目が入力できるようになります。



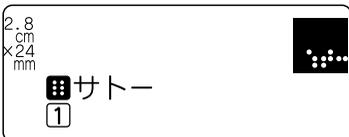
- 5 同様に2マス目以降を指定する  
**←** **→** で入力する位置を選び、1マスごと、数字ボタンで(**1**~**6**)で点を指定して、**選択** ボタンで確定します。



- 6 すべてのマスの入力が終わった状態で **選択** を押す



打刻する点字が確定され、テキスト画面に戻ります。1行目の上に **⠠** (点字行頭マーク) と「読み」行の内容が表示されます。



## MEMO

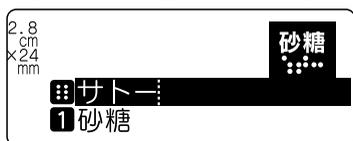
- すでにある点字を参考にすべてのマスを入力した状態で「読み」が適切に表示されない場合は、入力参考にした点字の上下が正しくない可能性があります。シフトを押しながら「T」(＝点字回転)を押すと、「入力」行に入力した点字を180度回転させることができます。
- 点字に対して指定できる機能は、点字書式および、文章書式の定長印刷、余白のみです。
- 点字と印字の配置は、点字書式で変更できます。

参照 P.107 「点字の書式を指定する」

- マスの入力を間違えたときは、マスの指定中(カーソル上のマス全体が点滅)であれば、数字ボタン(「1」～「6」)を押すことで修正できます。  
マス確定状態(カーソルのみが点滅)の場合は「←」「→」でカーソルを目的のマ스에合わせて「↑」を押すと、マス全体が点滅表示になり再指定することができます。
- すでに点字データがある状態で点字「直接入力」画面にすると、手順②で点字入力済みの状態になり、内容を再編集できます。
- 操作を途中でやめるときは「削除取消」または「点字」を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことによりテキスト画面に戻ることができます。

## 点字を削除して印字ラベルにする

- ①     でテキスト画面の  (点字行頭マーク) の行にカーソルを移動する



 (点字行頭マーク) の行がネガ表示になりません。

- ②  を押す  
点字が削除されます。ラベルに点字は打刻されません。

### MEMO

-  ボタンで削除した直後なら、 ボタンで削除前の状態に戻すことができます。
- 1文字のみ削除するときは、点字入力画面で再編集してください。
-  +  (=消去) で「点字消去」を選択しても点字を削除できます。
- 点字入力画面で点字のない状態で確定しても点字を削除できます。

## 点字を再編集する

- ①     でテキスト画面の  (点字行頭マーク) の行にカーソルを移動する



- ②  を押す

- ③   で入力方法を選び、 を押す



入力済みの点字の内容がそれぞれの画面に表示されます。以降は各入力方法に従って再編集してください。

参照  P.98 「「文字入力」で点字を入力する」

参照  P.103 「「直接入力」で点字を入力する」

### MEMO

- すでに点字が入力されている場合にテキスト画面で  を押しても手順③の画面になり、再編集できます。
- 点字の再編集は、入力したときと同じ方法で変更するだけでなく、「文字入力」で入力した点字を「直接入力」で編集したり、「直接入力」で入力した点字を「文字入力」で編集できます。

# ●点字の書式を指定する

**シフト** を押しながらか **点字** を押しと、点字書式機能で印字と点字の位置関係を指定できます。

## 点字書式メニュー一覧

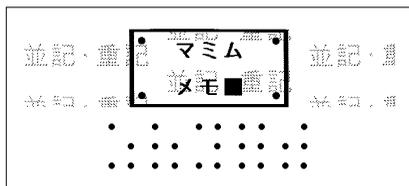
**太字** は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢
<b>点字書式</b> <b>並記・重記</b> ▶ <b>並記・重記</b> 24mm幅テープで文字の印字と点字を重ねるかかどうかを指定します。 <b>参照</b>  P.108 <b>上下位置</b> ▶ <b>上下位置</b> 24mm幅テープでの点字の上下位置を指定します。 <b>参照</b>  P.109 <b>左右位置</b> ▶ <b>左右位置</b> ラベル長さに対する点字の左右位置を指定します。 <b>参照</b>  P.110 <b>終わり?</b> <b>終わり?</b> 指定を終了します。 <b>参照</b>  P.74	<b>並記</b> <b>重記</b>  <b>上点字</b> <b>下点字</b>  <b>点字左寄せ</b> <b>点字中寄せ</b> <b>点字右寄せ</b>

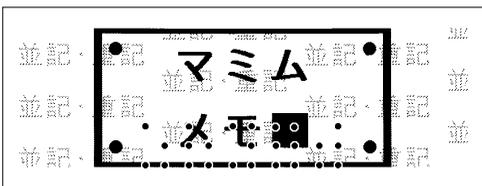
## 印字と点字を重ねる

24mm幅点字テープカートリッジで点字ラベルを作るとき、印字と点字を重ねる「重記」か、重ねずに、上下に並べて配置する「並記」かを指定します。

並記(ご購入時の初期設定値)



重記



① テキスト画面で **シフト** を押しながら **点字** (= 点字書式) を押す

② **↑** **↓** で「並記・重記」を選び、**選択** を押す

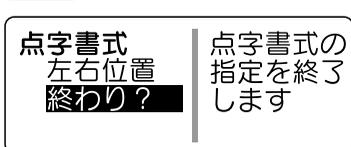


「並記・重記」メニューが表示されます。

③ **↑** **↓** で「重記」を選び、**選択** を押す



④ 「終わり？」が選択されている状態で **選択** を押す



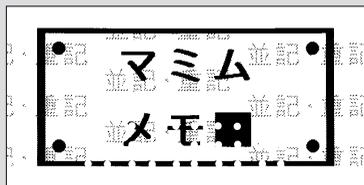
「重記」に指定されます。

### MEMO

- 「並記」に指定するときは、手順③で「並記」を選択します。
- 「重記」に指定すると、印刷時に「印字と点字のエリアが重なります 強行？」と表示されます。このまま、**選択** または **印刷** を押すと、印刷を強行します。
- 操作を途中でやめるときは **削除** または **点字** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことによりテキスト画面に戻ることができます。

### !! 注意 !!

- 「重記」でラベルを作成した場合、印字と点字が重なると小さな文字の印字が読みにくくなる場合があります。また、繰り返しの点字触読により印字がカスレて読みにくくなる場合があります。できるだけ「並記」の指定をお勧めします。

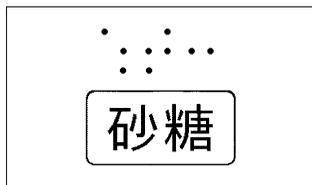


- 12mm幅点字テープカートリッジでは、「並記・重記」の指定にかかわらず「重記」で印刷、打刻されます。印字もおこなう場合はできるだけ点字と重ならないようなレイアウトをお勧めします。  
参照 P.111 「印字と点字のレイアウト」

## 点字をラベルの上部に配置する

24mm幅点字テープカートリッジで点字ラベルを作るとき、点字をラベルの上下どちらに配置するかを指定します。

上点字



下点字(ご購入時の初期設定値)



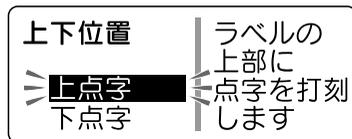
- ① テキスト画面で **シフト** を押しながらか **点字** (= 点字書式) を押す

- ② **↑** **↓** で「上下位置」を選び、**選択** を押す



「上下位置」メニューが表示されます。

- ③ **↑** **↓** で「上点字」を選び、**選択** を押す



- ④ 「終わり？」が選択されている状態で **選択** を押す



「上点字」に指定されます。

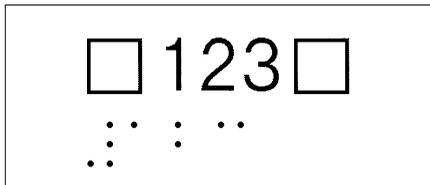
### MEMO

- 「下点字」に指定するときは、手順③で「下点字」を選択します。
- 点字を正しく打刻するために、方向に注意して点字ラベル差し込み口にラベルを差し込んでください。差し込む方向は、ハーフカットしる部分に印刷されます。  
参照 P.51 「点字を打刻する」
- 12mm幅点字ラベルの場合、差し込む方向は変わりますが上下位置の指定にかかわらず上下中央に打刻されます。
- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **点字** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことによりテキスト画面に戻ることができます。

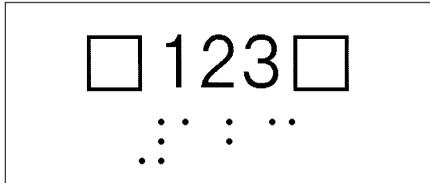
## 点字をラベルの左に揃える

点字をラベルの左右、中央のどこに配置するかを指定します。

点字左寄せ



点字中寄せ(ご購入時の初期設定値)

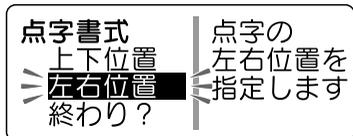


点字右寄せ



① テキスト画面で **シフト** を押しながら **点字** (= 点字書式) を押す

② **↑** **↓** で「左右位置」を選び、**選択** を押す

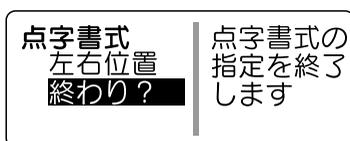


「左右位置」メニューが表示されます。

③ **↑** **↓** で「点字左寄せ」を選び、**選択** を押す



④ 「終わり？」が選択されている状態で **選択** を押す



「点字左寄せ」に指定されます。

## MEMO

- 中央や右寄せに指定するときは、手順③で「点字中寄せ」や「点字右寄せ」を選択します。
- 点字を正しく打刻するために、方向に注意して点字ラベル差込み口にラベルを差し込んでください。差し込む方向は、ハーフカットしる部分に印刷されます。  
参照 P.51 「点字を打刻する」
- 点字ラベルの場合は、点字の欠けを防ぐため、ラベルの長さの5%にあたる調整余白が発生することがあります。このため、揃えの効果が少なく見えることがあります。
- 操作を途中でやめるときは **削除** または **点字** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことによりテキスト画面に戻ることができます。

## 参考

## 印字と点字のレイアウト

点字書式の指定と印字のレイアウトを組み合わせることで色々なラベルを作りましょう！

例：12mm 幅点字ラベルで印字と点字を左右に並べる



概要：「開」の印字の前に空白を追加し、その空白部分に点字を入力する

テキスト画面の状態

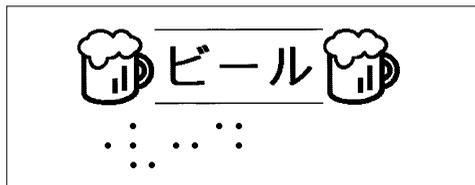
<b>田</b> アケ	←点字行：「開け」を入力し、左寄せを指定
<b>1</b>	←1段落目：空白を入力
<b>1</b> 開	←2段落目：「開」を入力し、外枠を指定

- ① 2段落目を作成し、印字の内容「開」を入力する
- ② 2段落目に「スタイル-外枠・表組-外枠-02」を指定する  
2段落目のみに外枠が付きます。
- ③ 点字「文字入力」画面で点字の内容「開け」を入力する
- ④ 「点字書式-左右位置-点字左寄せ」を指定する  
参照 [P.110](#)「点字をラベルの左に揃える」
- ⑤ 点字と印字が重ならないように、1段落目の空白の数で印字位置を調整する  
プレビューで確認しながら調整します。
- ⑥ 印刷、打刻をおこなう

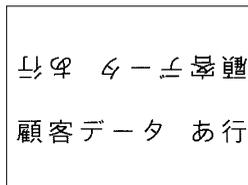
# ●デザインされたラベルを呼び出す(フォーム)

本機には名前ラベルやビデオラベルなどデザインされたフォームが登録されています。点字用のフォームもあり、簡単に点字ラベルを作成できます。また特殊フォームとして通常の文章書式や段落スタイル、文字モードの指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例：「点字・食品・飲物 1」のラベル  
(デザインフォーム)



例：「見出し(横)」  
長さ 3.2cm のラベル  
(特殊フォーム)



## ラベルの作りかた

### 1 使用するフォームを決める

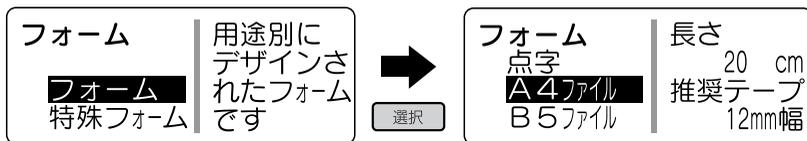
使いたいフォームを選んでください。

### 2 シフトを押しながら、ファイル(=フォーム・特殊フォーム)を押す

「フォーム」メニューが表示されます。

### 3 「フォーム」または「特殊フォーム」を選ぶ

↑ ↓ で目的のフォームが含まれる項目(「フォーム」または「特殊フォーム」)を選び、選択を押します。それぞれのメニューが選択されます。



### 4 使用するフォームを指定する

↑ ↓ で目的のフォーム名を選び、選択を押してください。

フォームの「点字」を選ぶと、さらにメニューが表示されます。同じ操作を繰り返してフォームを選択します。

特殊フォームの見出し(縦)、見出し(横)、ケーブル用の場合は、ここでラベル長さを選択します。



## MEMO

操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

## 5 文字を入力する

フォームの場合：

テキスト画面にデザインされたフォームの文章が呼び出されます。次のように、はじめから入力されていますので、文字や記号を削除して内容を変更します。

変更後点字を入力する場合は手順⑥へ、点字を入力しない場合は手順⑦に進みます。

例：**ビール**  
**1**ビール

特殊フォームの場合：

入力画面になります。入力ガイドの後ろ(右側)にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



複数行の特殊フォームのときは、**下** を押すと次の行にカーソルが移ります。

見出し(縦)と見出し(横)では、「おもて」の行で **選択** を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

変更後は手順⑦に進みます。

## MEMO

- 特殊フォームでの入力を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。
- 文章書式、段落スタイル、文字モード、点字書式の指定内容は、インジケーターで確認できます。
- フォームで指定されている文章書式、段落スタイル、文字モード、点字書式は変更できますが、特殊フォームで指定できる機能には制限があります。

参照 [P.132](#) 「特殊フォーム」

- 特殊フォームでは点字を入力できません。

## 6 点字を入力する

フォームの場合は、**点字** を押して点字を入力・変更します。

参照 [P.49](#) 「点字を入力する」

## 文字入力

入力 **【** **】**  
点訳 **【** **】**  
点字 **【** **】**

## 7 印刷・打刻をおこなう

参照 [P.45](#) 「印刷する」

参照 [P.51](#) 「点字を打刻する」

## MEMO

特殊フォームの印刷をした後は、特殊フォームの続行を確認する画面になります。「する」を選択すると特殊フォームの画面に戻り、「しない」を選択すると通常のテキスト画面に戻ります。このときのテキスト画面には、特殊フォームを使用する前の文章が残っています。

# フォーム・特殊フォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
<b>フォーム</b> <b>フォーム</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     フォーム                      あらかじめ作られた                      フォームに文字や記号を                      入力するだけで、いろい                      ろなデザインのラベルを簡                      単に作るができます。                      参照 P.112、116                 </div>	点字 ▶	<b>(点字のみ)</b> 一般 ▶	なまえ1 年月日 なまえ2 時間 なまえ3 長さ 電話番号 重さ URL 色 価格(税込)
		食品 ▶	飲料1 レトルト 飲料2 缶詰 肉・魚 調味料 カップ麺 賞味期限
		生活用品 ▶	化粧品 洗剤 使用量 漂白剤 薬 香り 用法・用量
		電化製品 ▶	ボタン1 アダプタ ボタン2 品番 リモコン 故障中
		場所表示 ▶	部屋1 手すり2 部屋2 ドア 手すり1
		トイレ ▶	トイレ1 ボタン1 トイレ2 ボタン2 トイレ3
		エレベーター ▶	カゴ開 カゴ階2 カゴ閉 のりば上 カゴ非常 のりば下 カゴ階1 のりば階
		お店 ▶	メニュー1 メニュー4 メニュー2 メディア メニュー3 音楽CD
		自動販売機 ▶	投入口1 商品1 投入口2 商品2 投入口3 商品3 返却口 商品4 呼出ボタン 商品5 価格

ソフト + ファイル

機能編

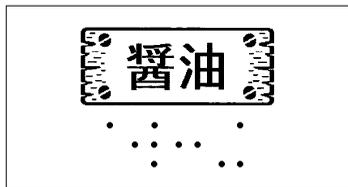
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
フォーム フォーム ▶	A4ファイル B5ファイル フォルダー山 回覧の捺印 税込値札 備品管理票 CDケース FD・MO VHS(縦) VHS(横) 8mmビデオ ミニDV MD 音楽テープ DAT ケーブル 注意！ 禁止！ メッセージ 誕生祝い 住所&氏名 なまえ(縦) なまえ(横) 学校持ち物 お祝い 銘板	
特殊フォーム ▶ <div data-bbox="143 1050 378 1201" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>特殊フォーム 通常のテキスト画面からでは作ることのできない特殊なデザインのラベルを作ることができます。 参照  P.112、132</p> </div>	見出し(縦) ▶ <b>見出し(横)</b> 縦型よこ書 横型たて書	(見出し(縦)、見出し(横)のみ) <b>見出し(縦/横)長さ</b> 1.8cm <b>3.2cm</b> 6.0cm 8.0cm 11.0cm
	ケーブル用 ▶	(ケーブル用のみ) <b>ケーブル用</b> <b>2.6cm</b> 5.0cm







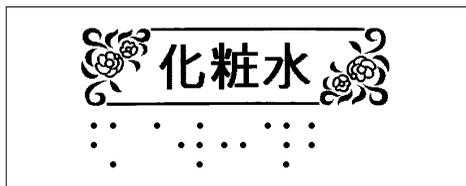
■ 点字・食品・調味料（推奨テープ幅：24mm、入力内容：ショーユ）



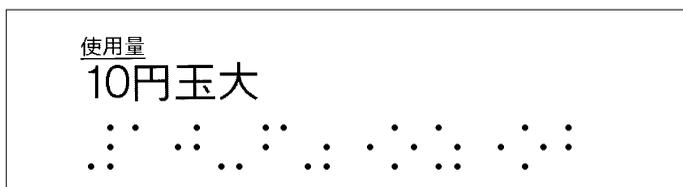
■ 点字・食品・賞味期限（推奨テープ幅：24mm、入力内容：6ガツ $\cup$ トオカマデ）



■ 点字・生活用品・化粧品（推奨テープ幅：24mm、入力内容：ケショースイ）



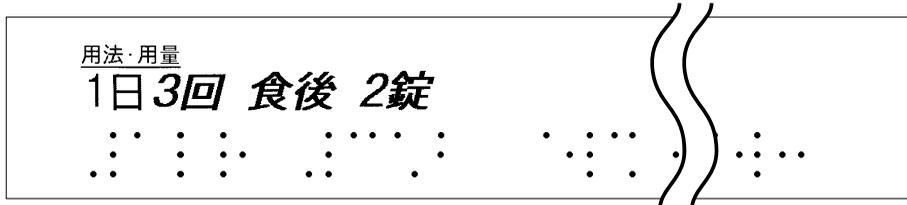
■ 点字・生活用品・使用量（推奨テープ幅：24mm、入力内容：10エンダマダイ）



■ 点字・生活用品・薬（推奨テープ幅：24mm、入力内容：ズツヤク）



■ 点字・生活用品・用法・用量（推奨テープ幅：24mm、入力内容：1ニチ $\cup$ 3カイ $\cup$ ショクゴ $\cup$ 2ジョー）





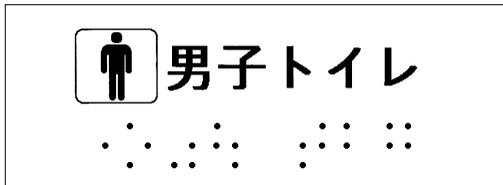


# 点

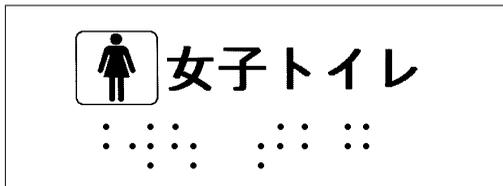
■ 点字・場所表示・ドア (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ) シメキリ)



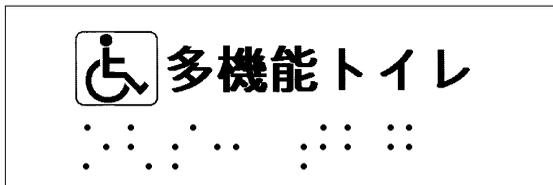
■ 点字・トイレ・トイレ1 (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ) ダンシムトイレ)



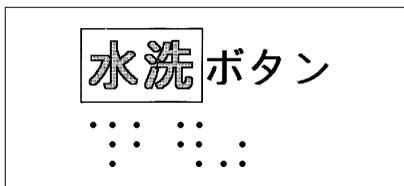
■ 点字・トイレ・トイレ2 (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ) ジョシムトイレ)



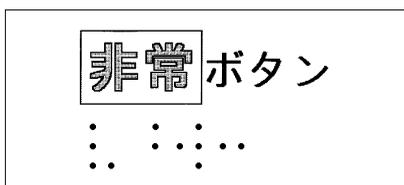
■ 点字・トイレ・トイレ3 (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ) タキノムトイレ)



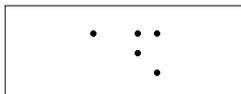
■ 点字・トイレ・ボタン1 (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ) スイセン)



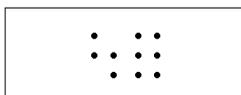
■ 点字・トイレ・ボタン2 (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ) ヒジヨー)



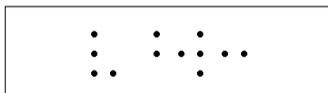
■ 点字・エレベーター・カゴー開 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：**⠠**アケ)



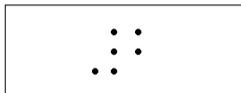
■ 点字・エレベーター・カゴー閉 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：**⠠**シメ)



■ 点字・エレベーター・カゴー非常 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：**⠠**ヒジョー)



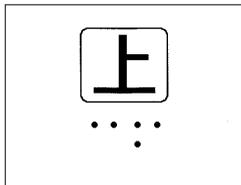
■ 点字・エレベーター・カゴー階1 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：**⠠**2)



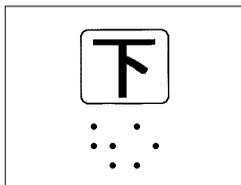
■ 点字・エレベーター・カゴー階2 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：**⠠**チカ1)



■ 点字・エレベーター・のりばー上 (推奨テープ幅：24mm、入力内容：**⠠**ウエ)

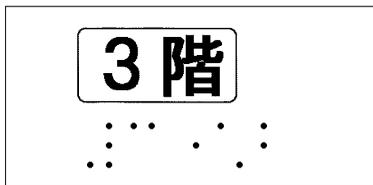


■ 点字・エレベーター・のりばー下 (推奨テープ幅：24mm、入力内容：**⠠**シタ)



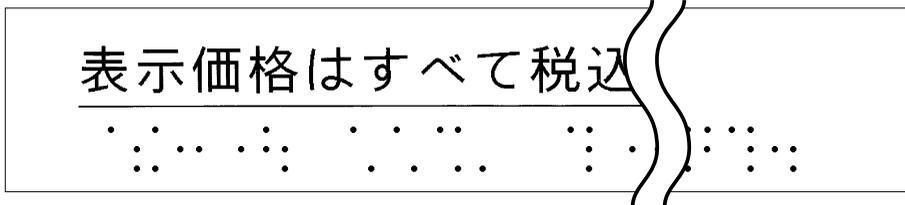
# 点

■ 点字・エレベーター・のりば一階 (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ㊦3ガイ)



■ 点字・お店・メニュー1

(推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ㊦ヒョージㇰカカクワㇰスベテㇰセイコミㇰカカクデス。)

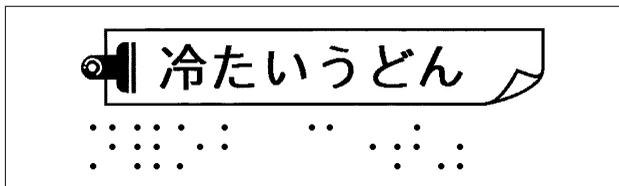


■ 点字・お店・メニュー2

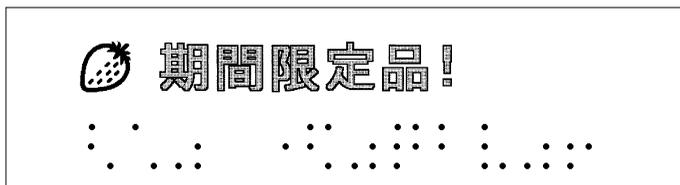
(推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ㊦カレー\_ライス(カラクチ)ㇰㇰ735エン)



■ 点字・お店・メニュー3 (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ㊦ツメタイㇰウドン)



■ 点字・お店・メニュー4 (推奨テープ幅: 24mm、入力内容: ㊦キカンㇰゲンテイヒン!)



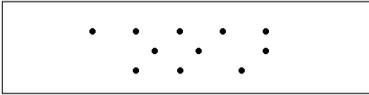
ソフト  
+  
ファイル

機能  
編

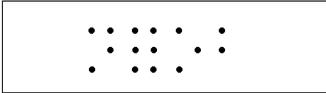


# 点

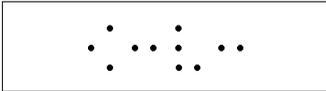
■ 点字・自動販売機・商品1 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：アタタカイ)



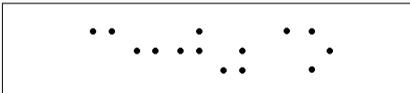
■ 点字・自動販売機・商品2 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：ツメタイ)



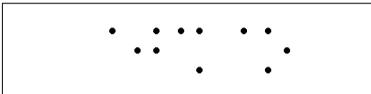
■ 点字・自動販売機・商品3 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：コーヒー)



■ 点字・自動販売機・商品4 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：ウーロンチャ)



■ 点字・自動販売機・商品5 (推奨テープ幅：12mm、入力内容：リョクチャ)



- A4ファイル/B5ファイル .... A4判/B5判ファイルの背見出しラベルとして最適です。  
(推奨テープ幅：12mm)

製品名 1段落目	}	製造船名：開発技術部 稼働年月日：20XX年10月31日 記号：2桁数字 2段落目
-------------	---	--

- フォルダー山.. フォルダーの山の部分に最適です。(推奨テープ幅：12mm)

TITLE 出張ホテルデータ 1段落のみ
----------------------------

- 回覧の捺印..... 回覧文書に最適です。(推奨テープ幅：12~24mm)

回覧							
1段落目	2~8段落目						

## MEMO

段落を増やすと捺印の枠が増えます。

- 税込値札 ..... 値札に最適です。(推奨テープ幅：18, 24mm)

キングジム XXXXX <b>¥1,050</b> (税込価格) 1段落のみ
---

- 備品管理票 ..... 備品管理の表示に最適です。(推奨テープ幅：18, 24mm)

1段落目	}	2段落目								
<table border="1"> <tr> <td>備品名</td> <td>デジタルPBX</td> </tr> <tr> <td>管理番号</td> <td>0512-S</td> </tr> <tr> <td>購入年月</td> <td>20XX年10月</td> </tr> <tr> <td>管理部署</td> <td>営業部</td> </tr> </table>	備品名	デジタルPBX	管理番号	0512-S	購入年月	20XX年10月	管理部署	営業部		
備品名	デジタルPBX									
管理番号	0512-S									
購入年月	20XX年10月									
管理部署	営業部									



■ CDケース ..... CDケースの背ラベルに最適です。(推奨テープ幅：4mm)

■■■ 販売管理データ(20XX.10.1~10.31) | 管理部門:営業3 ■■■

〒記号: 〇

1段落のみ

■ FD・MO ..... FDやMOのラベルに最適です。(推奨テープ幅：18, 24mm)



販売管理

20XX.10.01~20XX.10.31

10 管理部門:営業3  
管理者 :

1段落目

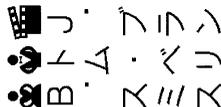
2段落目

ソフト  
+  
ファイル

■ VHS(縦) ..... VHSビデオテープのたて書きラベルに最適です。(推奨テープ幅：18mm)



探偵小説



1段落目

2段落目

3段落目

■ VHS(横) ..... VHSビデオテープのよこ書きラベルに最適です。(推奨テープ幅：18mm)



南極大紀行2~生命の躍動~

DATE: 20XX.11.1 TIME: 125min

1段落目

2段落目

■ 8mmビデオ ..... 8mmビデオのラベルに最適です。(推奨テープ幅：9mm)



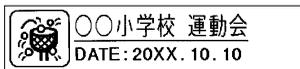
世界一周旅行 Vol.2  
DATE: 20XX.11.1

1段落目

2段落目

機能編

- ミニDV ..... ミニDV(デジタルビデオ)のラベルに最適です。(推奨テープ幅：9mm)



1段落目      2段落目

- MD ..... MDのタイトルラベルに最適です。(推奨テープ幅：4mm)



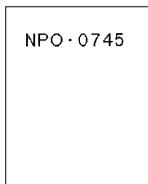
1段落のみ

- 音楽テープ/DAT ..... 音楽テープやDATのタイトルラベルに最適です。MDのケースに貼ってください。(推奨テープ幅：9mm)



1段落のみ

- ケーブル ..... 24mm幅ケーブル表示ラベル用のフォームです。(推奨テープ幅：24mm)



1段落のみ

- 注意！ ..... 注意喚起表示、警告表示に最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



- 禁止！ ..... 禁止表示に最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



- メッセージ ..... インパクトのあるメッセージに最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



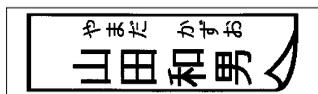
- 誕生日 ..... 誕生日の表示に最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



- 住所&氏名 ..... 住所、氏名の表示に最適です。(推奨テープ幅：12～24mm)



- なまえ(縦) ..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：6～24mm)



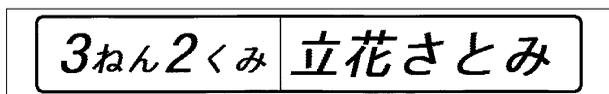
1段落目 2段落目

- なまえ(横) ..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：6～24mm)



1段落目 2段落目

- 学校持ち物 ..... 持ち物表示に最適です。(推奨テープ幅：4～24mm)



〒記号：〒

1段落目 2段落目 3段落目

- お祝い ..... お祝いのラベルに最適です。(推奨テープ幅：9～24mm)



1段落のみ

- 銘板 ..... 名札や表札に最適です。(推奨テープ幅：4～24mm)



1段落のみ

## 特殊フォーム

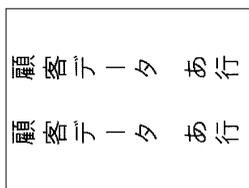
## MEMO

特殊フォームでも **シフト** を押しながら **削除取消** (=消去) を押すと、入力した内容の全文消去ができます。

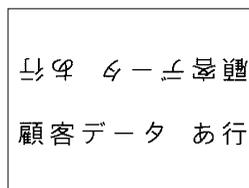
## !! 注意 !!

- 入力内容にある「おもて」「うら」や「1行目」「2行目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 特殊フォームで作成した文章は、ファイルに登録できません。
- 印字ラベル専用の機能です。

■見出し(縦) ... たて書きのインデックスに最適 ■見出し(横) ... よこ書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ(長さ3.2cm)の印刷見本



24mm幅テープ(長さ3.2cm)の印刷見本

シフト + ファイル

## 入力内容

おもて [顧客データ] あ行  
うら [顧客データ] あ行

指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	2行	
	入力可能な文字数	各行27文字	
印刷可能な文字数		長さ1.8cm	各行4文字
		長さ3.2cm	各行8文字
		長さ6.0cm	各行17文字
		長さ8.0cm	各行23文字
		長さ11cm	各行27文字

## !! 注意 !!

- 印刷可能な文字数は、文字モードを指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も印刷可能な文字数は変わります。ただし、入力可能な文字数は27文字までです。
- 文字間で「密着」を選ぶと「中寄せ」の状態で印刷されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「入力した文章が長すぎます 定長解除?」が表示されます。**選択** 以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま **選択** を押すと、定長を解除して印刷します。
- 4mm幅、6mm幅のテープには印刷できません。

## MEMO

「おもて」の行で **選択** を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

機能編

■縦型よこ書 ..... 内線表などの縦型表示に最適です。■横型たて書 ..... メニューなどの横型表示に最適です。

☎広報室	
田中	1 0 4
酒井	2 0 7
長谷部	2 1 7
内館	2 1 9
岡野	3 3 0
都築	4 2 3

24mm幅テープの印刷見本

都築	岡野	内館	長谷部	酒井	田中	☎広報室
4	3	2	2	2	1	0
2	3	1	1	0	0	
3	0	9	7	7	4	

24mm幅テープの印刷見本

### 入力内容

- 1行目 [ ☎広報室
- 2行目 [ 田中 104
- 3行目 [ 酒井 207
- 4行目 [ 長谷部 217
- 5行目 [ 内館 219
- 6行目 [ 岡野 330
- 7行目 [ 都築 423

指定可能な機能	文字モードの「書体」のみ	
入力条件	入力可能な行数	32行
	入力可能な文字数	各行8文字
印刷可能な文字数	テープ幅による(下表参照)	

シフト  
+  
ファイル

### MEMO

- 文字モードメニューには「書体」のみ表示されます。
- 各行の文字数が印刷時の行数になるので、印刷可能な文字数はテープ幅によって制限されます。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24*mm
印刷可能な文字数	1文字	2文字	3文字	4文字	6文字	8文字

24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「\*」のついた24\*mm幅テープは8文字まで印刷できます。品番末尾に「\*」がつかない24mm幅テープは6文字まで印刷できます。

■ケーブル用 ..... ケーブル表示ラベル用の特殊フォームです。24mm幅テープに対応しています。

ソフト評価用端末
----------

24mm幅テープ  
(長さ2.6cm)1行の印刷見本

### 入力内容

- 1行目 [ ソフト評価用端末

指定可能な機能	文字モードのすべての機能		
入力条件	入力可能な行数	1行	
	入力可能な文字数	19文字	
印刷条件	印刷可能な行数	1行	
	印刷可能な文字数	長さ2.6cm	9文字
		長さ5.0cm	19文字

機能編



## !! 注意 !!

印刷可能な文字数は、文字モードを指定しない状態での文字数です。「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また、英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も、印刷可能な文字数が変わります。ただし、入力可能な文字数は19文字までです。

## MEMO

文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「入力した文章が長すぎます」が表示されます。以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま  を押すと、定長を解除して印刷します。

## 参考

### 「ケーブル」には、ケーブル表示ラベル

印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネート」タイプ。

白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。

SV24K: 24mm幅(ケーブル径  $\phi$  2.1mm~ $\phi$  5.4mm用)

### 「見出し(縦/横)」には、インデックスラベル

キングファイルのインデックス表示に最適。

ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。

STY24KM: インデックス山に貼り付けるタイプです(24mm幅 透明つや消し)。

SSY24K : 書類などに直接貼り付けるタイプです(24mm幅 白)。

# ●文章を呼び出す・登録する

本機の<sup>(ファイル)</sup>ボタンでは、作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録できます。また、印刷履歴の呼び出しもできます。

## <sup>(ファイル)</sup>ボタンを使う

文章やあて名などのデータを登録するには、<sup>(ファイル)</sup>を押して表示されるメニューから機能を選択します。

ファイルボタンのメニュー一覧(太字は購入時の初期設定値です。)

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
点字ファイル ▶	<b>登録</b>	点字ありの文章にファイル名を付けて保存します	P.137
	呼出	登録した点字ありの文章を呼び出します	P.138
	複写	登録した点字ありの文章を別のファイルに複写します	P.140
	消去	登録した点字ありの文章を消去します	P.139
	G名修正	点字ファイルのグループ名を修正します	P.141
	印字ファイル ▶	<b>印刷</b>	5つまでの印字ファイルを続けて印刷します
<b>登録</b>		点字なしの文章にファイル名をつけて保存します	P.137
呼出		登録した点字なしの文章を呼び出します	P.138
複写		登録した点字なしの文章を別のファイルに複写します	P.140
消去		登録した点字なしの文章を消去します	P.139
G名修正		印字ファイルのグループ名を修正します	P.141
印刷履歴 ▶	<b>呼出</b>	最近印刷した文章を呼び出します	P.143
	消去	印刷履歴を消去します	P.143
あて名 ▶	<b>印刷</b>	登録したあて名ラベルを印刷します	P.149
	<b>登録</b>	あて名を登録します	P.146
	修正	登録したあて名を修正します	P.147
	複写	登録したあて名を複写します	P.147
	消去	登録したあて名を消去します	P.148
	G名修正	あて名のグループ名を修正します	P.150
名前 ▶	<b>印刷</b>	登録した名前ラベルを印刷します	P.154
	<b>登録</b>	名前とルビを登録します	P.153
	修正	登録した名前を修正します	P.154
	消去	登録した名前を消去します	P.154
	G名修正	名前のグループ名を修正します	P.154
辞書 ▶	消去	登録した辞書を消去します	P.158
	<b>登録</b>	語句に読みをつけて辞書登録します	P.156
	修正	登録した辞書を修正します	P.157
外字 ▶	<b>呼出</b>	登録した外字を文章中に呼び出します	P.162
	<b>新規作成</b>	新規に外字を作成し、登録します	P.161
	参照作成	文字や記号を参照して外字を作成し、登録します	P.164
	修正	登録した外字を修正します	P.162
	複写	登録した外字を複写します	P.163
	消去	登録した外字を消去します	P.163

## ファイルとは

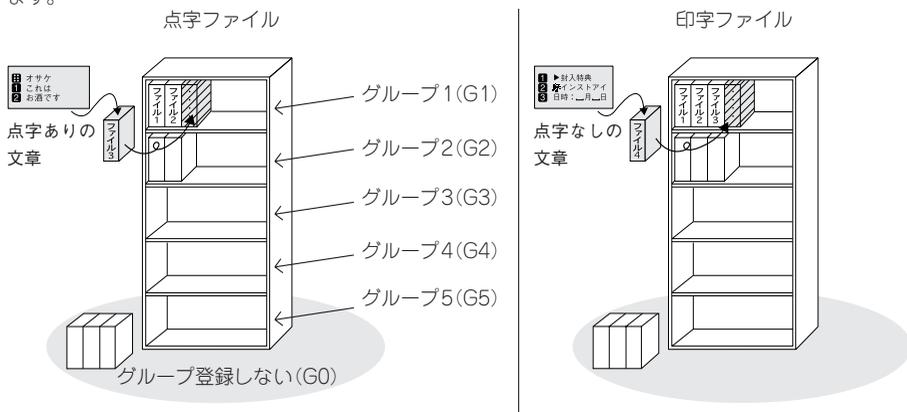
作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文章のほか文章書式や段落スタイル、文字モードの指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。

点字が含まれる文章は点字ファイルとして登録し、点字が含まれない通常の文章は印字ファイルとして登録できます。

ファイルは、5つのグループ(G1～G5)に分類して登録できます。

それぞれグループ名を変更できるので、仕事用、プライベート用などファイルを分類して整理できます。なお、グループに分類したくないファイルは「G0：グループ登録しない」も選べます。

**登録**…文章を保存します。グループごとに分類できます。また、点字ラベルと印字ラベルは分けて保存します。



**呼出**…ファイルを画面に呼び出します。

**消去**…ファイルを削除します。



### MEMO

ファイル機能には、このほか、登録した文章を別のファイルに複写する「複写」、ファイルのグループ名を修正する「G名修正」機能があります。また、印字ファイルには5つまでのファイルを続けて印刷できる「印刷」機能があります。

### !! 注意 !!

大切なファイルやあて名、名前、外字のデータは、ファイル転送ソフト「DATAメモリーシステムSDD6」を利用し、パソコンにバックアップすることをお勧めします。

## ファイルを登録する

入力した文章をファイルに登録します。点字が含まれる文章は点字ファイルに、通常の文章は印字ファイルに登録します。ファイルはそれぞれファイル番号00～99(100件)の中から番号を選んで登録します。

**1** テキスト画面で **ファイル** を押す

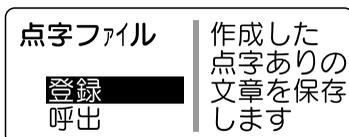
**2** 「点字ファイル」または「印字ファイル」を選び、**選択** を押す



### MEMO

点字ありの文章は印字ファイルとして登録できません。また点字なしの文章は点字ファイルとして登録できません。

**3** 「登録」を選び、**選択** を押す



**4** **↑** **↓** または **00** ~ **99** で登録するファイル番号を選び、**選択** を押す



数字入力した場合



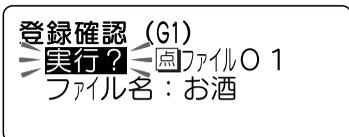
**5** ファイル名を入力し、**選択** を押す  
ファイル名は15文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。



**6** 登録するグループを選び、**選択** を押す  
グループ登録しない場合は「G0」を選びます。



**7** 内容を確認し、**選択** を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

### !! 注意 !!

「実行中」にACアダプタを抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいで登録できません」が表示されます。不要な印字/点字ファイル、あて名、名前データを消去してください。
- 本機には、約7,000文字(最大で各100個の印字/点字ファイル)を登録することができますが、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できる印字/点字ファイルの件数が少なくなります。
- 印字/点字ファイルに登録できるのは、テキスト画面で作成した文章のみです。

## ファイル呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。「上書き呼出」と「連結呼出」の2つの呼び出しかたがあります。「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。

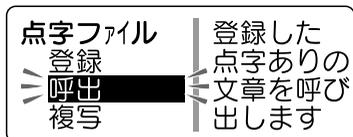
「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

① テキスト画面で **ファイル** を押す

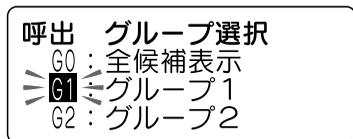
② 「点字ファイル」または「印字ファイル」を選び、**選択** を押す



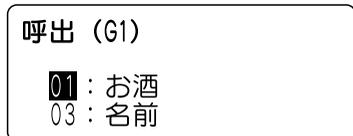
③ 「呼出」を選び、**選択** を押す



④ 呼び出したいファイルが登録されているグループを選び、**選択** を押す  
グループがわからないときは「G0」を選びます。



⑤ **↑** **↓** または **F0** ~ **F9** で呼び出したいファイルを選び、**選択** を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

⑥ 内容を確認し、**選択** を押す

**←** **↑** **↓** **→** で文章を確認することができます。



呼出方法を選択する画面になります。

⑦ 「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、**選択** を押す



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

### !! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は消え、**復活** を押しても復活させることはできません。「上書き呼出」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 「連結呼出」で呼び出す場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても警告せず、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。
- テキスト画面もしくは呼び出すファイルに点字がある場合、「連結呼出」を選ぶことはできません。

### MEMO

操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

## ファイルを消去する

ファイルは、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

**1** テキスト画面で **ファイル** を押す

**2** 「点字ファイル」または「印字ファイル」を選び、**選択** を押す



**3** 「消去」を選び、**選択** を押す



**4** 消去する範囲を選び、**選択** を押す

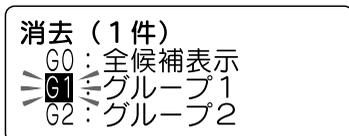
1件 : 1ファイルのみ消去します。  
「G1」～「G5」: 選択したグループ内のすべてのファイルを消去します。  
全件 : すべてのファイルを消去します。



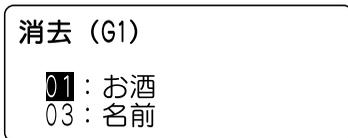
グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順**7**)。1件の場合は次の手順でファイルを選びます。

**5** 消去したいファイルが登録されているグループを選び、**選択** を押す

グループがわからないときは「G0」を選びます。



**6** **↑** **↓** または **G0** ~ **G9** で消去したいファイルを選び、**選択** を押す



消去する内容の確認画面になります。

**7** 内容を確認し、**選択** を押す

1件消去の場合はラベルの内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているファイルのファイル名が表示されます。

1件消去の場合 (**←** **↑** **↓** **→**) で確認)



グループ消去の場合 (**↑** **↓**) で確認)



**8** 内容を確認し、**選択** を押す

1件消去の場合はファイルの情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



ファイルが消去され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

- 消去したファイルは、**復活** を押しても復活させることはできません。
- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことで、テキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

## ファイルを複写する

登録したファイルを別の番号のファイルへ複写します。

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「点字ファイル」または「印字ファイル」を選び、**選択** を押す
- 3 「複写」を選び、**選択** を押す

点字ファイル 呼出 ≡ <b>複写</b> 消去	登録した 文章を別の ファイルに 複写します
-----------------------------------	---------------------------------

- 4 複写元グループ選択画面が表示されます。  
複写元のファイルが登録されているグループを選び、**選択** を押す  
グループがわからないときは「G0」を選びます。

複写元	グループ選択
G0 : 全候補表示	
≡ <b>G1</b>	グループ1
G2 : グループ2	

- 5 **↑** **↓** または **F0** ~ **F9** で複写元のファイルを選び、**選択** を押す

複写元選択 (G1)
<b>01</b> : お酒
03 : 名前

複写する内容の確認画面になります。

- 6 **←** **↑** **↓** **→** で内容を確認し、**選択** を押す

複写元確認
≡ <b>ファイル01</b>
<b>オサケ</b>
<b>1</b> これは

複写先選択画面が表示されます。

- 7 **↑** **↓** または **F0** ~ **F9** で複写先のファイル番号を選び、**選択** を押す

複写先選択	複写先の 番号を選択 します
≡ <b>ファイル02</b>	

- 8 ファイル名を入力し、**選択** を押す  
ファイル名は15文字まで自由につけられます。  
入力しなくても登録できます。

ファイル名変更	入力後
≡ <b>ファイル02</b>	決定… <b>選択</b>
ファイル名	中止… <b>取消</b>
	<b>1</b>

- 9 登録するグループを選び、**選択** を押す  
グループ登録しない場合は「G0」を選びます。

複写先グループ選択
G0 : グループ登録しない
<b>G1</b> : グループ1
G2 : グループ2

複写する内容の確認画面になります。

- 10 内容を確認し、**選択** を押す

複写確認 (G1)
≡ <b>実行?</b>
01 → 02
ファイル名 : アルコール

「実行中」と表示された後、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ファイル複写をおこなっても、複写元のファイルは残ります。

## グループの名前を変える

ファイルを登録するグループ名を変更できます。  
あて名や名前データのグループも同様の操作で変更できます。

① テキスト画面で **ファイル** を押す

② 「点字ファイル」または「印字ファイル」を選び、**選択** を押す

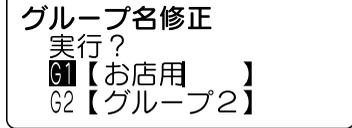


③ 「G名修正」を選び、**選択** を押す



グループ名修正画面が表示されます。

④ **↑** **↓** で名前を変えたいグループを選び、グループ名を変更する



⑤ **選択** を押す  
「実行?」が選択されます。

⑥ 内容を確認し、**選択** を押す



「実行中」と表示された後、グループ名が変更されます。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- あて名や名前のグループ名を変えるときは、手順②で「あて名」または「名前」を選んでください。
- グループ名を消去して登録すると、グループ名は空欄になります。
- 手順④で **シフト** を押しながら **削除取消** (=消去) を押すと、全文消去となり、すべてのグループ名が消去されます。

## 印字ファイルをまとめて印刷する

ファイル番号を指定するだけで印字ファイルをテキスト画面に呼び出さずに印刷できます。一度に5つのファイルまで指定できます。この機能は「印字ファイル」でのみ選択できます。

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「印字ファイル」を選び、**選択** を押す

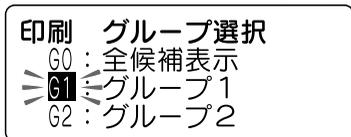


- 3 「印刷」を選び、**選択** を押す

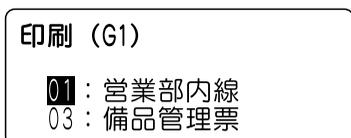


印刷グループ選択画面が表示されます。

- 4 印刷したいファイルが登録されているグループを選び、**選択** を押す  
グループがわからないときは「G0」を選びます。



- 5 **↑** **↓** または **F0** ~ **F9** で印刷したいファイルを選び、**選択** を押す



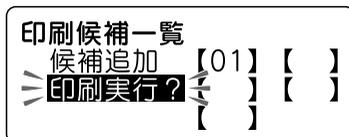
印刷する内容の確認画面になります。

- 6 **←** **↑** **↓** **→** で内容を確認し、**選択** を押す



印刷するファイル候補の一覧画面になります。

- 7 「印刷実行？」を選び、**選択** を押す  
印刷が開始されます。



印刷するファイルを追加するときは、「候補追加」を選び、**選択** を押して手順④からの操作を繰り返します。

印刷するファイルを取り消すときは、「候補削除」を選び、**選択** を押します。印刷するファイルの候補から削除するファイルを選び、**選択** を押します。



内容を確認し、**選択** を押すと「実行中」と表示された後、印刷するファイル候補の一覧画面に戻ります。

### !! 注意 !!

- セットされているテープカートリッジのテープ幅がファイルに含まれる文章の行数を印刷できない場合、そのファイルの印刷はおこなわれません。
- 指定したファイル印刷の全長が16mを超える場合は印刷できません。印刷候補を減らしてください。

### MEMO

- 印刷するとき、各ファイルはテキスト画面に呼び出されません。
- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 「候補削除」をおこなっても、ファイルそのものは削除されません。

# ●最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大5つまで記憶しており、簡単な操作で呼び出すことができます。印刷履歴には点字ありの文章と点字なしの文章の両方が記憶されます。ファイル登録をし忘れた場合などに便利です。

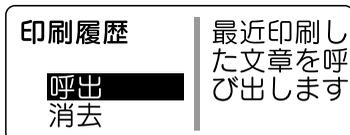
## 印刷履歴を呼び出す

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「印刷履歴」を選び、**選択** を押す



「印刷履歴」メニューが表示されます。

- 3 「呼出」を選び、**選択** を押す



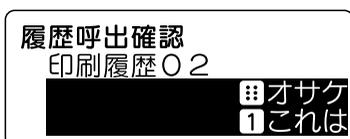
最近印刷した文章(第1段落の1行目のみ)が5つ表示されます。

- 4 呼び出したい文章を選び、**選択** を押す  
点字ありの文章の場合は、**田**(点字行頭マーク)の行が表示されます。



呼び出す内容の確認画面になります。

- 5 **←** **↑** **↓** **→** で内容を確認し、**選択** を押す



「実行中」と表示された後、文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

## 印刷履歴を消去する

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「印刷履歴」を選び、**選択** を押す
- 3 「消去」を選び、**選択** を押す



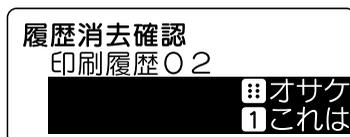
最近印刷した文章が5つ表示されます。

- 4 消去する文章を選び、**選択** を押す  
点字ありの文章の場合は、**田**(点字行頭マーク)の行が表示されます。

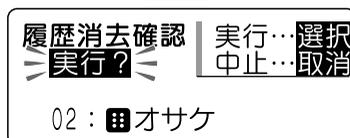


消去する内容の確認画面になります。

- 5 **←** **↑** **↓** **→** で内容を確認し、**選択** を押す



- 6 内容を確認し、**選択** を押す



「実行中」と表示された後、文章が印刷履歴から消去されます。

**!! 注意!!**

- 印刷履歴を呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は消え、**復活**を押しても復活させることはできません。呼び出す前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 最近印刷した5つの文章を保存するため、古いものから自動的に書き換えられていきます。
- 印刷履歴の対象となるのは、通常印刷のみで、特殊印刷や特殊フォーム印刷などは保存されません。
- 文字数の多い文章の場合、記憶している文章の件数が5件にならないことがあります。

**MEMO**

操作を途中でやめるときは**削除取消**または**ファイル**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

# 名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

## !! 注意 !!

印字ラベル専用の機能です。

## あて名ラベルを作る

あて名データとして郵便番号や住所・名前などを登録しておく、あて名ラベルをまとめて印刷することができます。

### ■登録できる項目とあて名ラベル

101-0031  
東京都千代田区東神田二丁目10番18号  
株式会社キングジム 開発部  
山岸 正樹 様



項目	入力内容	入力可能文字
〒番号(郵便番号)	[101-0031	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号	20文字
住所2	[	20文字
会社	[株式会社キングジム	20文字
部署	[開発部	20文字
氏名	[山岸 正樹	20文字
〒■■■■■(カスタマバーコード)	[10100312-10-18	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照 P.151 「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約7,000文字(最大100件のあて名)です。

## !! 注意 !!

- あて名ラベルは品番末尾に「\*」のついた24 mm幅テープに対応しています。
- 郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する都道府県名と区町村名を、「住所1」に自動的に入力することができます。郵便番号変換は、2004年9月末時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所、所在地が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

## あて名を登録する

あて名データを登録します。あて名はあて名番号00～99(100件)の中から番号を選んで登録します。

① テキスト画面で **ファイル** を押す

② 「あて名」を選び、**選択** を押す

ファイル 印刷履歴 ≡ あて名 名前	データを 入力して あて名 ラベルを 印刷します
-----------------------------	--------------------------------------

「あて名」メニューが表示されます。

③ 「登録」を選び、**選択** を押す

あて名 印刷 ≡ 登録 修正	郵便番号や 住所・名前 などを登録 します
-------------------------	--------------------------------

登録画面が表示されます。

④ **↑** **↓** または **00** ~ **99** で登録するあて名番号を選び、**選択** を押す

⑤ 数字ボタンで郵便番号を入力する

登録 (01)	
〒番号	【 1 0 1 1 】
住所 1	【

4桁目を入力すると、自動的にハイフン(ー)が挿入されます。

⑥ **変換スペース** を押す

郵便番号に対応する都道府県名と区町村名の候補が表示されます。

⑦ 地名が正しいときは、**選択** を押す

地名が違うときは、**←** **↑** **↓** **→** で適切な地名を選びます。

登録 (01)	
〒番号	01-0031
住所 1	京都千代田区
住所 2	

⑧ 住所1を入力し、**選択** を押す

⑨ 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、**選択** を押す

⑩ 必要に応じてカスタマバーコードを入力し、**選択** を押す

参照 **P.151**「カスタマバーコードについて」

登録 (01)	
〒	- 1 0 - 1 8

⑪ 登録するグループを選び、**選択** を押す  
グループ登録しない場合は、「G0」を選びます。

グループ登録	
G0 : グループ登録しない	
≡ G1 : グループ1	
G2 : グループ2	

登録する内容の確認画面になります。

⑫ 内容を確認し、**選択** を押す

登録確認 (G1)	
≡ 実行?	あて名 01
	会社名 : 株式会社キング
	氏名 : 山岸 正樹

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

### !! 注意 !!

「実行中」にACアダプタを抜かないでください。  
あて名の内容がこわれる可能性があります。

### MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- 操作を途中でやめるときは **削除** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいで登録できません」が表示されます。不要な印字/点字ファイル・あて名・名前データを消去してください。
- たくさん文章をファイルしていたり、名前を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。



## あて名を消去する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

① テキスト画面で **ファイル** を押す

② 「あて名」を選び、**選択** を押す  
「あて名」メニューが表示されます。

③ 「消去」を選び、**選択** を押す



④ 消去する範囲を選び、**選択** を押す

1件 : 1件のみ消去します。  
「G1」～「G5」: 選択したグループ内のすべてのあて名を消去します。  
全件 : すべてのあて名を消去します。

消去

1件  
G1: グループ1

グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順⑦)。

1件の場合は次の手順であて名を選びます。

⑤ 消去したいあて名が登録されているグループを選び、**選択** を押す

グループがわからないときは「G0」を選びます。

消去 (1件)

G0: 全候補表示  
G1: グループ1  
G2: グループ2

⑥ **↑** **↓** または **←** **→** で消去したいあて名を選び、**選択** を押す

消去 (G1) | 番号を  
あて名 01 | 選択します  
会社名: 株式会社キング  
氏名: 山岸 正樹

消去する内容の確認画面になります。

⑦ 内容を確認し、**選択** を押す

1件消去の場合はあて名の内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

1件消去の場合 (**←** **↑** **↓** **→**) で確認

消去確認  
あて名 01  
〒番号: 101-003  
住所1: 東京都千代田区

グループ消去の場合 (**↑** **↓**) で確認

消去確認 (G1)  
あて名 01  
会社名: 株式会社キング  
氏名: 山岸 正樹

⑧ 内容を確認し、**選択** を押す

1件消去の場合はあて名の情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。

消去確認 | 実行...**選択**  
実行? | 中止...**取消**  
会社名: 株式会社キング  
氏名: 山岸 正樹

あて名が消去され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

- 消去したあて名は、**復活** を押しても復活させることはできません。
- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

## あて名ラベルを印刷する

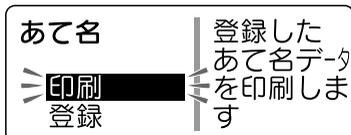
あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。  
また、印刷時に書体を指定できます。

**1** テキスト画面で **ファイル** を押す

**2** 「あて名」を選び、**選択** を押す

「あて名」メニューが表示されます。

**3** 「印刷」を選び、**選択** を押す



**4** 印刷する範囲を選び、**選択** を押す

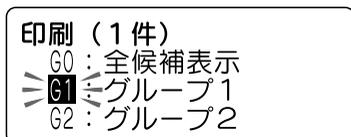
1件 : 1件のみ印刷します。  
「G1」～「G5」: 選択したグループ内のすべてのあて名を印刷します。  
全件 : すべてのあて名を印刷します。



グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります(手順**7**)。  
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

**5** 印刷したいあて名が登録されているグループを選び、**選択** を押す

グループがわからないときは「G0」を選びます。



**6** **↑** **↓** または **0** ~ **9** で印刷したいあて名を選び、**選択** を押す



印刷する内容の確認画面になります。

**7** 内容を確認し、**選択** を押す

1件印刷の場合はあて名の内容が、グループまたは全件印刷の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

1件印刷の場合 (**←** **↑** **↓** **→**) で確認)



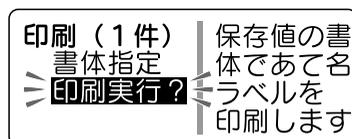
グループ印刷の場合 (**↑** **↓**) で確認)



**8** 内容を確認し、**選択** を押す

あて名印刷の編集画面になります。

**9** 「印刷実行?」を選び、**選択** を押す



あて名が印刷されます。

### MEMO

「書体指定」を選ぶと、印刷する書体を指定できます。  
指定した後に「印刷実行?」を選んで **選択** を押すと、指定した書体であて名が印刷されます。

**!! 注意 !!**

- あて名ラベルは24\*mmテープに対応しています。
- カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをお勧めします。

**MEMO**

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的につきます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後に「御中」がつきます。氏名まで入力すると、氏名の後に「様」がつきます。

氏名を入力しない「あて名」

101-0031  
東京都千代田区東神田二丁目10番18号  
株式会社キングジム  
開発部 御中

「御中」がつきます

氏名まで入力した「あて名」

101-0031  
東京都千代田区東神田二丁目10番18号  
株式会社キングジム  
開発部  
山岸 正樹 様

「様」がつきます

- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

**あて名のグループ名修正**

あて名を登録するグループ名を変更できます。

参照 P.141 「グループの名前を変える」



# カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差し出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードをカスタマバーコードといいます。本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、カスタマバーコードを印刷することができます。

## MEMO

- 「カスタマバーコード」を印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用頂けます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割り引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

## カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード(〒|■■■■■)」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

**例**：千葉県鎌ヶ谷市右京塚 …住所A  
東3丁目20-5 鈴木・A&bコーポB604号 …住所B

- 住所データを次のAとBの部分に分割する  
住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで  
住所B：町域名以降の住所
- 住所Aを郵便番号に置き換える  
〔-〕(ハイフン)は省略
- 住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える
- データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める  
「&」(アンパサンド) 「/」(スラッシュ)  
「・」(中黒) 「.」(ピリオド)
- ③および④で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す
- 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える  
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、  
「ブランク」、「2文字以上連続したアルファベット文字」
- ⑥の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる
- 先頭がハイフンの場合は取り除く
- アルファベットの前後にある(-)を取り除く
- ②で処理したデータに⑨で処理したデータをつなげる



ファイル「あて名」

機能編



## カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

**例** : 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号  
永井タワー601  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 十一丁目六番地一号永井タワー601  
バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601]

**例** : 北海道帯広市稲田町南七線西28  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 七線西28  
バーコード [xxxxxxxx7-28]

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。  
もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

**例** : 茨城県日立市宮田町6丁目7-14  
ABCビル2F  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 6丁目7-14ABCビル2F  
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2]

**例** : 茨城県日立市宮田町6丁目7-14  
ABCビル2F201号室  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 6丁目7-14ABCビル2F201号室  
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201]

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

**例** : 神戸市中央区港島中町9丁目7-6  
南シティA棟1F1号  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 9丁目7-6南シティA棟1F1号  
バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1]

**例** : 京都府綾部市青野町綾部6-7  
LプラザB106  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 6-7 LプラザB106  
バーコード [xxxxxxxx6-7LB106]

- バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

**例** : 札幌市中央区南四条西29丁目1524-23  
第2ステージハウス501  
郵便番号 : xxx-xxxx  
住所B : 29丁目1524-23第2ステージハウス501  
バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2]

## MEMO

本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

## 名前を登録する

名前データを登録します。

名前は名前番号01～40(40件)の中から番号を選んで、登録します。

① テキスト画面で **ファイル** を押す

② 「名前」を選び、**選択** を押す

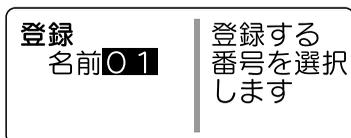


「名前」メニューが表示されます。

③ 「登録」を選び、**選択** を押す



④ **↑** **↓** または **01** ~ **40** で登録する名前番号を選び、**選択** を押す



⑤ 名前(氏と名)を入力し、**選択** を押す  
各7文字まで入力できます。



ルビ修正画面が表示されます。

⑥ ルビを確認し、**選択** を押す

必要に応じてルビを修正します。



⑦ 登録するグループを選び、**選択** を押す  
グループ登録しない場合は「G0」を選びます。

### グループ登録

G0: グループ登録しない  
G1: グループ1

登録する内容の確認画面になります。

⑧ 内容を確認し、**選択** を押す

登録確認 (G1)  
実行? 名前01  
ルビ: ひらかわ りゅう  
名前: 平川 龍太

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

### !! 注意 !!

- 「実行中」にACアダプタを抜かないください。名前の内容がこわれる可能性があります。
- 印字ラベル専用の機能です。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいで登録できません」が表示されます。不要な印字/点字ファイル・あて名・名前データを消去してください。
- たくさん文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。

## 名前を修正する

登録した名前を修正する場合は、P.153手順③で「修正」を選びます。登録したグループから名前の番号を選ぶと修正画面になり、登録と同様の操作で修正できます。

## 名前を消去する

名前を消去する場合は、P.153手順④で「消去」を選びます。消去の範囲(1件、グループ、全件)を選び、消去します。1件消去を選択した場合は、さらに名前番号を指定します。

## 名前のグループ名修正

名前を登録するグループ名を変更できます。  
参照 P.141「グループの名前を変える」

## 名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。  
また、印刷時に書体やラベルの長さ(定長)などを指定できます。

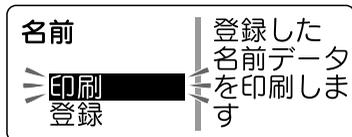
① テキスト画面で **ファイル** を押す

② 「名前」を選び、**選択** を押す



「名前」メニューが表示されます。

③ 「印刷」を選び、**選択** を押す



④ 印刷する範囲を選び、**選択** を押す

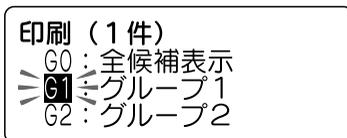
1件 : 1件のみ印刷します。  
「G1」～「G5」 : 選択したグループ内のすべての名前を印刷します。  
全件 : すべての名前を印刷します。



グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります(手順⑦)。  
1件の場合は次の手順で名前を選びます。

⑤ 印刷したい名前が登録されているグループを選び、**選択** を押す

グループがわからないときは「G0」を選びます。



- 6   または  ~  で印刷したい名前を選び、 を押す

## 印刷 (G1)

01 : 平川 龍太  
02 : 長谷部 暢久

印刷する内容の確認画面になります。

- 7 内容を確認し、 を押す  
1件印刷の場合は内容が、グループまたは全件印刷の場合は名前一覧が表示されます。  
1件印刷の場合

## 印刷確認 (1件)

名前 01  
ルビ: ひらかわ りゅう  
名前: 平川 龍太

グループ印刷の場合 ( ) で確認

## 印刷確認 (G1)

01 : 平川 龍太  
02 : 長谷部 暢久

- 8 内容を確認し、 を押す  
名前印刷の編集画面になります。

- 9 そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、 を押す  
ここで「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、斜体・強調、ルビの有無が指定できます。

## 印刷 (1件)

おまかせ  
おこのみ

保存値の内容  
で名前ラ  
ベルを印刷  
します

- 10 「印刷実行？」を選び、 を押す

## おまかせ印刷

印刷実行?

保存値の内容  
で名前ラ  
ベルを印刷  
します

名前ラベルが印刷されます。

## MEMO

操作を途中でやめるときは  または  を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

## !! 注意 !!

4mm幅テープでは「ルビ」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ(「ルビ」あり)

ひらかわりゅうた  
平川 龍太

9mm幅テープ(「ルビ」なし)

平川 龍太

4mm幅テープ

平川 龍太

## 変換できない語句を登録する(辞書の登録)

難しい人名や長い熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」に「読み」をつけて辞書登録しておく、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できるようになります。

辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。辞書番号01～50に最大50個まで登録できます。

例：萌（はじめ）を登録する

1 を押す

2 「辞書」を選び、 を押す



「辞書」メニューが表示されます。

3 「登録」を選び、 を押す



4 、 または ~ で登録する辞書番号を選び、 を押す

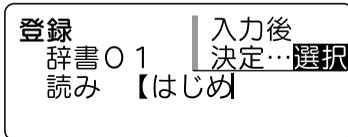


辞書の登録画面になります。

5 「語句」を入力し、 を押す



6 「読み」をひらがなで入力する



7 を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

### MEMO

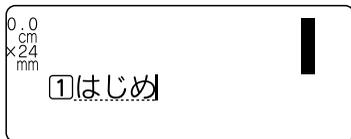
- 登録できる「語句」の文字数は15文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる「読み」はひらがなのみです。
- 操作を途中でやめるときは、入力した文字をすべて削除してから または を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」を登録しようとする、「辞書に登録済みの語句です」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式・段落スタイル・文字モード・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書がいっぱいこれ以上登録できなくなると、「辞書の登録数がいっぱい登録できません」が表示されます。それでも辞書の登録をしたい場合は、辞書消去で不要な辞書データを削除してください。

## 登録した語句を呼び出す

通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

例：「萌」を「はじめ」で呼び出す

### 1 「はじめ」を入力する



### 2 変換スペースを押す

辞書登録した「萌」が変換候補として表示されます。



### 3 「萌」になっている状態で [Enter] を押す



「萌」が確定されます。



## 登録した辞書を修正する

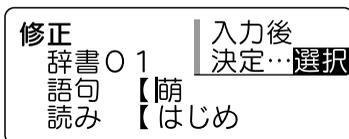
例：「語句」の「萌」を「大山萌」に変える

### 1 P.156「変換できない語句を登録する」の手順③で「修正」を選び、「選択」を押す

### 2 修正したい辞書を選び、「選択」を押す

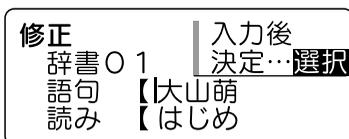


登録した辞書が表示され、修正できる状態になります。



### 3 新しい「語句」を入力する

「大山萌」と入力しなおします。



### 4 「選択」を押す

「語句」を修正した辞書が登録されます。

### !! 注意 !!

点字「文字入力」画面で利用する辞書の場合は、「読み」は「語句」の正しい読みとなるように入力してください。

## 登録した辞書を消去する

登録されている辞書を消去します。

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す

- 2 「辞書」を選び、**選択** を押す  
「辞書」メニューが表示されます。

- 3 「消去」を選び、**選択** を押す



- 4 **↑** **↓** または **0** ~ **9** で消去したい辞書を選び、**選択** を押す

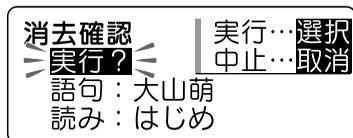


消去する内容の確認画面になります。

- 5 **←** **→** で内容を確認し、**選択** を押す



- 6 **選択** を押す



辞書が消去され、テキスト画面に戻ります。

## !! 注意 !!

消去した辞書は **復活** を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

## MEMO

操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

# ●外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字・記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、文字モードで文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録(文字間「ふつう」)



文字間「密着」



## !! 注意 !!

印字ラベル専用の機能です。

## MEMO

- 外字は10文字まで登録できます。
- 本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。
- データ転送ソフト「DATAメモリーシステムSDD6」を利用すると、パソコンで外字を作成・編集できます。

## 外字を作る概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・30・36・48ドットの5段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

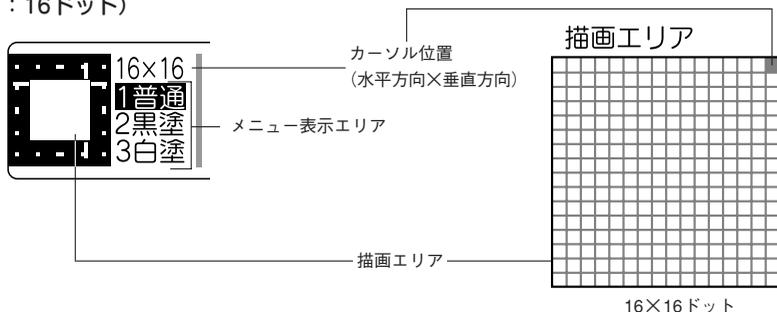
ただし、5段階すべての外字を始める手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・30・36・48ドットの字形データを作り、後から細部を補正して作るしくみになっています。

## 画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点(ドット)を塗りつぶしていきます。

### 画面表示

(例：16ドット)



### 描画方法(メニュー表示エリアで選択)

描画方法(メニュー)には、1ドットずつ塗りつぶす「普通」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗(=消去)」があり、それぞれ数字ボタン  $\text{F}_1$  /  $\text{F}_2$  /  $\text{F}_3$  で選択します。

メニュー	描画方法	手順
普通	1つ1つの点(ドット)ずつ塗りつぶす方法	<ol style="list-style-type: none"> <li><math>\text{F}_1</math>を押す。 メニュー「普通」がネガ表示されます。</li> <li>塗りつぶすドットにカーソルを <math>\leftarrow</math> <math>\uparrow</math> <math>\downarrow</math> <math>\rightarrow</math> で移動する。</li> <li>シフトを押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。</li> </ol>
黒塗	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす方法 指定範囲	<ol style="list-style-type: none"> <li><math>\text{F}_2</math>を押す。 メニュー「黒塗」がネガ表示されます。</li> <li>塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを <math>\leftarrow</math> <math>\uparrow</math> <math>\downarrow</math> <math>\rightarrow</math> で移動する。</li> <li>シフトを押す。 対角線上のもう一方頂点にカーソルを <math>\leftarrow</math> <math>\uparrow</math> <math>\downarrow</math> <math>\rightarrow</math> で移動する。</li> <li>シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。</li> </ol>
白塗	広い範囲のブロックを白くする(消す)方法 指定範囲	<ol style="list-style-type: none"> <li><math>\text{F}_3</math>を押す。 メニュー「白塗」がネガ表示されます。</li> <li>塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを <math>\leftarrow</math> <math>\uparrow</math> <math>\downarrow</math> <math>\rightarrow</math> で移動する。</li> <li>シフトを押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを <math>\leftarrow</math> <math>\uparrow</math> <math>\downarrow</math> <math>\rightarrow</math> で移動する。</li> <li>シフトを押す。手順②と④で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。</li> </ol>

## 外字を作成し、登録する

例：外字番号「2」に「」を登録する

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択** を押す  
「外字」メニューが表示されます。
- 3 「新規作成」を選び、**選択** を押す



描画エリアと外字番号が表示されます。

- 4 登録する番号に「2」を選び、**選択** を押す



- 5 16ドットのデータを描画する  
**ソフト**と **←** **↑** **↓** **→** で描画します。  
参照 P.160 「画面表示と描画方法」



- 6 16ドットの描画が終わったら、**選択** を押す  
16ドットのデータをもとに、24・30・36・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。

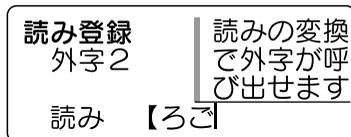


- 7 24・30・36・48ドットのデータを補正する  
手順⑤と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。**選択** を押すと、次のサイズの描画に移ることができ、48ドットの描画が終わると、「読み」の入力画面が表示されます。

### !! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、文字サイズによってはきれいに印刷されません。

- 8 外字の「読み」を入力し、**選択** を押す  
「読み」はひらがなで16文字まで入力できます。



### MEMO

- 登録できる「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- テキスト入力でこの「読み」を入力し、**変換スペース**を押すと、外字を呼び出すことができます。

- 9 内容を確認し、**選択** を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、**ファイル** ボタンで外字を新規作成できません。

## 外字を修正する

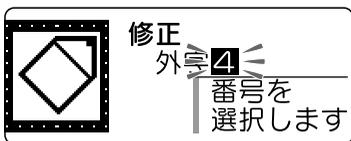
例：外字番号「4」の48ドットデータを修正する

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択** を押す  
「外字」メニューが表示されます。
- 3 「修正」を選び、**選択** を押す



登録されている外字番号が表示されます。

- 4 修正する外字番号「4」を選び、**選択** を押す



16ドットの描画画面が表示されます。

- 5 48ドットの描画画面が表示されるまで **選択** を押す



- 6 48ドットのデータを修正する  
参照 P.160「画面表示と描画方法」

- 7 **選択** を押す  
「読み」の入力画面が表示されます。  
必要に応じて、「読み」の修正をします。

- 8 **選択** を押す  
修正の確認画面になります。

- 9 内容を確認して、**選択** を押す  
外字が修正され、テキスト画面に戻ります。

## 外字を呼び出す

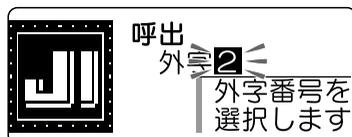
登録した外字を入力します。外字を滑らかに印刷したいときは、「平滑化=する」を選んでください。

### MEMO

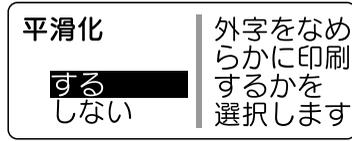
簡単に呼び出すには

登録した外字の読みを入力し、**変換スペース** を押すと、登録した外字が表示されます(この場合には外字の「平滑化」はおこなわれません)。

- 1 外字を入力する部分にカーソルを合わせる
- 2 **ファイル** を押す
- 3 「外字」を選び、**選択** を押す
- 4 「呼出」を選び、**選択** を押す
- 5 呼び出す外字を選び、**選択** を押す



- 6 「平滑化」メニューから「する」または「しない」を選び、**選択** を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 記号メニューで「外字呼出」を選択しても手順⑤に進めます。

## 外字を複写する

外字を別の外字番号に複写します。

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択** を押す
- 3 「複写」を選び、**選択** を押す



- 4 複写元の外字番号を選び、**選択** を押す

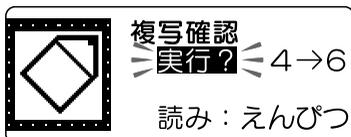


- 5 複写先の外字番号を選び、**選択** を押す



- 6 複写先の「読み」を入力し、**選択** を押す  
複写する内容の確認画面になります。

- 7 内容を確認し、**選択** を押す



外字が複写され、テキスト画面に戻ります。

### MEMO

- 複写の操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、**ファイル** ボタンで外字を複写できません。

## 外字を消去する

登録されている外字を消去します。

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択** を押す
- 3 「消去」を選び、**選択** を押す



- 4 消去する外字番号を選び、**選択** を押す



消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択** を押す



外字が消去され、テキスト画面に戻ります。

### !! 注意 !!

消去した外字は **復活** を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **ファイル** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、**ファイル** ボタンで外字を消去できません。
- 消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

## 外字を参照作成し、登録する

「参照作成」では、本機に内蔵されている文字や記号のデータをもとに修正して外字を作成します。操作は「外字を作成し、登録する」と同じですが、「参照作成」は途中で参照する文字を入力します。

例：「記号」の「生き物」の「」にヒゲをつけて「」にする

- 1 テキスト画面で **ファイル** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択** を押す
- 3 「参照作成」を選び、**選択** を押す



- 4 登録する外字番号を選び、**選択** を押す



- 5 参照する文字(記号)を入力し、カーソルをその後ろ(右側)に合わせる



最大5文字まで入力できますが、カーソルの左側の1文字を参照します(入力ガイドにカーソルがあるときは先頭文字を参照します)。

### MEMO

- 最大5文字まで入力できるので、単語や熟語、辞書登録した語句なども利用できます。
- 連番、バーコード、合成記号、編集記号、半角スペース、外字は参照できません。
- 参照する文字には、文字モードの書体を指定できます。

- 6 データを修正する

参照文字が16ドットで表示されますので、これをもとに修正します。

**選択** を押すと次のサイズの修正画面に移ります。

参照  P.160「画面表示と描画方法」



- 7 48ドットの描画が終わったら **選択** を押す

- 8 外字の「読み」を入力し、**選択** を押す



- 9 内容を確認し、**選択** を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

### MEMO

- 文章中で、この「読み」を入力し、**変換スペース** を押すと外字を呼び出すことができます。
- 操作を途中でやめるときは、**削除取消** または **ファイル** を押してください。ただし、それまでに描画していた別のサイズの外字データもなくなります。
- 仮確定文字があるときは、**ファイル** ボタンで外字を参照作成できません。

# ●連番やバーコードを印刷する

**シフト**を押しながら**記号**(=連番・バーコード)を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

## 連番・バーコードメニュー一覧

**太字** は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	
<b>連番・バーコード</b>						
<b>連続番号</b> ▶	初期値入力 ▶	繰り返し回数				
連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照  P.166		1回				
		2回				
		3回				
		4回				
		5回				
		10回				
<b>バーコード</b>						
バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照  P.168	JAN-8 ▶	全体の幅 ▶			数値入力	
	NW-7 ▶	小さめ				
	<b>JAN-13</b> ▶	<b>ふつう</b>	(NW-7、ITF、CODE39のみ)	(NW-7、ITF、CODE39のみ)		
	CODE39 ▶	大きめ	細・太の比率 ▶	C/D ▶		
	UPC-A ▶		2.0	あり		
	ITF ▶		<b>2.5</b>	<b>なし</b>		
	UPC-E ▶		3.0			

## 連番を印刷する

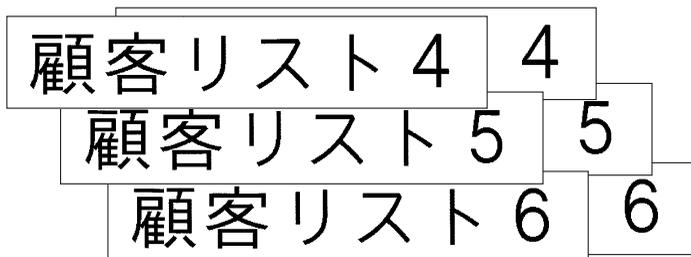
数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数(1、2、3、4、5、10回)を指定します。繰り返し回数では同じ数字を何回繰り返すかを指定します。

### !! 注意 !!

点字「文字入力」画面では連続番号は指定できません。

例：4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



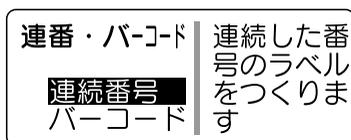
### 1 連番を入れる位置にカーソルを合わせる



### 2 シフト を押しながら 記号 (=連番・バーコード) を押す

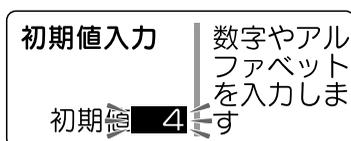
「連番・バーコード」メニューが表示されます。

### 3 「連続番号」を選び、選択 を押す



「初期値入力」画面が表示されます。

### 4 初期値に「4」を入力し、選択 を押す



### MEMO

初期値には、数字の場合2桁まで、英字の場合1文字を入力できます。

### 5 繰り返し回数「2回」を選び、選択 を押す



テキスト画面に戻り、カーソル位置に連番(連番マーク **N** + 数値エリア「4」)が表示されます。



6 **印刷**を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

7 **印刷**を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているため、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

8 **印刷**を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 5

以降、同様に繰り返します。

## MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、数字の0～9または00～99とアルファベットのA～Z、a～zです。小数点やマイナスは指定できません。
- 数字の場合、1、2、3、4…と99(または、01、02、03、04…と99)まで数字が1つずつ繰り返ります。英字の場合、A(a)、B(b)、C(c)、D(d)とアルファベット順に1つずつ繰り返ります。数字(初期値が1桁の場合)

1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

数字(初期値が2桁の場合)

01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…

英字

A、B、C、… X、Y、Z、A、…

a、b、c、… x、y、z、a、…

- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて6個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、**シフト**+**記号**(=連番・バーコード)を押してください。「連番」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、**削除取消**を押してください。
- 連番(連番マーク **N**+数値エリア)にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの機能を指定できます。
- 連番は合成記号と組み合わせることはできません。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。参照 **P.171** 「同じラベルを連続して印刷する(ぞく?)」

## バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

### 印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅		
	小さめ	ふつう	大きめ
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	○	○
NW-7・ITF・CODE39	○	○	○

**太字** は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

－：指定不要

全体の幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

C/D：チェックデジットの有無

### !! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則に従って入力してください。

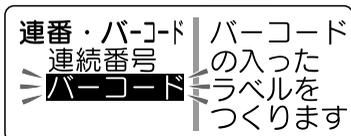
**例**：「ITF」のバーコード（全体の幅大きめ、細・太の比率 3.0、C/D あり）を印刷する



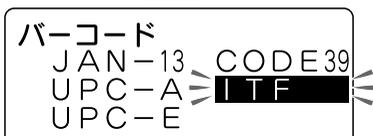
**1** **シフト** を押しながら **記号** (= 連番・バーコード) を押す

「連番・バーコード」メニューが表示されます。

**2** 「バーコード」を選び、**選択** を押す



**3** 「ITF」を選び、**選択** を押す



「全体の幅」メニューが表示されます。

**4** 「大きめ」を選び、**選択** を押す



「細・太の比率」メニューが表示されます。

**5** 「3.0」を選び、**選択** を押す



「C/D」メニューが表示されます。

6 「あり」を選び、**選択**を押す

バーコードの数値入力画面になります。

## 7 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。1行上の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。なお、入力できる桁数は規格によって異なります。

8 **選択**を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク(■)が表示されます。

9 **印刷**を押す

バーコードのラベルが印刷されます。

## MEMO

- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて6個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク(■)の直後(右側)にカーソルを合わせ、**シフト**+**記号**(=連番・バーコード)を押してください。「バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面に入り、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク(■)の直後(右側)にカーソルを合わせ、**削除取消**を押してください。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

## バーコードマークに反映される機能

段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。
- お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをお奨めます。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1~29桁、CODE39は1~27桁です。
- ITFは偶数桁数だけの規格です。C/D(チェックデジット)を「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード(0)が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ(線の部分)と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。
- バーコードは合成記号と組み合わせることはできません。

# ●特殊な印刷(ぞく<sup>2</sup>、でか<sup>2</sup>)

 ボタンを押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。印字ラベル専用の機能です。

## 特殊印刷メニュー一覧

**太字** は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>特殊印刷</b> 連続印刷 ▶ 連続印刷 同じラベルを連続して印刷します。 参照  P.171	止めるまで <input checked="" type="radio"/> しない 2枚ぞく <sup>2</sup> 3枚ぞく <sup>2</sup> : 10枚ぞく <sup>2</sup> 12枚ぞく <sup>2</sup> : 20枚ぞく <sup>2</sup> 25枚ぞく <sup>2</sup> : 40枚ぞく <sup>2</sup> 50枚ぞく <sup>2</sup> : 100枚ぞく <sup>2</sup>	
拡大印刷 ▶ 拡大印刷 ラベルを拡大して印刷します。 参照  P.172	<input checked="" type="radio"/> しない 2倍でか <sup>2</sup> ▶ 3倍でか <sup>3</sup> ▶ 4倍でか <sup>4</sup> ▶	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input checked="" type="radio"/> 2/2  <input type="radio"/> 1/2  <input type="radio"/> 1/2         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input checked="" type="radio"/> 3/3  <input type="radio"/> 1/3  <input type="radio"/> 1/3  <input type="radio"/> 1/3         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input checked="" type="radio"/> 4/4  <input type="radio"/> 1/4  <input type="radio"/> 1/4  <input type="radio"/> 1/4  <input type="radio"/> 1/4         </div>
鏡文字印刷 ▶ 鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照  P.174 印刷実行？	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない	

## 同じラベルを連続して印刷する(ぞく<sup>2</sup>)

同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

### !! 注意 !!

印字ラベル専用の機能です。

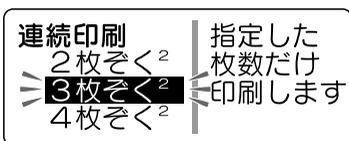
**例** : 同じラベルを 3 枚連続して印刷する

**1** 文章を入力し、**ぞく<sup>2</sup>**を押す  
「特殊印刷」メニューが表示されます。

**2** 「連続印刷」を選び、**選択**を押す

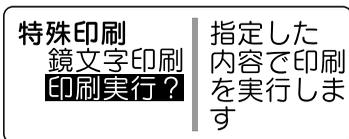


**3** 「3枚ぞく<sup>2</sup>」を選び、**選択**を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

**4** 「印刷実行？」を選び、**選択**を押す



印刷が開始されます。1枚目の印刷が終了するとテープがカット、またはハーフカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

### MEMO

- 操作を途中でやめるときは**削除取消**を押してください。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。  
参照 P.166「連番を印刷する」
- 指定した枚数の印刷が完了する前にテープがなくなった場合、再度残りの必要枚数を設定し直してください。
- ハーフカット有効で、連番の繰り返し回数を2回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。

### !! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。**印刷**ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再びカットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、**削除取消**を押して印刷を中止してください。

## テープ幅より大きなラベルを作る(でか<sup>2</sup>)

印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

「2倍でか<sup>2</sup>」なら上下2枚で1組、「3倍でか<sup>3</sup>」なら上中下3枚で1組のラベルになります。

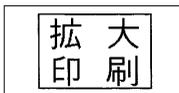
大きさを指定した後に、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

### !! 注意 !!

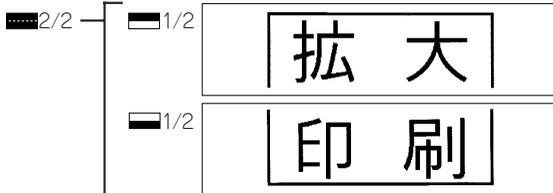
印字ラベル専用の機能です。

● 拡大印刷の種類(サンプルは12mm幅のラベルです)

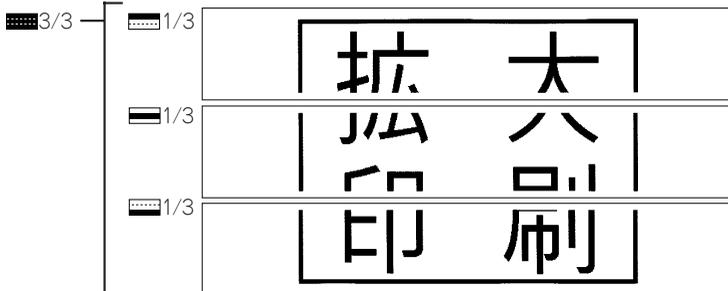
 ボタンによる  
通常の印刷



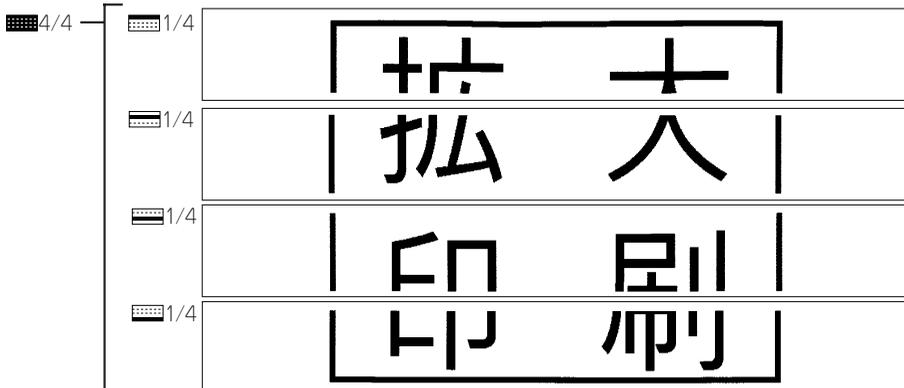
2倍でか<sup>2</sup> 2倍拡大



3倍でか<sup>3</sup> 3倍拡大



4倍でか<sup>4</sup> 4倍拡大



例：3倍に拡大して印刷をする

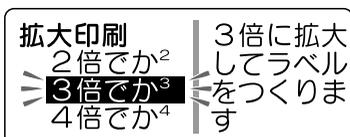
- ① 文章を入力したあと(ぞくでか)を押す  
「特殊印刷」メニューが表示されます。

- ② 「拡大印刷」を選び、(選択)を押す



「拡大印刷」メニューが表示されます。

- ③ 「3倍でか<sup>3</sup>」を選び、(選択)を押す



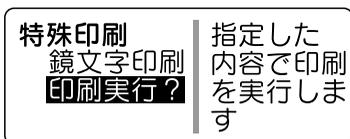
「3倍でか<sup>3</sup>」メニューが表示されます。

- ④ 「3/3」を選び、(選択)を押す

「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。



- ⑤ 「印刷実行？」を選び、(選択)を押す



印刷が開始されます。3枚1組のラベルが1枚ずつ印刷されます。

- ⑥ テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

## MEMO

- 操作を途中でやめるときは(削除取消)を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとするとき、全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を2組に分けるなど指定をし直してください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍、3倍、4倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍、3倍、4倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍、3倍、4倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍でか <sup>2</sup>	約2倍	約2倍	約4倍
3倍でか <sup>3</sup>	約3倍	約3倍	約9倍
4倍でか <sup>4</sup>	約4倍	約4倍	約16倍

例えば「3倍でか<sup>3</sup>」で印刷をおこなうと、(印刷)ボタンによる通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

## !! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。(印刷)ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

## 参考

### カラフルな3倍でか<sup>3</sup>

「3倍でか<sup>3</sup>」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

## 鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

### !! 注意!!

印字ラベル専用の機能です。

### ● 鏡文字印刷

する(鏡像)



しない(正像)



例：鏡文字を印刷をする

- 1 文章を入力し、**ぞくぞく**を押す  
「特殊印刷」メニューが表示されます。
- 2 「鏡文字印刷」を選び、**選択**を押す

特殊印刷	入力した
拡大印刷	文字を鏡像
<b>鏡文字印刷</b>	反転させて
印刷実行?	印刷します

- 3 「する」を選び、**選択**を押す

鏡文字印刷	鏡像反転
<b>する</b>	させて印刷
しない	します

「特殊印刷」メニューに戻ります。

- 4 「印刷実行?」を選び、**選択**を押す

特殊印刷	指定した
鏡文字印刷	内容で印刷
<b>印刷実行?</b>	を実行しま
	す

ラベルが鏡像で印刷されます。

### MEMO

操作を途中でやめるときは**削除取消**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

### !! 注意!!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行?」を選択したときのみ実行されます。**印刷**ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

# ●読みのわからない漢字を入力する(コード入力)

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 P.198 「漢字変換表」

例：「お休み處」と入力する

## 1 仮確定文字がないことを確認する



## 2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

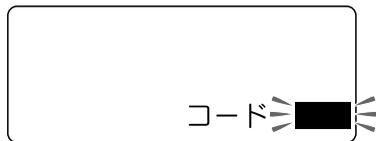
コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。

處…4961(区点コード)

参照 P.198 「漢字変換表」

## 3 **シフト**を押しながら**無変換**(=コード入力)を押す

コード入力画面になります。



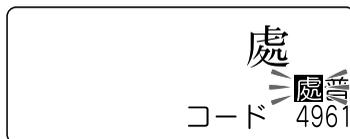
### MEMO

仮確定文字があるときは、**シフト**を押しながら**無変換**を押してもコード入力画面にならず、仮確定文字が変換されます。文字を確定したあとにおこなってください。

## 4 コードを入力する

**4** **9** **6** **0** を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。



コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

### MEMO

コードの入力を間違えたときは**削除**を押して入力しなおしてください。

## 5 「處」を選び、**選択**を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。



# ●各種の初期値(保存値)を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では **書式**、**スタイル**、**モード** ボタンおよび **シフト** + **点字** (=点字書式) ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

## ボタンの機能

ボタン	機能名	指定できる機能
<b>書式</b>	文章書式	定長印刷、地紋印刷、余白
<b>スタイル</b>	段落スタイル	文字サイズ、外枠・表組、割付け、縦・横
<b>モード</b>	文字モード	書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間
<b>シフト</b> + <b>点字</b>	点字書式	並記・重記、上下位置、左右位置

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値(「初期設定値」と呼びます)とは異なる場合、保存値を変更しておく、文章を作るたびに **書式**、**スタイル**、**モード** ボタンおよび **シフト** + **点字** (=点字書式) ボタンで変更する必要がなくなります。

ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておく、通常は「たて書き」のラベルになります。

保存値には、「印字保存値」と「点字保存値」があります。「印字保存値」は、文章書式や段落スタイル、文字モードといった印字ラベルの書式機能の保存値で、「点字保存値」は、点字書式の保存値です。

なお、変更した保存値は、環境設定の保存値復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

## MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.76「メニュー一覧」、P.107「点字の書式を指定する」を参照してください。
- 書式**、**スタイル**、**モード**、**シフト** + **点字** (点字書式) ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻りますが、地紋印刷の文字地紋/創作地紋データのみは本機内部に保存され、ほかの文章でも使用することができます。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

## !! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。  
参照 **字** P.58 「すべての文章を消去する」

## 保存値を変更する

- ① **シフト**を押しながら**削除取消**(=消去)を押し、全文消去をおこなう

### !! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 **㊦**P.58 「すべての文章を消去する」

- ② **シフト**を押しながら**復活**(=環境設定)を押す

- ③ 「印字保存値」または「点字保存値」を選び、**選択**を押す

- ④ 変更したい項目を選び、**選択**を押す

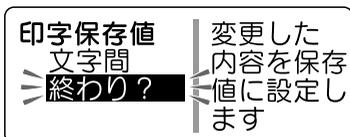


- ⑤ 保存値に設定したい選択肢を選び、**選択**を押す



各項目の設定方法は、通常の文章書式、段落スタイル、文字モード、点字書式と同じです。  
参照 **㊦**P.73 「ラベルの見栄えをよくする」

- ⑥ 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「環境設定」メニューから「終わり?」を選び、**選択**を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

## 保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値(初期設定値)に戻します。

- ① **シフト**を押しながら**削除取消**(=消去)を押し、全文消去をおこなう

### !! 注意 !!

保存値の設定を初期設定値に戻すときには、全文消去をする必要があります。

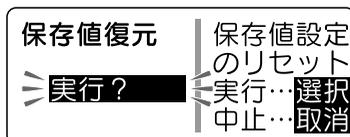
参照 **㊦**P.58 「すべての文章を消去する」

- ② **シフト**を押しながら**復活**(=環境設定)を押す

- ③ 「保存値復元」を選び、**選択**を押す



- ④ 「実行?」を選び、**選択**を押す



印字保存値と点字保存値が初期設定値に戻ります。

### MEMO

操作を途中でやめるときは**削除取消**または**復活**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

## 環境設定メニュー一覧

**シフト**を押しながら**復活**(=環境設定)を押すと、画面の表示濃度や保存値の設定を変更できます(**太字**は購入時の初期設定値)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>環境設定</b> <b>表示濃度</b> ▶ 表示濃度 画面表示の濃さを設定します。 参照  P.27	-5 : <b>0</b> : +5	
<b>印字保存値</b> ▶ 印字保存値 印字書式の保存値を設定します。 参照  P.177	<b>定長印刷</b> ▶ 地紋印刷 ▶ 余白 ▶ 文字サイズ ▶ 外枠・表組 ▶ 割付け ▶ 縦・横 ▶ 書体 ▶ 飾り字 ▶ 斜体・強調 ▶ 伸・縮 ▶ 囲み・網 ▶ 文字間 ▶ 終わり? ▶	詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。
<b>点字保存値</b> ▶ 点字保存値 点字書式の保存値を設定します。 参照  P.177	<b>並記・重記</b> ▶ 上下位置 ▶ 左右位置 ▶ 終わり? ▶	詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の点字書式と同じです。
<b>保存値復元</b> ▶ 保存値復元 保存値を初期設定値にします。	<b>実行?</b>	

# ●本機を初期化する

## !! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。  
なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータや外字のデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

## 初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容		機能	初期化	環境設定の 保存値復元 (P.177)	印刷設定 のリセット (P.66)	全文消去 (P.58)	電源OFF (P.54)
入力	表示画面の文章	●	●	—*1	—	●	—
	コピーした内容	●	●	—	—	—	●
	地紋データ	●	●	—	—	—	—
	入力状態と小文字ロック	●	●	—	—	—	—
	「みえ <sup>2</sup> 」の設定	●	●	—	—	—	—
データ	印字/点字ファイルデータ	●	●	—	—	—	—
	印刷履歴	●	●	—	—	—	—
	あて名データ	●	●	—	—	—	—
	名前データ	●	●	—	—	—	—
	辞書データ	●	●	—	—	—	—
	外字データ	●	●	—	—	—	—
設定	自動カットの設定値	●	●	—	●	—	—
	印刷濃度の設定値	●	●	—	●	—	—
	表示濃度の設定値	●	●	—	—	—	—
	印字/点字保存値	●	●	●	—	—	—

● :ご購入時の状態に戻ります。

— :保持されます。

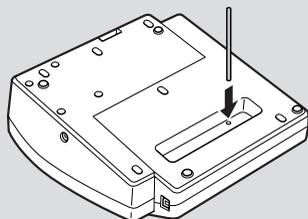
\*1 :環境設定の保存値復元をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

## 初期化する

- 1  ボタンを押して電源を切る

### !! 注意 !!

 ボタンを押しても電源が切れないときには、「強制終了」ボタンを使って電源を切ってください。



「強制終了」ボタンを、先の細いものでしっかり押しすと、電源が切れます。

- 2  と  を押しながら  ボタンを押す

「本体初期化？」が点滅します。



### !! 注意 !!

- 初期化をやめるときは  以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？  
今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

- 3  を押す

「初期化中」と表示され、本機の初期化がおこなわれた後、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

# ● デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

- 1** **シフト** を押しながら **削除取消** (=消去) を押し、  
全文消去をおこなう



## !! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照 [P.58](#) 「すべての文章を消去する」

- 2** 「demo」と入力する

参照 [P.39](#) 「英数字を入力する」



- 3** **シフト** を押しながら **変換スペース** を押す

デモ印刷がおこなわれます。

## !! 注意 !!

- 4mm幅テープカートリッジではデモ印刷できません。
  - ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
- 参照 [P.228](#) 「アフターサービスについて」

## MEMO

- 印刷を途中でやめるときは **削除取消** を押してください。
  - 点字テープカートリッジをセットしてデモ印刷をおこなうと、点字を含むデモサンプルを作成できます。ラベルを印刷後、点字の打刻をしてください。
- 参照 [P.51](#) 「点字を打刻する」

## 見本

6mm幅PROテープ  
カートリッジ

24mm幅点字テープ  
カートリッジ

点字もできる  
「テブラ」PRO  
※これはPROテープです  
点字は打刻できません

点字もできる  
「テブラ」PRO

特長  
・1枚のラベルに「点字と点字・ATOK漢字」の液晶表示  
・12文字×4行の液晶表示

打刻例

印 守 点 字

ゴシック・明朝体・ふれも HV・BR など  
ゴシック・明朝体・ふれも HV・BR など  
この専用テープに点字を打刻し、自動点刻機で打刻してあります  
←点字で「テブラ」と打刻してあります



# 付録

# ●メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン	機能名	参照ページ
シフト + (印刷)	テープ送り	P.186
(ぞくでか)	特殊印刷	P.170
シフト + (ぞくでか)	印刷設定	P.184
(ファイル)	ファイル	P.135
シフト + (ファイル)	フォーム・特殊フォーム	P.114
(記号)	記号	P.185
シフト + (記号)	連番・バーコード	P.165
(書式)、(スタイル)、(モード)	文章書式、段落スタイル、文字モード	P.76
シフト + (点字)	点字書式	P.107
シフト + (点訳)	点字ツール	P.186
シフト + (復活)	環境設定	P.178
シフト + (削除取消)	消去	P.186

## 印刷設定メニュー一覧

(シフト) を押ししながら (ぞくでか) (=印刷設定) を押すと、自動カット・ハーフカットの設定や印刷濃度を変更できます(太字は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>印刷設定</b> 自動カット ▶ 自動カット 印刷時の自動カットとハーフカットを設定します。参照 P.64 印刷濃度 ▶ 印刷濃度 印刷濃度を調整します。参照 P.66 リセット ▶ リセット 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。参照 P.66	自動カット ▶ する しない -3 : 0 : +3 実行?	(する のみ) ハーフカット する しない

# 記号メニュー一覧

記号を押すと、記号を入力できます(太字は購入時の初期設定値です)。

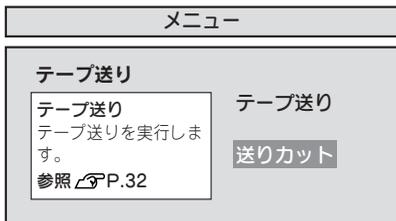
## !! 注意 !!

点字入力画面で指定できる記号はこの中の一部となります。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
<b>記号</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>外字呼出</b>                      登録した外字を入力します。                      参照  P.162                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>2桁数字</b>                      2桁の数字を1文字として入力します。                      参照  P.71                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>編集</b>                      全角スペースや縦罫線を入力します。                      参照  P.41、91                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>合成</b>                      合成文字を作成します。                      参照  P.43                 </div>	外字呼出 ▶ 省略 ▶ 記述 ▶ カッコ ▶ 矢印 ▶ ○△□☆ ▶ 単位 ▶ 算数 ▶ 数字 ▶ 2桁数字 ▶ 公共表示 ▶ 環境 ▶ 荷物 ▶ 警告用 ▶ 仕事 ▶ スポーツ ▶ 遊び ▶ ビデオ ▶ 音楽 ▶ 生き物 ▶ 乗り物 ▶ 食べ物 ▶ 予定 ▶ 暮らし ▶ シーズン ▶ 家族 ▶ 干支 ▶ 星座 ▶ ギリシャ ▶ ロシア ▶ 欧州 ▶ 編集 ▶ 合成 ▶	外字選択 ▶▶ 平滑化 記号選択 ▶▶ する しない 数値入力 記号選択

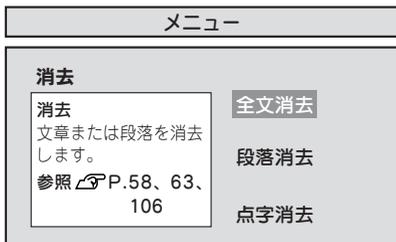
## テープ送りメニュー一覧

**シフト**を押しながら**印刷**(=テープ送り)を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます(**太字**は購入時の初期設定値です)。



## 消去メニュー一覧

**シフト**を押しながら**削除**(=消去)を押すと、文章全体または段落全体を消去できます(**太字**は購入時の初期設定値です)。

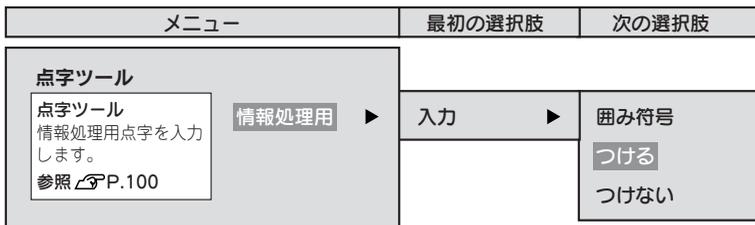


### MEMO

点字が入力されているときは「点字消去」も表示されます。

## 点字ツールメニュー一覧

**シフト**を押しながら**点訳**(=点字ツール)を押すと、情報処理用点字を入力できます(**太字**は購入時の初期設定値です)。



# ●テープカートリッジを使いわける

反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・ケーブル表示ラベルをご使用の際は下記のとおり対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベル	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照 P.64 「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
ハーフカッター 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・ケーブル表示ラベル	「ハーフカット」無効で印刷する。 参照 P.64 「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」
印刷濃度の調整が必要	反射ラベル・透明つや消しラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ	印刷がカスした場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照 P.66 「印刷濃度を調整する」

テープカートリッジの詳細な使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

## !! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。

参照 P.32 「送りカット」をする」

## MEMO

- 以下の商品は生産を中止しています。
  - 夜光ラベル：2002年6月中止
  - 反射ラベル：2003年3月中止
  - 転写テープ：2003年5月中止
  - ふせん紙ラベル：2004年4月中止
  - 伸縮ラベル：2004年12月中止
- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- 点字ラベルを作成するときは、専用の点字テープカートリッジを使用してください。

# ●こんな表示が出たときは

## エラーメッセージが表示されたときは

### MEMO

同じエラーでも、画面の表示状態によってメッセージの表示が変わります。

参照  P.26 「表示の切り換え(みえ?)」

エラーメッセージ	原因・対処
上カバーを閉じてください!	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示されます。上カバーを閉じてください。
テープがありません!	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照  P.28 「テープカートリッジをセットする」
この機種では対応していないテープです	本機で使用できないテープカートリッジがセットされています。テープカートリッジを交換してください。
24*テープに交換してください!	24*mm幅のテープカートリッジでないで印刷できません。テープカートリッジを交換してください。
印刷ヘッド過熱! 電源を切りテープを抜く!	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバーです!	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。または、あて名印刷を24*mm幅以外のテープで印刷しようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、  の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 参照  P.59 「テープ幅と印刷できる行数」
連番・バーコードは6個まで!	連番とバーコードは、合わせて6個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照  P.166 「連番を印刷する」 参照  P.168 「バーコードを印刷する」
文字サイズ「自動」のときのみ有効です	すでに段落スタイルの文字サイズが指定されている段落を  ボタンで自動切り換えしようとした。この場合は、  均等切換はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。  ボタンは、文字サイズ「自動」に指定されているときのみ有効です。 参照  P.88 「文字サイズ」
メモリーがいっぱいで登録できません	印字/点字ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 参照  P.139 「ファイルを消去する」 参照  P.148 「あて名を消去する」 参照  P.154 「名前を消去する」

エラーメッセージ	原因・対処
ファイルが登録されていません	印字/点字ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.137 「ファイルを登録する」
ラベルが長すぎます 印刷候補を減らして！	ファイル印刷候補(最大5件)すべてを印刷すると、一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してファイル印刷候補の選択メニューに戻り、ファイル印刷の候補数を減らしてください。
印刷履歴がありません	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
あて名が登録されていません	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.146 「あて名を登録する」
辞書の登録数がいっぱい で登録できません	辞書がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な辞書を消去してください。 参照 P.158 「登録した辞書を消去する」
辞書に登録済みの 語句です	辞書登録ですすでに登録してある「語句・読み」をふたたび登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
辞書が登録されていません	辞書が登録されていない状態で、辞書の修正、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.156 「変換できない語句を登録する(辞書の登録)」
未入力の項目があり 辞書に登録できません	未入力の項目がある状態で、辞書を登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
名前が登録されていません	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.153 「名前を登録する」
外字が登録されていません	外字が登録されていない状態で、外字の修正、呼び出し、消去、複写の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.161 「外字を作成し、登録する」 参照 P.164 「外字を参照作成し、登録する」
外字の登録数がいっぱい で登録できません	外字の登録数がいっぱい、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な外字を消去してください。 参照 P.163 「外字を消去する」
点字テープでは ありません！	点字テープカートリッジでない状態で点字が入力されました。点字を削除するか、点字テープカートリッジに交換してください。 参照 P.28 「テープカートリッジをセットする」
点字打刻ユニットに ラベルが残っています 排出ボタンを押して 取り出してください！	点字打刻ユニットに以前のラベルが残っているので新たな点字の打刻ができません。 <b>排出</b> ボタンを押して、点字打刻ユニット内のラベルを取り出してください。

エラーメッセージ	原因・対処
<p>打刻中止！ 排出ボタンを押してラベルを取り出してください！</p>	<p>ユーザー操作によって打刻を中止しました。点字打刻ユニットにラベルが残っている場合は、<b>排出</b> ボタンを押して、ラベルを取り出してください。</p>
<p>異常により打刻中止！ ラベルを取り出してください！</p>	<p>異常によって打刻を中止しました。点字打刻ユニットにラベルが残っている場合は <b>排出</b> ボタンを押して、ラベルを取り出してください。</p>
<p>入力した文章が長すぎます</p>	<p>入力した文章が長すぎて、一度に印刷できるテープの長さ(印字ラベルの場合16m、点字ラベルの場合60cm)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。</p>
<p>特殊印刷はできません 指定内容を変更して！</p>	<p>指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 参照 <a href="#">P.171</a> 「同じラベルを連続して印刷する(ぞく<sup>2</sup>)」 参照 <a href="#">P.172</a> 「テープ幅より大きなラベルを作る(でか<sup>2</sup>)」</p>
<p>入力した文章が長すぎます 定長解除？</p>	<p>印字ラベルの定長で指定した長さに文章がおさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま <b>選択 改行</b> または <b>印刷</b> を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照 <a href="#">P.82</a> 「定長印刷」</p>
<p>定長の指定が短すぎます 定長解除？</p>	<p>ハーフカットOFFで約20mm未満のラベルを印刷しようとした。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。 このまま <b>選択 改行</b> または <b>印刷</b> を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照 <a href="#">P.64</a> 「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」</p>
<p>定長の指定が長すぎます</p>	<p>点字ラベルの定長指定が長すぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。 参照 <a href="#">P.82</a> 「定長印刷」</p>
<p>印字が長すぎます</p>	<p>点字ラベルの定長で指定した長さに印字がおさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、印字の文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま <b>選択 改行</b> または <b>印刷</b> を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照 <a href="#">P.82</a> 「定長印刷」</p>
<p>点字が長すぎます</p>	<p>点字ラベルの定長で指定した長さに点字の打刻がおさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、点字入力画面でマス数を減らすなどの対処をおこなってください。このまま <b>選択</b> または <b>印刷</b> を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照 <a href="#">P.82</a> 「定長印刷」</p>

エラーメッセージ	原因・対処
点字が入力されていません 強行？	点字が入力されていないラベルを点字テープカートリッジで印刷しようとした。 <b>選択</b> を押すとそのまま印刷されます。テープカートリッジを交換または点字を入力する場合は、 <b>選択</b> 以外のボタンを押して印刷を中止します。
印字と点字のエリアが重なります 強行？	点字と印字が重なると小さな文字の印字が読みにくくなる場合があります。また、繰り返しの点字触読により印字がカスれて読みにくくなる場合があります。このまま <b>選択 改行</b> または <b>印刷</b> を押すと、印刷を強行します。 参照 <a href="#">P.108</a> 「印字と点字を重ねる」
打刻マス数オーバー！	40 マスを超える点字の打刻はできません。いずれかのボタンを押して点字「文字入力」画面に戻り、「点字」行が40マス以下になるようにしてください。
情報処理用点字 <b>Ⓜ</b> は各行3個まで	情報処理用点字は、各行3個までしか入力できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、情報処理用点字を減らすなどの対処をおこなってください。

## MEMO

表記以外のエラーメッセージが表示されたときは、当社お客様相談室までご相談ください。  
参照 [P.228](#) 「アフターサービスについて」

# ●故障かな？と思ったら

## MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、PCラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

## 正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。

不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、本機の初期化をおこなってください。

参照  P.179 「本機を初期化する」

## ボタンを押してもディスプレイに何も表示されない

- ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

- 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

同梱のACアダプタ(AS1527J)以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

- ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照  P.27 「ディスプレイの濃度を調整する」

## キーボードが動作しない

- ディスプレイに「PC通信可能」と表示されていませんか？

ディスプレイに「PC通信可能」と表示されているときは、パソコンからの操作が優先されます。「テブラ」本体でラベルを作るときは、 +  を押してPCリンクを解除してください。

## ディスプレイが消える

- 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

## を押しても何も印刷されない

- 文章が入力されていますか？

テキスト画面や特殊フォームに何も入力されていないと印刷はされません。

- 点字打刻ユニットが動作中ではありませんか？

点字打刻ユニット動作中は、印刷できません。

- 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかりと閉じてください。

## 文字がきちんと印刷されない

- 点字のみのラベルではありませんか？

点字ラベルの場合は、文字が入力されていなくても印刷がおこなわれます。排出されたラベルを点字打刻ユニットに挿入してください。

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

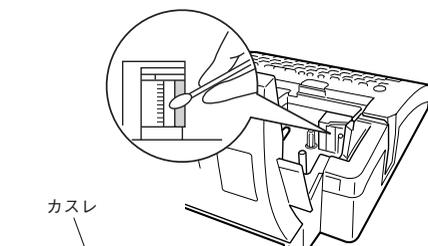
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。

参照  P.28「テープカートリッジをセットする」

### ● 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ(SR24C)またはヘッド・クリーニングキット(RC15)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照 P.195「お手入れについて」



## ラベルを印刷後、オートカットされない

### ● 自動カットを「しない」に設定していませんか？

印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。

参照 P.64「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ● カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 P.228「アフターサービスについて」

## 文章の途中までしか印刷されない

### ● テープカートリッジにテープの残りがありませんか？

テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照 P.28「テープカートリッジをセットする」

## 点字の途中までしか打刻されない

### ● テープカートリッジにテープの残りがありませんか？

テープカートリッジのテープがなくなったため、印刷されたラベルが点字の打刻に必要な長さよりも短くなることがあります。新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照 P.28「テープカートリッジをセットする」

### ● 直前に印刷されたラベルを入れましたか？

直前に印刷されたラベルは、点字の文字数に応じた長さになっています。それ以外のラベルに打刻すると、長さが異なり、点字を最後まで正しく打刻できないことがあります。

## ハーフカットがうまくできない

### ● ハーフカットは「する」になっていますか？

印刷設定の自動カットでハーフカットを「しない」に設定すると、ハーフカットはおこなわれません。

参照 P.64「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ● 自動カット「しない」になっていませんか？

印刷設定の自動カットが「しない」になっている場合はハーフカットも動作しません。

参照 P.64「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ● ハーフカットのできないラベルを使用していませんか？

本機のカッターでハーフカットできないラベルを使用している場合は、ハーフカットを「しない」に設定してください。

参照 P.64「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

### ● ハーフカットの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると、磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 P.228「アフターサービスについて」

## うまく打刻できない

- **点字打刻ユニットに挿入しましたか？**  
点字の打刻は、印刷をしたあとにラベルを点字打刻ユニットに挿入しておこないます。
- **ラベルを点字ラベル差込み口にきちんと差し込んでいますか？**  
ラベルを固定ガイドに合わせず差し込むとうまく打刻できません。固定ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。  
参照 [P.51](#) 「点字を打刻する」
- **テープカートリッジセット後に「送りカット」をしましたか？**  
点字テープカートリッジのセット後に「送りカット」をしていないとラベルの前余白が多くなり、点字を正しく打刻できないことがあります。テープカートリッジセット後は必ず「送りカット」をしてください。
- **ラベルが丸く巻きついていませんか？**  
ラベルが長い場合、丸く巻きつき、うまく送られないことがあります。
- **点字打刻ユニット内でラベルがつまっていませんか？**  
ラベルが打刻ユニット内でからまった場合には  
① **削除** を押しテキスト画面に戻った後、**シフト** を押しながら **排出** を押し、ラベルを手前に排出します。排出されたラベルの先端を手前に引き出してください。  
② ①の方法でラベルを引き出せなかった場合、電源を切った状態で打刻部カバーをはずし、つまっているラベルを取り除いてください。  
参照 [P.52](#) 「点字を打刻する」

## ファイルの内容が消えてしまった

- **本機の初期化をしましたか？**  
本機の初期化をおこなうと、印字/点字ファイル・あて名・外字・辞書登録などのデータがすべて失われます。  
参照 [P.179](#) 「本機を初期化する」
- **動作中にACアダプタを抜きませんでしたか？**  
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備をしています」が表示されているときにACアダプタを抜くと登録した印字/点字ファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

## ラベルを貼り付けることができない

- **裏紙をはがしていますか？**  
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。  
参照 [P.46](#) 「印字ラベルを貼る」
- **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**  
表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。

## ラベルがはがれやすい

- **余白が少なくありませんか？**  
ラベルは接着面が広いほどはがれにくくなります。点字ラベルの場合は特に余白を多くし、できるだけ接着面を多くしてください。
- **カド丸仕上げをしていますか？**  
ラベルはカドを丸く仕上げるとはがれにくくなります。  
参照 [P.67](#) 「カドを丸く仕上げる」

### MEMO

上記以外るときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。  
参照 [P.228](#) 「アフターサービスについて」

## 点字を打刻する音大きい

- **通常の点字打刻音ではありませんか？**  
本機ではインパクト方式で点字ラベルを作るため、打刻時に音がします。
- **ラベルが短く、空打ちをしていませんか？**  
点字打刻ユニットに挿入したラベルが本来のラベルより短いと、ラベルがなくなった部分への打刻が空打ちとなり通常の打刻時よりも音が大きくなります。打刻は、必ず、直前に印刷した、内容に応じた長さのラベルにおこなってください。  
印刷後に点字テープカートリッジのテープがなくなっている場合、印刷されたラベルは点字の打刻に必要な長さよりも短いことがあるので注意してください。

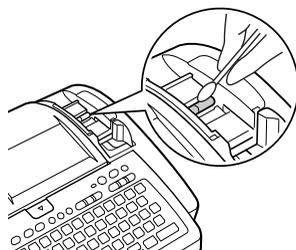
# ●お手入れについて

## ■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

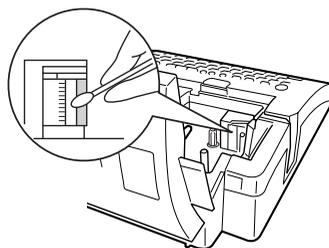
## ■ 打刻ローラーにのりが付着した場合

綿棒などで付着したのりを拭き取ってください。



## ■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ (SR24C) またはヘッド・クリーニングキット (RC15) をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール (エチルアルコール) を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



# ヘッド・クリーニングテープを使う

## ヘッドクリーニングをおこなう

① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

② **シフト**を押しながら**印刷**(= テープ送り)を押す

③ 「テープ送り」を選び、**選択 改行**を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1～2回 おこなってください。

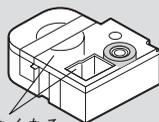
参照 P.32 「送りカット」をする」

### !! 注意 !!

- 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。



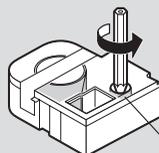
- 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドを傷めるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



白いテープがなくなる

### MEMO

- 本機にはヘッド・クリーニングテープSR24Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。



巻き取りコア

- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約120回のクリーニングが可能です。

# ●入力文字一覧表

## 文字ボタン配列

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	¥	^	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	~	「	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	;	:	」	
Z	X	C	V	B	N	M	,	.	/	.		

## 入力文字表

「大」は  を押していない状態、「小」は  を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@
3	3	#	あ	あ	3	#
4	4	\$	う	う	4	\$
5	5	%	え	え	5	%
6	6	&	お	お	6	&
7	7	'	や	や	7	'
8	8	*	ゆ	ゆ	8	*
9	9	(	よ	よ	9	(
0	0	)	わ	を	0	)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=
^	^	^	へ	へ	^	^
-	-	-	ー	ー	-	-
Q	Q	q	た	た	Q	q
W	W	w	て	て	W	w
E	E	e	い	い	E	e
R	R	r	す	す	R	r
T	T	t	か	か	T	t
Y	Y	y	かん	かん	Y	y
U	U	u	な	な	U	u
I	I	i	に	に	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p
~	~	÷	〜	〜	~	÷
「	「	」	「	」	「	」

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a
S	S	s	と	と	S	s
D	D	d	し	し	D	d
F	F	f	は	は	F	f
G	G	g	き	き	G	g
H	H	h	く	く	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j
K	K	k	の	の	K	k
L	L	l	り	り	L	l
;	;	+	れ	れ	;	+
:	:	×	け	け	:	×
」	」	」	む	む	」	」
Z	Z	z	つ	つ	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b
N	N	n	み	み	N	n
M	M	m	も	も	M	m
,	,	,	ね	ね	,	,
.	.	.	る	る	.	.
/	/	?	め	め	/	?
.	.	.	ろ	ろ	.	.

注1：ボタン  の「~」とボタン  の「~」は単独では入力、印刷できません。

注2：ボタン  で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字(大)、かな(大)：「-」(長音)

ローマ字(小)、かな(小)、ABC(小)：「-」(マイナス)

ABC(大)：「-」(ハイフン)

注3：ボタン  の「。」はピリオドです。

注4：  部分の文字は点字「文字入力」画面では入力できません。

# ●漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 P.175 「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

## !! 注意 !!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。

参照 P.175 「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

## JIS第1水準 \*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ア	1601~1609	亜	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢		
	1610~1619	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	芦	鱒	
	1620~1629	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	始	絢	綾	
	1630~1639	鮎	或	粟	給	安	庵	按	暗	案	闇	
	1640~1641	鞍	杏									
イ	1642~1649		以	伊	依	偉	困	夷	委			
	1650~1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	
	1660~1669	移	維	緯	胃	委	衣	謂	違	遣	医	
	1670~1679	井	亥	域	育	穢	一	壺	溢	逸		
	1680~1689	稲	茨	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻	
	1690~1694	引	飲	淫	胤	蔭						
	1701~1705	院	陰	隱	韻	吋						
ウ	1706~1709							右	宇	烏	羽	
	1710~1719	迂	雨	卯	鴉	丑	確	白	渦	噓		
	1720~1729	唄	鬱	蔚	媧	媿	尻	浦	瓜	閤	噂	
	1730~1732	云	運	雲								
	エ	1733~1739		荏	餌	叡	營	嬰	影	映		
1740~1749		曳	栄	永	泳	瑛	盈	穎	穎	英		
1750~1759		衛	詠	銳	液	疫	駢	悅	謁	越		
1760~1769		閏	榎	厭	圃	堰	奄	宴	延	怨		
1770~1779		掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁	
1780~1786		艶	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塩				
1787~1789									於	汚	甥	
オ	1790~1794	凹	央	奥	往	応						
	1801~1809		押	旺	横	欧	毆	王	翁	襖	嵩	
	1810~1819	鷗	黄	岡	沖	菘	億	屋	憶	臆	桶	
	1820~1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音			
	カ	1828~1829									下	化
		1830~1839	仮	何	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁
		1840~1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
		1850~1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
		1860~1869	蝦	課	嘩	夙	迎	過	霞	蛟	俄	俄
1870~1879	我	牙	面	夤	芽	蚩	賀	雅	俄	駕		
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
力	1880~1889	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔
	1890~1894	恢	懷	戒	拐	改					
	1901~1909		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910~1919	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖
	1920~1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鑑	骸	湮
	1930~1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	鈎	嚇	各	廓
	1940~1949	拡	攪	格	核	殻	獲	確	襪	覺	角
	1950~1959	赫	較	郭	闊	隔	革	学	岳	樂	額
	1960~1969	顎	掛	笠	檜	櫃	梶	鯨	割	喝	
	1970~1979	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鏗
	1980~1989	叶	枕	樺	鞆	株	兜	蒲	釜	釜	鎌
	1990~1994	嘯	鴨	栢	茅	萱					
	2001~2009	粥	刈	刈	瓦	乾	冠	冠	寒	刊	
2010~2019	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干	
2020~2029	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	
2030~2039	款	歛	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	
2040~2049	竿	管	簡	綫	缶	翰	肝	艦	莞	觀	
2050~2059	諫	貫	鑑	鑑	問	閑	閑	閤	韓	館	
2060~2069	館	丸	含	岸	妓	玩	癌	眼	岩	甌	
2070~2074	贗	雁	頑	頑	願						
キ	2075~2079							企	危	喜	器
	2080~2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	畿	忌	揮	机
	2090~2094	旗	既	期	棋	棄					
	2101~2109	機	婦	穀	気	汽	畿	祈	季	稀	
	2110~2119	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120~2129	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
	2130~2139	機	疑	祇	義	蟻	誼	讓	詢	菊	鞠
	2140~2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150~2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160~2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
2170~2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
2180~2189	巨	拒	拗	拳	渠	虚	許	距	鋸	漁	
2190~2194	禦	牙	亨	享	京						
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201~2209	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	
	2210~2219	卿	叫	喬	峽	境	強	強	怯	恐	恭
	2220~2229	扶	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興
	2230~2239	蕎	郷	鏡	響	櫻	仰	凝	堯	堯	曉
	2240~2249	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	勤	均
	2250~2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260~2268	芹	菌	衿	謹	謙	近	金	吟	銀	
	2269										九
	2270~2279	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	驅	駮
	2280~2289	駒	具	愚	虞	吟	空	偶	遇	遇	
2290~2294	串	櫛	釧	屑	屈						
2301~2309		掘	窟	沓	靴	轡	雀	熊	限	糸	
2310~2319	栗	繰	桑	歛	歛	君	薰	訓	群	軍	
2320	郡										
ケ	2321~2329	卦	契	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
	2330~2339	珪	型	契	徑	惠	慶	慧	圭	揭	
	2340~2349	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	承	經	
	2350~2359	繫	罟	荃	荊	荊	計	詣	警	輕	
	2360~2369	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	
	2370~2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	
	2380~2389	儉	倦	健	兼	券	券	劍	喧	園	
	2390~2394	建	憲	懸	拳	捲					
	2401~2409		檢	樞	牽	犬	猷	研	硯	絹	
	2410~2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顯	
2420~2429	骸	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄		
2430~2434	絃	絃	言	諺	限						
2435~2439						乎	個	古	呼		
2440~2449	姑	孤	己	庫	弧	戶	故	枯	湖		
2450~2459	糊	袴	股	孤	虎	誇	跨	鉅	屋		
2460~2469	顧	鼓	五	互	伍	午	吾	娛	後		
2470~2479	御	悟	梧	檣	瑚	暮	語	誤	謬		
2480~2489	乞	鯉	交	佼	候	候	倖	光	公		
2490~2494	効	勾	厚	口	向						
2501~2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏		
2510~2519	巧	巷	幸	庚	康	弘	恒	慌	抗		
2520~2529	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	構		
2530~2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿		
2540~2549	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔		
2550~2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇		
2560~2569	砥	銅	閣	降	項	香	高	鴻	剛		
2570~2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克		
2580~2589	告	國	穀	酷	鵠	黑	獄	澆	甌		
2590~2594	忽	愍	骨	伯	込						
2601~2609		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨		
2610~2618	昏	昆	根	棍	混	痕	紺	良	魂		
2619									些		
2620~2629	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	磋		
2630~2639	詐	鎖	梁	坐	挫	債	催	再	最		
2640~2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	濟		
2650~2659	災	采	犀	辟	砒	祭	齋	細	菜		
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2660~2669	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670~2679	堺	柵	肴	咲	崎	崎	磯	驚	作	削
	2680~2689	咋	咋	咋	朔	朔	窄	策	索	錯	桜
	2690~2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701~2709		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜
	2710~2719	鯖	捌	錯	鮫	皿	晒	三	傘	參	山
	2720~2729	慘	撒	散	棧	燦	珊	算	筭	纂	蚕
	2730~2736	讚	贊	餐	餐	斬	暫	殘			
	2737~2739										仕
	2740~2749	使	刺	司	司	嗣	四	士	始	姉	姿
2750~2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯	
2760~2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	糸	
2770~2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	
2780~2789	諧	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児	
2790~2794	字	寺	慈	持	時						
2801~2809		次	滋	治	爾	靈	痔	礙	示	而	
2810~2819	耳	自	薛	薛	汐	鹿	式	識	鳴	竺	
2820~2829	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	
2830~2839	湿	漆	疾	質	実	蓊	篠	儀	柴	芝	
2840~2849	屢	蕊	蒨	舍	写	射	捨	絞	斜	煮	
2850~2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	
2860~2869	尺	灼	灼	爵	酌	積	錫	若	寂	弱	
2870~2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	
2880~2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	
2890~2894	綬	需	囚	囚	周						
2901~2909		宗	就	州	修	愁	洲	秀	秋		
2910~2919	終	繡	習	臬	舟	蒐	襲	襲	讖	讖	
2920~2929	輯	週	酉	酬	集	醜	什	仕	充	十	
2930~2939	從	戎	柔	汁	洪	縱	緞	紐	銃	統	
2940~2949	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	塾	熟	術	
2950~2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	
2960~2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	
2970~2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	曙	庶	緒	
2980~2989	署	書	書	諸	諸	助	叙	叙	叙	徐	
2990~2994	恕	鋤	除	傷	償						
3001~3009		勝	匠	升	召	哨	唱	唱	嘗	獎	
3010~3019	妾	媚	宵	宵	小	少	尚	庄	床	廠	
3020~3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	
3030~3039	松	梢	樟	樵	沼	消	消	湘	燒	焦	
3040~3049	照	症	省	硝	礁	祥	章	章	笑	粧	
3050~3059	紹	肖	莖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	
3060~3069	詳	象	賞	醬	鉦	鐘	鐘	障	轄	詔	
3070~3079	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	壤	常	
3080~3089	情	擾	条	杖	淨	狀	量	釐	蒸	讓	
3090~3094	釀	錠	囁	燭	飾						
3101~3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	蝕	食	
3110~3119	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	
3120~3129	心	慎	振	新	晉	紳	森	榛	浸	深	
3130~3139	疹	真	神	秦	神	秦	仁	仁	刃	塵	
3140~3149	身	辛	進	針	震	人	己	刃	塵	壬	
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
シ	3150~3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	朝			
	3158~3159									箭	諏	
	3160~3169	須	酢	囟	厨	逗	吹	垂	帥	推		
	3170~3179	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨	
	3180~3189	瑞	髓	崇	高	数	枢	趨	難	据	杉	
	3190~3194	相	菅	頗	雀	裾						
	3201~3203		澄	摺	寸							
	3204~3209						世	瀬	畝	是	凄	制
	3210~3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	
	3220~3229	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	
3230~3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税		
3240~3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積		
3250~3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙		
3260~3269	接	撰	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌		
3270~3279	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰		
3280~3289	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潛			
3290~3294	煽	旋	穿	箭	線							
3301~3309		織	羨	腺	外	船	薦	詮	賤	踐		
3310~3319	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然		
3320~3324	全	禪	繕	膳	糧							
3325~3329								嗜	塑	咀	措	曾
3330~3339	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	祖	粗	素		
3340~3349	組	蘇	誣	週	鼠	僧	創	及	叢			
3350~3359	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想		
3360~3369	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽		
3370~3379	漕	燥	争	瘦	相	容	糟	綜	綜	聡		
3380~3389	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗		
3390~3394	霜	騷	像	增	憎							
3401~3409		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息		
3410~3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統		
3420~3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
3430~3439	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打		
3440~3449	陀	陀	脩	陀	駝	駝	体	堆	対	耐		
3450~3459	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎		
3460~3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代		
3470~3479	宅	大	第	醒	題	鷹	滝	卓	啄			
3480~3489	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁		
3490~3494	諾	茸	風	蜻	只							
3501~3509		叩	但	遠	辰	奪	脱	巽	豎	迪		
3510~3519	棚	谷	狸	鱈	謹	譚	丹	單	嘆	坦		
3520~3529	担	探	旦	軟	淡	湛	炭	短	端	簞		
3530~3539	統	耽	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷		
3540~3544	暖	檀	段	男	談							
3545~3549						值	知	地	弛	恥		
3550~3559	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築		
3560~3569	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窳	茶	矯	着		
3570~3579	中	仲	宙	抽	昼	柱	注	虫	衷			
3580~3589		註	耐	鏤	駐	櫛	豬	苧	苧	貯		
3590~3594		丁	兆	凋	喋	寵						
3601~3609		帖	帳	庁	疔	張	彫	徵	懲	挑		

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
チ	3610~3619	暢	朝	潮	襟	町	眺	瞻	賬	腸	蝶							
	3620~3629	調	課	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄							
	3630~3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳										
ツ	3637~3639									津	墜	椎						
	3640~3649	槌	追	錘	鎚	通	塚	拇	楓	楓	佃							
テ	3650~3659	漬	拓	辻	葛	綴	鏝	椿	漬	坪	壺							
	3660~3665	媯	紬	八	吊	釣	鶴											
	3666~3669									亭	低	偵						
ト	3670~3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟							
	3680~3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締							
	3690~3694	艇	訂	諦	蹄	通												
ナ	3701~3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	擱	擱	敵	滴							
	3710~3719	的	笛	適	鎬	濁	哲	徹	徹	徹	迭							
	3720~3729	鉄	典	填	天	展	店	添	繡	甜	貼							
ナ	3730~3737	転	顛	点	伝	殿	澱	田										
	3740~3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟							
	3750~3759	賭	途	都	鍬	砥	砺	努	度	土	奴							
ナ	3760~3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套							
	3770~3779	宕	鳥	嶋	悼	投	搭	東	桃	枹	棟							
	3780~3789	盜	淘	湯	燙	灯	燈	当	痘	禱	等							
ナ	3790~3794	答	筒	糖	統	到												
	3801~3809		董	蕩	蔣	蔣	騰	討	膽	豆	踏	逃						
	3810~3819	鏡	陶	頭	騰	關	働	動	同	堂	導							
ナ	3820~3829	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠							
	3830~3839	鴿	匿	得	德	澆	特	督	秃	篤	毒							
	3840~3849	独	諛	柄	椽	凸	突	椴	屈	薦	苦							
ナ	3850~3859	寅	西	滯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁							
	3860~3863	頓	吞	曇	鈍													
	3864~3869									奈	那	内	乍	風	雍			
ニ	3870~3879	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	繩	纒	南	楠							
	3880~3882	軟	難	汝														
	3883~3889									二	尼	忒	迓	旬	脈	肉		
又	3890~3894	虹	廿	日	乳	入												
	3901~3907									如	尿	葦	任	妊	忍	認		
	3908															濡		
又	3909															襦		
	3910~3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃							
	3920	粘																
ノ	3921~3929									乃	迺	之	楚	囊	惱	濃	納	能
	3930~3934	腦	農	農	眼	蚤												
	3935~3939									巴	把	播	霸	杷				
ハ	3940~3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廢							
	3950~3959	扞	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	鞞	配							
	3960~3969	倍	培	媒	梅	媒	煤	猥	買	壳	賠							
ハ	3970~3979	陪	這	魏	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍							
	3980~3989	柏	泊	白	箔	柏	舶	薄	迫	曝	漠							
	3990~3994	爆	縛	莫	駁	麥												
ハ	4001~4009									函	箱	谿	箸	肇	檣	樞	幡	肌
	4010~4019									畑	畠	鉢	澆	瓮	髡	髮	伐	罰

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	4020~4029	拔	筏	闊	鳩	嘶	塙	蛤	隼	判	判
	4030~4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	版
	4040~4049	犯	班	畔	般	般	藩	販	範	采	煩
	4050~4058	頒	飯	挽	晚	番	盤	磬	蕃		
	4059										匪
	4060~4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070~4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080~4089	誹	費	避	非	飛	樋	籤	備	尾	微
	4090~4094	枇	毘	琵琶	眉	美					
	4101~4109	鼻	稔	稗	匹	毘	彦	膝	菱	羨	羨
4110~4119	肘	弼	必	畢	逼	桧	姫	媛	紐		
4120~4129	百	謬	依	彪	標	水	漂	瓢	票	表	
4130~4139	評	豹	廟	描	捕	秒	苗	鏽	鋸	蒜	
4140~4149	蛭	鱗	品	彬	斌	浜	瀨	貧	質	頰	
4150~4151	敏	瓶									
フ	4152~4159		不	付	埠	阜	婦	富	富	布	
	4160~4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170~4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180~4189	武	舞	葡	葡	燕	部	封	楓	風	茸
	4190~4194	伏	副	復	幅	服					
	4201~4209		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	佛	仏
	4210~4219	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220~4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	4226~4229							丙	併	兵	嵬
	4230~4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陞	米	頁
4240~4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	窺	偏	變	
4250~4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	弁	弁	
4260	鞭										
ホ	4261~4269		保	鋪	鋪	圃	捕	步	甫	輔	輔
	4270~4279	穗	募	慕	慕	暮	母	簿	菩	倣	
	4280~4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290~4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301~4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310~4319	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320~4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330~4339	望	某	棒	冒	妨	肪	膨	謀	貌	貿
	4340~4349	鋒	防	吠	類	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350~4359	牧	睦	穆	鈕	勃	沒	殆	堀	幌	奔
4360~4363	本	翻	凡	盆							
マ	4364~4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370~4379	味	枚	每	理	榎	幕	膜	枕	桶	枉
	4380~4389	鱒	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侷
	4390~4394	繭	磨	万	慢	滿					
	4401~4402		漫	蔓							
	4403~4409					味	未	魅	巳	箕	岬
	4410~4418	蜜	湊	襄	稔	脈	妙	耗	民	眠	
	4419										務
	4420~4428	夢	無	牟	矛	霧	鶻	掠	婿	娘	
	4429										冥
4430~4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
メ	4440~4445	免	棉	綿	緬	面	麵				
	4446~4449									摸	模
モ	4450~4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默
	4460~4469	目	李	勿	餅	尤	戾	初	貫	問	悶
ヤ	4470~4472	紋	門	匂							
	4473~4479					也	治	夜	爺	耶	野
ユ	4480~4489	矢	厄	役	約	業	訳	躍	靖	柳	戮
	4490	鏹									
ヨ	4491~4494		愉	愈	油	癒					
	4501~4509		論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
ヨ	4510~4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520~4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	融	夕		
ヨ	4529										予
	4530~4539	余	与	誉	興	預	備	幼	妖	容	庸
ラ	4540~4549	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	4550~4559	窠	羊	耀	葉	蓉	要	誦	誦	遙	陽
ラ	4560~4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翼	澁		
	4569										羅
リ	4570~4579	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	4580~4587	乱	卵	嵐	濫	藍	蘭	覽			
リ	4588~4589										利
	4590~4594	履	李	梨	理	璃					
ル	4601~4609		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610~4619	律	掠	略	劉	流	溜	留	硫	粒	
ル	4620~4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	僚	
	4630~4639	両	凌	寮	料	梁	涼	獵	瞭	稜	
ル	4640~4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
	4650~4659	厘	林	淋	琳	臨	輪	隣	鱗		
ル	4660~4664	瑠	瑩	涙	累	類					
	4665~4669									令	伶
レ	4670~4679	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	4680~4689	齡	歷	歷	列	劣	烈	廉	廉	恋	憐
ロ	4690~4694	漣	煉	煉	練	聯					
	4701~4703		連	連	鍊						
ロ	4704~4709							呂	魯	櫓	賂
	4710~4719	露	勞	婁	廊	弄	朗	榔	榔	浪	漏
ワ	4720~4729	牢	輓	筆	老	聾	岷	郎	六	麓	祿
	4730~4732	肋	録	論							
ワ	4733~4739							倭	和	話	歪
	4740~4749	杵	鷺	互	互	鰐	詫	藁	葦	藁	湾
4750~4751	碗	腕									
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

# JIS第2水準

\*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。  
従って「井」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801~4809	弋	丐	丕	个	巾	丷	丩	ノ	又	
4810~4819	乖	乘	亂	丿	豫	聿	舒	弋	于	亞
4820~4829	亟	一	亢	京	毫	竄	从	仍	仄	仆
4830~4839	仂	仗	仞	仞	仞	仞	伉	伉	伉	佛
4840~4849	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
4850~4859	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
4860~4869	侗	侗	侗	侗	侗	侗	侗	侗	侗	侗
4870~4879	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑	侑
4880~4889	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃
4890~4899	傀	傀	傀	傀	傀	傀	傀	傀	傀	傀
4901~4909		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4910~4919	僮	僮	僮	僮	僮	僮	僮	僮	僮	僮
4920~4929	僮	僮	僮	僮	僮	僮	僮	僮	僮	僮
4930~4939	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢
4940~4949	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
4950~4959	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫	冫
4960~4969	几	几	几	几	几	几	几	几	几	几
4970~4979	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
4980~4989	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
4990~4999	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
5001~5009	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
5010~5019	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5020~5029	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
5030~5039	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
5040~5049	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄
5050~5059	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠
5060~5069	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
5070~5079	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩
5080~5089	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒
5090~5099	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5101~5109	思	思	思	思	思	思	思	思	思	思
5110~5119	晤	晤	晤	晤	晤	晤	晤	晤	晤	晤
5120~5129	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔
5130~5139	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯
5140~5149	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻
5150~5159	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔
5160~5169	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓
5170~5179	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓
5180~5189	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓	噓
5190~5199	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹
5201~5209	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5210~5219	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏
5220~5229	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤	埤
5235~5239	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5240~5249	堡	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙	塙
5250~5259	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5260~5269	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5270~5279	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5280~5289	天	本	本	本	本	本	本	本	本	本
5290~5299	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢
5301~5309		奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸
5310~5319	姜	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪
5320~5329	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪
5330~5339	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪	姪
5340~5349	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌
5350~5359	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌	嬌
5360~5369	學	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺	孺
5370~5379	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔
5380~5389	寶	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅
5390~5399	尹	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈
5401~5409		屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨	屨
5410~5419	岑	岔	岔	岔	岔	岔	岔	岔	岔	岔
5420~5429	岑	峙	峙	峙	峙	峙	峙	峙	峙	峙
5430~5439	崗	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5440~5449	嵌	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5450~5459	峽	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5460~5469	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖
5470~5479	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
5480~5489	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5490~5499	廁	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
5501~5509		廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖
5510~5519	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬
5520~5529	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
5530~5539	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎
5540~5549	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
5550~5559	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃
5560~5569	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠
5570~5579	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕
5580~5589	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協
5590~5599	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞	悞
5601~5609	悄	悄	悄	悄	悄	悄	悄	悄	悄	悄
5610~5619	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠
5620~5629	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5630~5639	啟	啟	啟	啟	啟	啟	啟	啟	啟	啟
5640~5649	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5650~5659	懼	懼	懼	懼	懼	懼	懼	懼	懼	懼
5660~5669	懣	懣	懣	懣	懣	懣	懣	懣	懣	懣
5670~5679	應	應	應	應	應	應	應	應	應	應
5680~5689	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍
5690~5699	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍
5701~5709		戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩	戩
5710~5719	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5720~5729	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5730~5739	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞

付録





区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7740~7749	軾	輕	輅	輗	輘	輙	輚	輛	輜	輞
7750~7759	輗	輘	輙	輚	輛	輜	輞	輟	輠	輡
7760~7769	輡	輢	輣	輤	輥	輦	輧	輨	輩	輫
7770~7779	輫	輬	輭	輮	輯	輰	輱	輲	輳	輴
7780~7789	輴	輵	輶	輷	輸	輹	輺	輻	輿	輾
7790~7799	輾	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7801~7809	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7810~7819	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7820~7829	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7830~7839	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7840~7849	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7850~7859	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7860~7869	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7870~7879	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7880~7889	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7890~7899	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7901~7909	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7910~7919	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7920~7929	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7930~7939	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7940~7949	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7950~7959	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7960~7969	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7970~7979	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7980~7989	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
7990~7999	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8001~8009	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8010~8019	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8020~8029	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8030~8039	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8040~8049	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8050~8059	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8060~8069	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8070~8079	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8080~8089	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8090~8099	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8101~8109	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8110~8119	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8120~8129	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8130~8139	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8140~8149	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8150~8159	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8160~8169	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8170~8179	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8180~8189	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8190~8199	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8201~8209	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8210~8219	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8220~8229	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
8230~8239	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿	輿
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8240~8249	鰤	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8250~8259	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8260~8269	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8270~8279	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8280~8289	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8290~8299	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8301~8309	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8310~8319	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8320~8329	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8330~8339	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8340~8349	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8350~8359	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8360~8369	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8370~8379	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8380~8389	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8390~8399	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8401~8409	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8410~8419	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8420~8429	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8430~8439	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8440~8449	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8450~8459	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8460~8469	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8470~8479	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8480~8489	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
8490~8499	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢	鯢
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

## その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

	コード														
85	<sup>01</sup> 鵬	<sup>02</sup> 葛	<sup>03</sup> 祇	<sup>04</sup> 麴	<sup>05</sup> 鑄	<sup>06</sup> 鑄	<sup>07</sup> 鑄	<sup>08</sup> 鑄	<sup>09</sup> 鑄	<sup>10</sup> 鑄	<sup>11</sup> 鑄	<sup>12</sup> 鑄	<sup>13</sup> 鑄	<sup>14</sup> 鑄	<sup>15</sup> 鑄
	嶮	崎	栗	濱	高	吉	橋	昇	柳	榊	礪	撈	撈	撈	撈

# ●記号一覧表

## !! 注意!!

- ・記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。
- ・点字「文字入力」画面で指定できる記号はこの中の一部となります。

### 記述

、 。 ， ・ ・ ・ : ;
「 」 ? ! - - /
\ ~ @ ~ _ § †
‡ † ‡ † ‡ † 全
々 † …… ※ *

### 省略

、 † ‡ † ‡ † 全々
† …… # No. & 〒
㊞ © ® 秘印済注
控検問答祝休祭
(代)(内)(直)(呼)(株)K.K.(有)
(財)(社)(特)(学)TEL FAX

### カッコ

‘ ’ “ ” ( ) [
] [ ] { } < >
《 》 「 」 『 』 【
】

### 矢印

→ ← ↑ ↓ ↘ ↙ ↗ ↖
↙ → ← ↑ ↓ ↔ ↕
○ △ □ ☆
○ ● ◎ △ ▲ ▽ ▼
◇ ◆ □ ■ ☆ ★ ◇
◆ ♠ ♣ ♥ ♡ ♣ ♣

### 単位

% ‰ μ m mm cm m km
ft mile cm <sup>2</sup> m <sup>2</sup> a ha km <sup>2</sup>
cm <sup>3</sup> m <sup>3</sup> mg g kg t cc
ml dl l kl mol ¥ (円)
\$ € £ Fr ¢ A V
Ω W kWhz dB HP Å
@ ° ′ ″ °C °F ct

### 算数

+ - ± × ÷ = ≠
< > ≤ ≥ ∞ ∴ ≡
≡ √ ∞ ∧ ∫

### 数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ○
一 二 三 四 五 六 七
八 九 I II III IV V
VI VII VIII IX X i ii
iii iv v vi vii viii ix
X 1 2 3 4 5 6
7 8 9 0 1 2 3
4 5 6 7 8 9 0
+ - 1/2 1/3 2/3 1/4 3/4

### 2桁数字

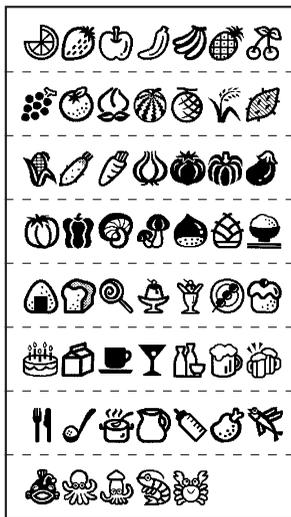
00 ~ 99
---------

### 公共表示

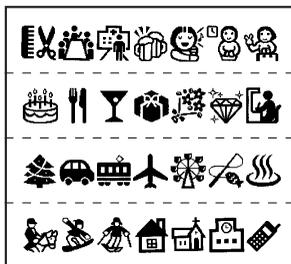
🚗 🚌 🚝 🚞 🚇 🚈 🚉
♿ 🚰 🚱 🚲 🚳 🚴 🚵
🚶 🚷 🚸 🚹 🚺 🚻 🚼
🚽 🚾 🚿 🛖 🏠 🏡 🏢
🏣 🏤 🏥 🏦 🏧 🏨 🏩
🏪 🏫 🏬 🏭 🏮 🏯 🏰
🏱 🏲 🏳 🏴 🏵 🏶 🏷



食べ物



予定



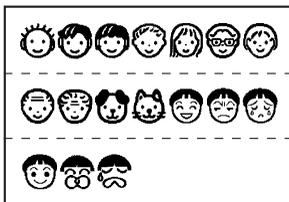
暮らし



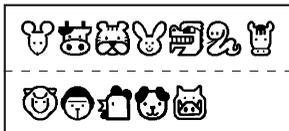
シーズン



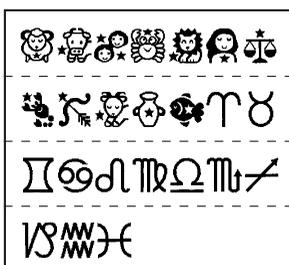
家族



干支



星座



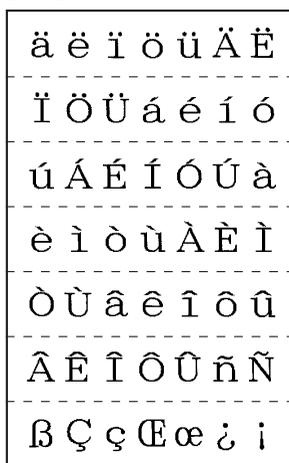
ギリシャ



ロシア



欧州



編集



合成



# ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA		ゆ YU		よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA				wo
ん	ん N+(Y以外の子音または、アポストロフィー「'」) (例) N+N→ん N+P→んP N+'J→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO
しゃ	しゃ SHA	しい SYI	しゅ SHU	しえ SHE	しよ SHO
ちゃ	ちゃ CHA CYA	ちい TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちえ TYE CHE CYE	ちよ TYO CHO CYO
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
じゃ	じゃ JYA JA	じい ZYI JI	じゅ JYU JU	じえ ZYE JE	じよ ZYO JO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
びゃ	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
つあ	つあ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI FYI		ふえ FE FYE	ふお FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふい FYI FI	ふゅ FYU	ふえ FYE FE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI	うゅ VU	うえ VE	うお VO
あ	あ LA XA	い LI XI LYI XYI	う LU XU	え LE XE LYE XYE	お LO XO
か	か LKA XKA			け LKE XKE	
つ			つ LTU XTU		
	同一の子音+子音=つ+子音 (N以外有効)				
や	や LYA XYA		ゆ LYU XYU		よ LYO XYO

# ●点字一覽表

点字は、6点を1マスとした点とマスの組み合わせで文字を表記します。

主な表記方法はそれぞれ以下の表のようになります。

## 五十音

ア	イ	ウ	エ	オ	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ラ	リ	ル	レ	ロ
カ	キ	ク	ケ	コ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ワ	キ	エ	ラ	
サ	シ	ス	セ	ソ	マ	ミ	ム	メ	モ	撥音符 (ン)	促音符 (ッ)	長音符 (ー)		
タ	チ	ツ	テ	ト	ヤ	ユ	ヨ							

## 濁音・半濁音

ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	バ	ビ	ブ	ベ	ボ
ギャ	ギュ	ギョ	ジャ	ジュ	ジョ	リャ	リュ	リョ	
チャ	チュ	チョ	チャ	チュ	チョ				
ニャ	ニュ	ニョ	ビャ	ビュ	ビョ				
ヒャ	ヒュ	ヒョ	ピャ	ピュ	ピョ				

## 拗音など

キャ	キュ	キョ	ギャ	ギュ	ギョ	ミャ	ミュ	ミョ
シャ	シュ	ショ	ジャ	ジュ	ジョ	リャ	リュ	リョ
チャ	チュ	チョ	チャ	チュ	チョ			
ニャ	ニュ	ニョ	ビャ	ビュ	ビョ			
ヒャ	ヒュ	ヒョ	ピャ	ピュ	ピョ			

## 特殊音

イ	エ	ウ	オ	ス	ズ
キ	ク	ケ	コ	チ	ヂ
シ	ジ	グ	グ	グ	グ
チェ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ
ニ	フ	フ	フ	フ	フ
ヒ	ヴ	ヴ	ヴ	ヴ	ヴ
				ヴ	

## 数字

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	数符	小数点	位取り点

## 記号(一般)

本機で指定できる記号の一覧です。

#	%	&	*
ナンバーマーク	パーセント	アンパサンド	アスタリスク
~	/	・	※
波線	斜線	中点	星マーク
( )	[ ]	ふたえかぎ	...
かっこ	かぎかっこ	かぎかっこ	点線
→	←	↔	
右向き矢印	左向き矢印	両向き矢印	
。	、	?	!
句点	読点	疑問符	感嘆符

## アルファベット/英文記号

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	外文字符	外国語引用符		

大文字符	二重大文字符	ピリオド	
コロソ	セミコロソ	コンマ	ハイフソ
?	!	アポストロフイ	

## 情報処理用点字

本機で指定できる情報処理用記号の一覧です。

コンマ	ドット	コロソ	セミコロソ	疑問符
感嘆符	ナンバーマーク	ドル	アンパサソド	円
パーセント	スラッシュ	アットマーク	チルダ	アソダスコア
アスタリソク	アポストロフイ	引用符	かっこ	中かっこ
大かっこ	プラス	マイナス	イコール	小なり
大なり				

# ●点字の規則

ここでは、点字ラベルを作成するために最低限必要になる点字規則の初歩について、簡単に説明します。

## はじめに

点字は、触って判別する文字で、次のような特徴があります。

- 縦3×横2の6つの点(⠠)を1マスという単位で扱います。
- 1マスまたは複数のマスを組み合わせます。
- マスの大きさは決まっています。

例：  
  
テ プ ラ

### MEMO

- 点字は点の組み合わせだけで表現するため、1点でも異なると違う文字になってしまいます。
- 本書では、点字の各マスを⠠のように表記し、「●」は打刻した点、「-」は打刻しない点を表しています。

## 点字の構成

点字は、6つの点で構成されるマスの組み合わせで表記します。1マスでは限界があるため、2マスの組み合わせや、アルファベットや数字を示す符号をつけるなどの方法で多くの文字を表現します。本機で作成できる点字の種類は、かな、数字、アルファベット、一部の記号です。

### MEMO

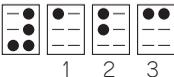
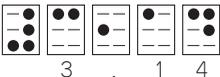
文字と点字の対応については、「点字一覧表」を参照してください。  
参照 P.210 「点字一覧表」

- かな：五十音は1マスで表現し、濁音や特殊音はマスの組み合わせで表記します。  
濁音は⠠⠠、半濁音は⠠⠠を五十音のマスのマスに組み合わせて表記します。  
促音(っ)は⠠⠠、撥音(ん)は⠠⠠、長音は⠠⠠で表記します。  
拗音(キャなど)や特殊音(ウィ、ヴァ、クォなど)は2マスで表記します。

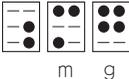
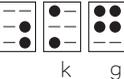
ハ バ パ キャ

ハッ パ パン

- 数字：1文字を1マスで表現しますが、最初に数符(㊦)をつけます。

123:  3.14: 

- アルファベット：1文字を1マスで表現しますが、最初に外字符(㊧)をつけます。

mg:  kg: 

## MEMO

数字を示す数符やアルファベットを示す外字符は、かなと区別するために語句の最初につける記号です。この符号をつけることで、同じ点字を、かな／数字／アルファベットに分けて判別できます。

例：

 (単独)  (数符つき)  (外字符つき)

あ 1 a

- 記号：1マスで表記する記号とマスの組み合わせで表記する記号があります。

感嘆符(!):  ! アンパサンド(&):  &

## 点訳の規則

原文の「発音」を基本に、文字と対応する点字を列記しますが、いくつか注意すべきルールがあります。

### ●かな表現のルール

原則：発音するとおりに表記します。

例 都市→トシ 時間→ジカン 距離→キヨリ  
切符→キップ 言う→イウ 遠い→トオイ

### MEMO

間違えやすい表現：次のような語は促音(っ)にはなりません。

的確→テキカク 万国旗→バンコクキ 多角形→タカクケイ

助詞：「は」「へ」は「ワ」「エ」で表記します。「を」は「ヲ」のままです。

例 彼は→カレワ 駅へ→エキエ 花を→ハナヲ  
こんにちは→コンニチワ あるいは→アルイワ

伸ばす音：ウ列の音で長音化している場合は長音で表記します。

例 空気→クーキ 妹→イモート 通勤→ツークン  
王様→オーサマ 読もう→ヨモー 偶数→グースー

### MEMO

間違えやすい表現：次のような語は長音(ー)にはなりません。

お母さん→オカアサン 先生→センセイ 思う→オモウ  
お送り→オオクリ 大きい→オオキイ 氷→コオリ



## ●文章の場合(分かち書き)

原則：文節や語の区切り目で1マス空ける「分かち書き」をします。

- 例**：今日は医者へ行く。→キョーワ\_\_イシャエ\_\_イク。  
楽しく思えたけれども疲れた。→タノシク\_\_オモエタケレドモ\_\_ツカレタ。  
桜が雪のように散っている。→サクラガ\_\_ユキノヨーニ\_\_チッテ\_\_イル。

付属語：助詞や助動詞は、前の語に続けます。

- 例**：学校まで→ガッコーマデ　　歩きながら→アルキナガラ  
書かせる→カカセル　　彼らしい→カレラシイ

## MEMO

間違えやすい表現：

形式名詞、補助動詞は語の前で区切ります。副詞、連体詞は語の後ろで区切ります。

- 次の語は形式名詞なので前を区切る分かち書きをします。  
悲しみのあまり→カナシミノ\_\_アマリ　　生まれたころ→ウマレタ\_\_コロ
- 次の語は補助動詞なので前を区切る分かち書きをします。  
してあげる→シテ\_\_アゲル　　それによって→ソレニ\_\_ヨッテ
- 次の語は副詞なので後ろを区切る分かち書きをします。  
そういう→ソー\_\_イウ　　どうして→ドー\_\_シテ
- 次の語は連体詞なので後ろを区切る分かち書きをします。  
この本→コノ\_\_ホン　　わが国→ワガ\_\_クニ

## 情報処理用点字について

インターネットのアドレス(URL)やEメールアドレスなどは、情報処理用点字として「情報処理用点字表記」の規則に従います。情報処理用点字表記を用いるときは、～で囲みます。

情報処理用点字の囲み符号内で用いられる特殊記号

/ (スラッシュ)		// (ダブルスラッシュ)	
.		- (ハイフン)	
ˆ (オーバーライン、チルダ)		˘ (アンダーライン)	
@ (アットマーク)		: (コロロン)	
¥ (円マーク)			

情報処理用点字の囲み符号内で用いられる特殊符号

小文字フラグ 次からの文字を小文字にする	
数字フラグ 次からの文字を数字にする	
大文字フラグ 次の文字を大文字にする	

より具体的な点字表記法をお知りになりたい方は以下の書籍をご覧くださいませることをお勧めいたします。

- 「日本点字表記法 2001年版」編集・発行 日本点字委員会
- 「点訳のてびき 第3版」編集・発行 全国視覚障害者情報提供施設協会
- 「点訳のしおり」発行 日本点字図書館

入手先：日本点字図書館用具事業課(TEL 03-3209-0751)

日本点字図書館ホームページアドレス：<http://www.nittento.or.jp/>

# ●おもな仕様

## ■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式(74鍵) 文字ボタン48、機能ボタン26
入力状態	JIS配列準拠ローマ字入力 JIS配列準拠かな入力 JIS配列準拠ABC入力 小文字入力、小文字ロック(ABC入力時のみ)、記号入力、外字入力、コピー機能(30文字まで)、コード変換入力(区点コード・JISコード・シフトJISコード)、点字機能
漢字変換方式	ATOK for テブラ(学習機能付き連文節変換) 搭載語句数 約88,000語(追加可能)
点字入力方法	入力情報による点字変換 直接入力

## ■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル
文字表示	198dot×64dot(12chr×4line)
表示濃度	-5~0~+5(11段階)
インジケータ	47個
LED	2個

## ■記憶

文章メモリー	約250文字
内蔵ファイル	可変長データ式(あて名・名前と共用) 約7,000文字/最大100ファイル(印字ファイル、点字ファイル各)
辞書登録	最大50件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン(16・24・30・36・48ドット)×10文字
地紋データ登録	文字地紋1件 創作地紋4件
あて名登録	最大100件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大5件
拡張機能	データ転送ソフト「DATAメモリーシステム」SDD6でパソコンにデータ転送(印字/点字ファイル、あて名、名前、外字)が可能

## ■フォント

### 内蔵文字数

全7,643文字  
漢字 JIS第1水準2,965文字  
漢字 JIS第2水準3,390文字  
漢字 その他29文字  
ひらがな・カタカナ192文字  
英数字・記号・その他

### 内蔵フォント

アウトラインフォント

明朝体	: 漢字書体・かな書体・英数字書体
太明朝体	: 漢字書体・かな書体・英数字書体
極太明朝体	: 漢字書体・かな書体・英数字書体
ゴシック体	: 漢字書体・かな書体・英数字書体
太ゴシック体	: 漢字書体・かな書体・英数字書体
極太ゴシック体	: 漢字書体・かな書体・英数字書体
波ゴ体	: 漢字書体・かな書体・英数字書体
太波ゴ体	: 漢字書体・かな書体・英数字書体
えれん体	: かな書体
太型えれん体	: かな書体
極太えれん体	: かな書体
ハッピー体	: かな書体
太型ハッピー体	: かな書体
極太ハッピー体	: かな書体
サンセリフHV体	: 英数字書体
太型サンセリフHV体	: 英数字書体
極太サンセリフHV体	: 英数字書体
スク립トBR体	: 英数字書体
太型スク립トBR体	: 英数字書体
極太スク립トBR体	: 英数字書体
サンセリフST体	: 英数字書体
太型サンセリフST体	: 英数字書体
極太サンセリフST体	: 英数字書体
スク립トPL体	: 英数字書体
太型スク립トPL体	: 英数字書体
極太スク립トPL体	: 英数字書体

## ■印刷

### 印刷方式

熱転写PRO印刷方式

### 印刷濃度

-3~0~+3(7段階)

### ヘッド構成

薄膜サーマルヘッド(192dot、270dpi)

### テープ幅検出

Pテープ規格検出孔対応(8種検出)

### テープカートリッジ

Pテープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、耐摩擦PRO印刷式、4・6・9・12・18・24・24\*mm幅  
DLテープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、耐摩擦PRO印刷式、12・24\*mm幅

### カッター

ハーフカット機能付きオートカッター 除電機構付

## ■印刷機能

### 文字構成

### 10段階70種(拡大印刷を含むと30段階162種)

P字	24×24dot	( 6ポイント相当)
S' 字	30×30dot	( 8ポイント相当)
S字	36×36dot	( 10ポイント相当)
M字	48×48dot	( 13ポイント相当)
L' 字	60×60dot	( 16ポイント相当)
L字	72×72dot	( 19ポイント相当)
G字	96×96dot	( 26ポイント相当)
U' 字	120×120dot	( 32ポイント相当)
U字	144×144dot	( 38ポイント相当)
H字	180×180dot	( 48ポイント相当)

### デザインフォーム

26種+「点字」67種(テンプレート式)

### 特殊フォーム

5種

### あて名印刷

約7,000文字(最大100件) カスタマバーコード印刷機能付

### 名前印刷

約1,120文字(最大40件)

### 特殊印刷

ぞく<sup>2</sup>、でか<sup>2</sup>、鏡文字

### 連番機能

加算一方向(繰り返し回数指定可)、2桁連番

### バーコード

JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF、CODE39(7種)

## ■打刻

### 打刻方式

インパクト方式

### 点間ピッチ

縦2.5mm×横2.4mm

### マス間ピッチ

3.3mm

### ラベル幅

12・24mm幅

### 打刻行数

1行

### 最大打刻マス数

40マス

## ■電源、その他

### 主電源

AC100V(同梱ACアダプタAS1527J使用のこと)

### 電源スイッチ

ボタン式

### PC接続

USBケーブルにて接続

### 寸法・重量

約231W×226D×79H(mm)

約1,660g(テープカートリッジを除く)

### 同梱品

試用PROテープカートリッジ(18mm幅)、点字テープカートリッジ(24mm幅)

ACアダプタ(AS1527J)、取扱説明書、トリマー(RT36W)、保証書

PCラベルソフト(SDL6A)、PCラベルソフト取扱説明書

### オプション

PROテープカートリッジ、点字テープカートリッジ

ヘッド・クリーニングキット(RC15)、ヘッド・クリーニングテープ(SR24C)

## ■使用条件

### 温度環境

動作時 10℃～35℃

保存時 -10℃～55℃

### 湿度環境

動作時 30%～80%(非結露)

保存時 5%～80%(非結露)

## 記号

(バーコードマーク) .....	169
┌ (全角スペース) .....	41
└ (半角スペース) .....	41
☒ (印刷不可行頭マーク) .....	24, 59
田 (点字行頭マーク) .....	24
N (連番マーク) .....	166
情 報 情 報 情 報 (情報処理用点字マーク) .....	101
〒 (郵便入力記号) .....	91
◀ (フルメモリーマーク) .....	24
▶ (文字モード指定マーク) .....	24, 75
← ↑ ↓ → (カーソルボタン) .....	23
① ② (空白行頭マーク) .....	24, 59
① ② (実行行頭マーク) .....	24, 59

## 英数字

2桁数字(記号) .....	71
2倍でか <sup>2</sup> .....	170, 172
3倍でか <sup>2</sup> .....	170, 172
4倍でか <sup>2</sup> .....	170, 172
8mmビデオ(定長印刷) .....	76, 82
8mmビデオ(フォーム) .....	115, 128
A4ファイル(定長印刷) .....	76, 82
A4ファイル(フォーム) .....	115, 127
ABC入力 .....	40, 28
ACアダプタ差込み口 .....	21
ATOK変換画面 .....	25, 34
B5ファイル(定長印刷) .....	76, 82
B5ファイル(フォーム) .....	115, 127
C/D(バーコード) .....	165, 168
CDケース(定長印刷) .....	76, 82
CDケース(フォーム) .....	115, 128
CODE39(バーコード) .....	165, 168
DAT(フォーム) .....	115, 129
FD・MO(定長印刷) .....	76, 82
FD・MO(フォーム) .....	115, 128
ITF(バーコード) .....	165, 168
JAN-13(バーコード) .....	165, 168
JAN-8(バーコード) .....	165, 168
MD(定長印刷) .....	76, 82
MD(フォーム) .....	115, 129
NW-7(バーコード) .....	168, 165
ONLINE .....	23
PCリンク .....	22
PROテープカートリッジ .....	28
UPC-A(バーコード) .....	165, 168

UPC-E(バーコード) .....	165, 168
URL(フォーム・点字・一般) .....	114, 116
USBインターフェースコネクタ(パソコン接続用) .....	21
VHS(定長印刷) .....	76, 82
VHS(縦)(フォーム) .....	115, 128
VHS(横)(フォーム) .....	115, 128

## あ

アイロン転写テープ .....	187
アイロンラベル .....	187
アダプタ(フォーム・点字・電化製品) .....	114, 120
あて名 .....	135, 145
印刷 .....	149
グループ名修正 .....	150
修正 .....	147
消去 .....	148
登録 .....	146
複写 .....	147
後揃え(割付け) .....	79, 93
網かけ(囲み・網) .....	81
淡文字(飾り字) .....	80, 94
一般(フォーム・点字) .....	114
イメージ表示 .....	25
色(フォーム・点字・一般) .....	114, 117
印刷 .....	22
印刷 .....	45, 50
印字ファイル .....	142
印刷イメージ .....	24
印刷情報 .....	24
印刷設定 .....	22, 64
印刷濃度 .....	66, 184
印刷不可行頭マーク(☒ ☒) .....	24, 59
印刷履歴 .....	135, 143
消去 .....	143
呼出 .....	143
インジケーター .....	24
印字と点字のレイアウト .....	111
印字ファイル .....	135
印刷 .....	142
印字保存値(環境設定) .....	178
印字ラベル .....	12
インデックスラベル .....	134
インパクト方式 .....	52
上カバー .....	20
上カバーボタン .....	20
上書き呼出(ファイル) .....	138

英数字	39
英数字書体(書体)	80、94
エラーメッセージ	188
エレベーター(フォーム・点字)	114
お祝い(フォーム)	115、131
大柄(創作地紋)	86
多め(余白)	76、87
送りカット(テープ送り)	32
おまかせフォーマット(文字サイズ)	77、88、89
お店(フォーム・点字)	114
重さ(フォーム・点字・一般)	114、117
終わり?(機能)	74、76、79、81、107
音楽CD(フォーム・点字・お店)	114、125
音楽テープ(定長印刷)	76、82
音楽テープ(フォーム)	115、129

## か

カーソル	24、56
～の位置(機能)	73
カーソルジャンプ	23
カーソルボタン(← ↑ ↓ →)	23、56
カーニング(文字間)	96
改行	37、59
外字	135、159
参照登録	164
修正	162
消去	163
新規作成	161
複写	163
呼出	162
改段落	23、61
ガイド表示	25
閲覧の捺印(フォーム)	115、127
香り(フォーム・点字・生活用品)	114、120
価格(フォーム・点字・自動販売機)	114、125
価格(税込)(フォーム・点字・一般)	114、117
鏡文字印刷	170、174
角囲み(囲み・網)	81
角囲網(囲み・網)	81
拡大印刷	170、172
確定文字	24
影文字(飾り字)	80、94
カゴー開(フォーム・点字・エレベーター)	114、123
カゴー階1(フォーム・点字・エレベーター)	114、123
カゴー階2(フォーム・点字・エレベーター)	114、123
カゴー閉(フォーム・点字・エレベーター)	114、123
カゴー非常(フォーム・点字・エレベーター)	114、123
囲み・網(文字モード)	73、81、95
囲み符号	100
飾り字(文字モード)	73、80、94

カスタマバーコード(あて名)	151
下線(囲み・網)	81
カタカナ	35
学校持ち物(フォーム)	115、131
カップ麺(フォーム・点字・食品)	114、118
カド丸	67
かな書体(書体)	80、94
かな入力	35、36
仮確定文字	24
環境設定	23、176
～メニュー一覧	178
漢字	35
漢字書体(書体)	80、94
漢字変換表	198
缶詰(フォーム・点字・食品)	114、118
記号	22
記号	42
～一覧表	206
点字	102
～メニュー一覧	185
記号外枠(外枠・表組み)	92
行	59
強制終了ボタン	21、180
鏡像	174
強調(斜体・強調)	80、94
行頭マーク(1 2...X、1 2...X)	24
極小(余白)	76、87
禁止!(フォーム)	115、130
均等(文字サイズ)	72、77、88
空白	41
空白行頭マーク(1 2)	24、59
薬(フォーム・点字・生活用品)	114、119
区点コード	198
クリーニングテープ	196
繰返し回数(連続番号)	165、166
グループ	136
黒塗り(外字)	159
罫入力記号(罫)	91
ケーブル(フォーム)	115、129
ケーブル表示ラベル	134
ケーブル用(特殊フォーム)	115、133
化粧品(フォーム・点字・生活用品)	114、119
合成(記号)	43
合成記号	43
合成マーク(合)	43
コード入力	175
小柄(創作地紋)	86
故障中(フォーム・点字・電化製品)	114、121
固定フック	20
コピー	23

コピー	58
細かく(伸・縮)	81、95
小文字ロック	23、40
<b>さ</b>	
サイズ(文字サイズ)	73、77、88
削除	23
削除	57
左右位置(点字書式)	73、107、110
時間(フォーム・点字・一般)	114、117
辞書	135、156
修正	157
消去	158
登録	156
実質行頭マーク(1 2)	24、59
指定範囲(機能)	73
自動	
英数書体	80
かな書体	80
文字サイズ	77
自動多め(余白)	76、87
自動カット	64、184
自動少なめ(余白)	76、87
自動販売機(フォーム・点字)	114
シフト	23
地紋印刷(文章書式)	73、76、84
斜強調(斜体・強調)	80、94
斜体(斜体・強調)	80、94
斜体・強調(文字モード)	73、80、94
住所&氏名(フォーム)	115、130
自由のび <sup>2</sup> (文字サイズ)	88、90
仕様	219
消去	23、58
～メニュー一覧	186
上下位置(点字書式)	73、107、109
上質紙ラベル	187
商品1(フォーム・点字・自動販売機)	114、126
商品2(フォーム・点字・自動販売機)	114、126
商品3(フォーム・点字・自動販売機)	114、126
商品4(フォーム・点字・自動販売機)	114、126
商品5(フォーム・点字・自動販売機)	114、126
情報処理用点字	100、218
情報処理用点字マーク(情 報 情 報 情 報)	101
賞味期限(フォーム・点字・食品)	114、119
使用量(フォーム・点字・生活用品)	114、119
初期化	179
初期設定値	176
初期値(連続番号)	165、166
食品(フォーム・点字)	114

書式	22
書体(文字モード)	73、80、94
白抜影(飾り字)	80、94
白塗り(外字)	159
白文字(飾り字)	80、94
伸・縮(文字モード)	73、81、95
伸縮ラベル	187
少なめ(余白)	76、87
スタイル	23
スペース	41
生活用品(フォーム・点字)	114
税込値札(フォーム)	115、127
正体(斜体・強調)	80、94
狭い(文字間)	81、96
全角スペース( )	41
洗剤(フォーム・点字・生活用品)	114、120
全体の幅(バーコード)	165、168
選択	23
全文消去	23、58
創作地紋	84、86
操作パネル	22
字く 字か	22
ぞく <sup>2</sup>	170、171
促音	36
外枠(外枠・表組)	78、91
外枠・表組(段落スタイル)	73、78、91

## た

濁音	36
打刻	51
打刻部カバー	20
打刻部ローラー	21、195
たて書き(縦・横)	70、79、93
縦型よこ書き(特殊フォーム)	115、133
縦横	22
縦・横(段落スタイル)	73、79、93
誕生祝い(フォーム)	115、130
段落	61
段落消去(消去)	63
段落スタイル	73
～メニュー一覧	77
小さく(伸・縮)	81、95
チェックデジット(バーコード)	165、168
縮める(伸・縮)	81、95
注意!(フォーム)	115、130
調味料(フォーム・点字・食品)	114、119
つめ <sup>2</sup>	83
ディスプレイ	24
ディスプレイ濃度	27

訂正線(囲み・網).....	81
定長印刷(文章書式).....	73、76、82
テープ送り.....	22、32
～メニュー一覧.....	186
テープカートリッジ.....	28
～をセットする.....	28
～を使いわせる.....	187
テープカートリッジケース.....	20
テープ確認窓.....	20
テープ通路.....	20
テープ出口.....	20
テープ幅.....	59、89
でか <sup>2</sup> .....	170、172
テキスト画面.....	24
～見本.....	116
～メニュー一覧.....	114
手すり1(フォーム・点字・場所表示).....	114、121
手すり2(フォーム・点字・場所表示).....	114、121
デモ印刷.....	181
電化製品(フォーム・点字).....	114
電源.....	
～を入れる.....	31
～を切る.....	54
<b>点字</b> .....	23
点字.....	49
再編集.....	106
削除.....	106
点字一覧表.....	210
「点字」行.....	47
点字行頭マーク(田).....	24
点字書式.....	23、73
～メニュー一覧.....	107
点字打刻ユニット.....	20
点字「直接入力」.....	97、103
点字「直接入力」画面.....	25
点字ツール.....	23、100
～メニュー一覧.....	186
点字テープカートリッジ.....	28
点字入力.....	47
点字の規則.....	213
点字ファイル.....	135
点字保存値(環境設定).....	178
点字「文字入力」.....	97、98
点字「文字入力」画面.....	25、47
点字ラベル.....	12
点字ラベル差込み口.....	20
点字ラベル取出し口.....	20
点字ランプ.....	20
点描画(外字).....	159

<b>点訳</b> .....	23
点訳.....	49
点訳画面.....	25
「点訳」行.....	47
電話番号(フォーム・点字・一般).....	114、116
ドア(フォーム・点字・場所表示).....	114、122
トイレ(フォーム・点字).....	114
トイレ1(フォーム・点字・トイレ).....	114、122
トイレ2(フォーム・点字・トイレ).....	114、122
トイレ3(フォーム・点字・トイレ).....	114、122
同梱品.....	9
投入口1(フォーム・点字・自動販売機).....	114、125
投入口2(フォーム・点字・自動販売機).....	114、125
投入口3(フォーム・点字・自動販売機).....	114、125
透明つや消しラベル.....	187
特殊印刷.....	170
～メニュー一覧.....	170
特殊フォーム.....	112
～見本.....	132
～メニュー一覧.....	114
トリマー.....	9、67

## な

長さ(フォーム・点字・一般).....	114、117
中揃え(割付け).....	79、93
なし(囲み・網).....	81
名前.....	135、153
グループ名修正.....	154
印刷.....	154
修正.....	154
消去.....	154
登録.....	153
なまえ1(フォーム・点字・一般).....	114、116
なまえ2(フォーム・点字・一般).....	114、116
なまえ3(フォーム・点字・一般).....	114、116
なまえ(縦)(フォーム).....	115、131
なまえ(横)(フォーム).....	115、131
肉・魚(フォーム・点字・食品).....	114、118
「入力」行.....	47、103
<b>入力</b> .....	23
入力文字一覧表.....	197
熱収縮チューブ.....	187
年月日(フォーム・点字・一般).....	114、117
伸ばす(伸・縮).....	81、95
飲物1(フォーム・点字・食品).....	114、118
飲物2(フォーム・点字・食品).....	114、118
のりば一上(フォーム・点字・エレベーター).....	114、123
のりば一階(フォーム・点字・エレベーター).....	114、124
のりば一下(フォーム・点字・エレベーター).....	114、123

## は

バーコード	165、168
バーコードマーク(■)	169
ハーフカット	64
ハーフカットランプ	20、64
<b>排出</b>	23
場所表示(フォーム・点字)	114
貼付け	23、58
半角スペース(◻)	41
反射ラベル	187
半濁音	36
ピッチ固定(文字間)	81、96
ピッチ自動(文字間)	81、96
備品管理票(フォーム)	115、127
描画エリア(外字)	159
表組み(外枠・表組)	78、91
表示濃度	27、178
表示の切り換え	26
漂白剤(フォーム・点字・生活用品)	114、120
ひらがな	35
広い(文字間)	81、96
品番(フォーム・点字・電化製品)	114、121
<b>ファイル</b>	22
ファイル	136
～メニュー一覧	135
グループ名修正	141
消去	139
登録	137
複写	140
呼出	138
フォーム	112
～見本	116
～メニュー一覧	114
フォーム・特殊フォーム	22、114
フォルダー山(フォーム)	115、127
ふせん紙ラベル	187
ふつう(飾り字)	80、94
ふつう(伸・縮)	81、95
ふつう(文字間)	81、96
ふつう(余白)	76、87
<b>復活</b>	23
復活	57
フルメモリーマーク(◀)	24
プレビュー	22、44、50
文章	
～を消去する	58
～をファイルする	137
文章書式	
～メニュー一覧	76

並記・重記(点字書式)	73、107、108
ヘッド・クリーニングキット	10、196
ヘッドクリーニング・テープ	10、196
別売品	10
部屋1(フォーム・点字・場所表示)	114、121
部屋2(フォーム・点字・場所表示)	114、121
<b>変換スペース</b>	23
変換	35
変換候補一覧(ATOK変換画面)	34
変換候補数(ATOK変換画面)	34
変換候補番号(ATOK変換画面)	34
変換対象(ATOK変換画面)	34
返却口(フォーム・点字・自動販売機)	114、125
細・太の比率(バーコード)	165、168
保存値	176
保存値設定	177
保存値復元	177、178
ボタン1(フォーム・点字・電化製品)	114、120
ボタン1(フォーム・点字・トイレ)	114、122
ボタン2(フォーム・点字・電化製品)	114、120
ボタン2(フォーム・点字・トイレ)	114、122

## ま

前揃え(割付け)	79、93
マグネットテープ	187
丸囲み(囲み・網)	81
丸囲網(囲み・網)	81
<b>みえ</b>	22
みえ <sup>2</sup>	26
見出し(縦)(特殊フォーム)	115、132
見出し(横)(特殊フォーム)	115、132
密着(文字間)	81、96
ミニDV(定長印刷)	76、82
ミニDV(フォーム)	115、129
<b>無変換</b>	23
無変換	35
銘板(フォーム)	115、131
メッセージ(フォーム)	115、130
メディア(フォーム・点字・お店)	114、125
メニュー	25
メニュー1(フォーム・点字・お店)	114、124
メニュー2(フォーム・点字・お店)	114、124
メニュー3(フォーム・点字・お店)	114、124
メニュー4(フォーム・点字・お店)	114、124
メニュー一覧	184
印刷設定	184
環境設定	178
段落スタイル	77
点字書式	107

特殊印刷	170
ファイル	135
フォーム・特殊フォーム	114
文章書式	76
文字モード	80
連番・バーコード	165
メニュー画面	25
 モード	23
文字	
～をコピーする	58
～を削除する	57
～を挿入する	57
～を入力する	56
～を貼り付ける	58
～をもとに戻す(復活)	57
文字間(文字モード)	73、81、96
文字サイズ(段落スタイル)	73、77、88
文字地紋	84、85
文字入力	35
文字変換/コード変換	23、175
文字ボタン	23
文字モード	73
～メニュー一覧	80、75
文字モード指定マーク(▶)	24

## や

夜光ラベル	187
有効範囲は?	75、79、81
拗音	36
用法・用量(フォーム・点字・生活用品)	114、119
よこ書き(縦・横)	70、79、93
横型たて書き(特殊フォーム)	115、133
余白(文章書式)	73、76、87
呼出ボタン(フォーム・点字・自動販売機)	114、125
「読み」行	103
読み短縮	38

## ら

	22
らくら <sup>®</sup> (文字サイズ)	72、77、88
リセット(印刷設定)	66、184
リモコン(フォーム・点字・電化製品)	114、120
リンク状態	47
ルビ(名前)	155
レイアウト(印字と点字)	111
レトルト(フォーム・点字・食品)	114、118
連結呼出(ファイル)	138
連続印刷	170、171
連続番号	165、166

連番	165、166
連番・バーコード	22、165
～メニュー一覧	165
連番マーク(  )	166
ローマ字入力	35、36
ローマ字変換表	209
ロングテープ	187

## わ

割付け(段落スタイル)	73、79、93
割付け(割付け)	79、93

# ●アフターサービスについて

## ■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

## ■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご希望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・外字・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。あらかじめご了承ください。

## ■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）

ネットクのパートナー

**お客様相談室 ☎ 0120-79-8107**

携帯電話・PHSをご使用の場合は、以下をご利用ください。

お客様相談室

東京 TEL 03-3864-1234

名古屋 TEL 052-935-4038

大阪 TEL 06-6263-1654

福岡 TEL 092-413-3977

受付時間：平日（月曜日～金曜日） 午前9時～午後5時30分

## ■最新情報については

「テブラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

## ■別売品のお求めでお困りのときは

取扱説明書、カートリッジなど別売品のご購入に際し、どこで、どの様にして購入したら良いかお困りのときは、お買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店、または下記へお問い合わせください。

**株式会社キングジム 〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号**

札幌 TEL 011-811-0593

名古屋 TEL 052-935-4038

仙台 TEL 022-236-4110

大阪 TEL 06-6263-1654

さいたま TEL 048-651-0198

広島 TEL 082-291-8458

本社 TEL 03-3864-1234

福岡 TEL 092-413-3977

横浜 TEL 045-212-3280

**株式会社キングビジネスサポート**

TEL 03-3864-5646

FAX 03-3864-5647

---

「テプラ」 PRO SR6700D 取扱説明書

2005年 12月 第2版

**株式会社キングジム**

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

# SR6700D

## 取扱説明書

本機で作成できる「点字ラベル」については、下記団体様よりご推奨いただいております。

- ・ 社会福祉法人 日本点字図書館  
<http://www.nittento.or.jp/>
- ・ 社会福祉法人 日本ライトハウス  
<http://www.lighthouse.or.jp/>
- ・ 社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター  
<http://www.siencenter.or.jp/>

※本機の自動点訳機能は、点訳規則に沿っておこないますが、場合によっては語句の切れ目の誤りや、誤変換などがあります。公共の表示や、法律・条例などに基づいた表示に使用する際は、弊社にお問い合わせいただくか、上記専門施設などの点訳監修をお受けください。



### ・お問い合わせ

フリーダイヤル (全国共通) ネットのパートナー  
**お客様相談室 ☎ 0120-79-8107**

受付時間: 平日 (月曜日～金曜日) 午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>